



## CLUB INNOVATION

—クラブの将来像を明確にし クラブ改革を実施しよう—

### 2019-2020年度国際ロータリー第2840地区 森田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F  
TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841  
Email : morita@rid2840.jp

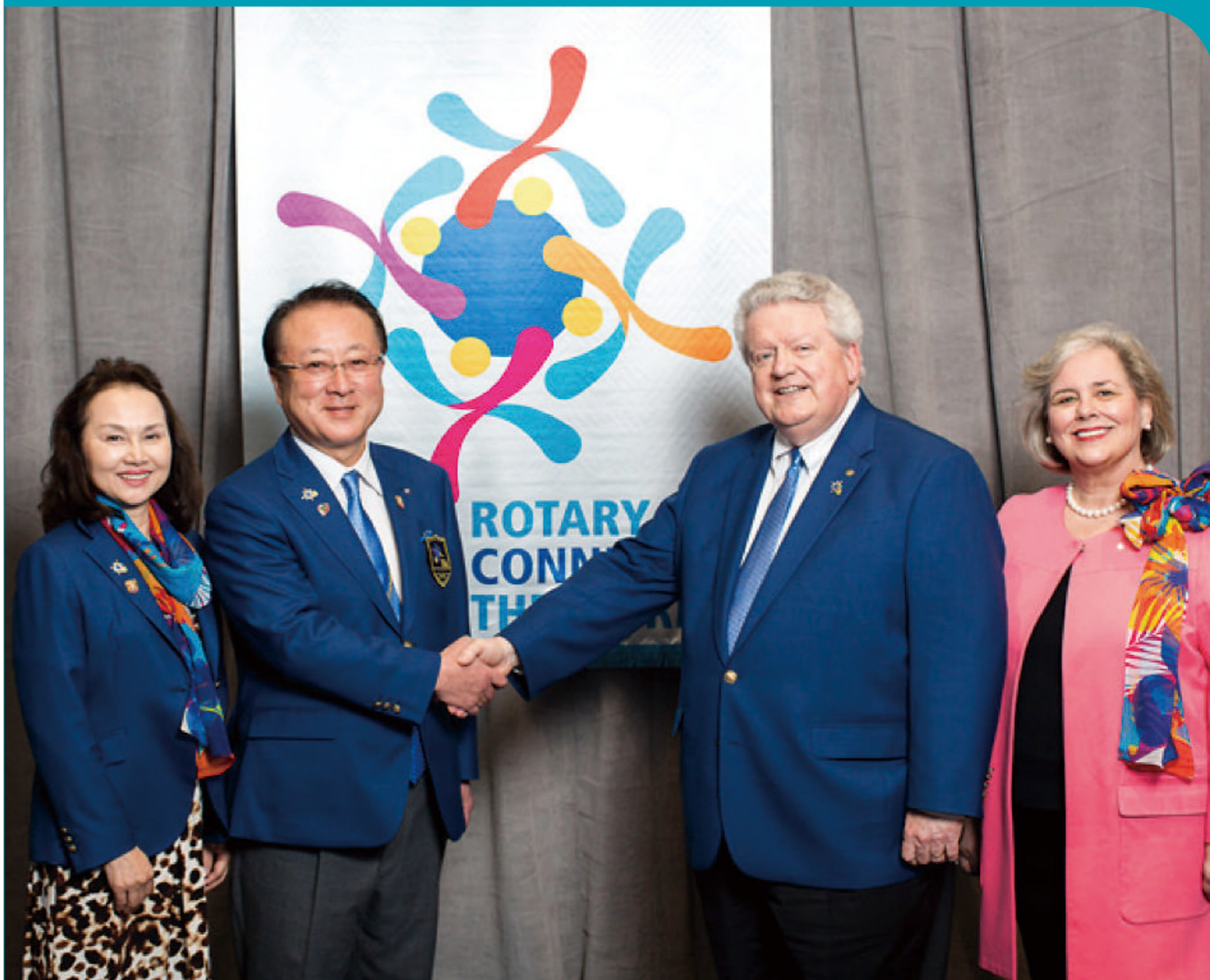
地区会員必携

国際ロータリー第2840地区 2019-2020年度

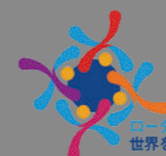
ガバナー事務所からのお知らせ

# 地区会員必携

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840 / 2019-2020



第2840地区ガバナー 森田 高史  
「クラブ イノベーション」 CLUB INNOVATION  
～クラブの将来像を明確にし、クラブ改革を実施しよう～



RI会長 マーク・ダニエル・マローニー  
「ROTARY CONNECTS THE WORLD」  
～ロータリーは世界をつなぐ～

## ロータリーの目的

### OBJECT OF ROTARY

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。  
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること（RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条）。

## 四つのテスト

### THE FOUR-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
  2. みんなに公平か？
  3. 好意と友情を深めるか？
  4. みんなのためになるかどうか？
- (1932年 ハーバード・テーラー)

## 国際ロータリーの使命

### MISSION OF ROTARY INTERNATIONAL

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである(ロータリー章典 26.010.1)。

## 2017年 ロータリーのビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

(2017年6月RI理事会採択)

## 中核的価値観

### CORE VALUES

2007年、ロータリーは戦略計画の一環として、以下の5つの価値観がロータリアンの基本的特徴であるとの理解の下、これらの中核的価値観を採択した。以来、これらの中核的価値観は理事会によって再び確認され、世界中のロータリアンによって強く支持されている(ロータリー章典 26.010.2)。国際ロータリーの中核的価値観は以下の通りである。

- ・親睦 (Fellowship) ・高潔性 (Integrity) ・多様性 (Diversity)
- ・奉仕 (Service) ・リーダーシップ (Leadership)

中核的価値観に関する説明は、ロータリーウェブサイトアクセス可能です。

# 目 次

◆国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー	
1. 会長プロフィール	1
2. 会長テーマ	2
3. 会長メッセージ	3
4. 会長強調事項のまとめ	5
5. R I 戦略計画	6
6. R I 年次目標	7
7. 2019-2020年度ロータリー賞	8
8. 国際協議会報告	10
◆地区ガバナー 森田高史	
9. ガバナープロフィール	12
10. ガバナーメッセージ	13
11. 2019-2020年度 地区テーマ・地区運営方針	14
12. 2019-2020年度 地区目標	16
13. 2019-2020年度 地区数値目標	19
14. 2017-2020年度 地区戦略計画	20
◆地区組織・地区役員名簿ほか・クラブ会長・幹事名簿	
15. 2019-2020年度 地区組織図	22
16. 2019-2020年度 地区役員名簿	24
17. 2019-2020年度 地区予算書・貸借対照表	28
18. ロータリーとポリオ根絶活動	33
19. 2019-2020年度 委員会活動指針	37
20. 2019-2020年度 委員会事業計画	47
21. 地区主要行事予定表	83
22. 2019-2020年度 クラブ会長・幹事名簿	86
◆各種資料	
23. ガバナー賞へのエントリー	90
24. ガバナー公式訪問要領	91
25. ガバナー公式訪問日程表	93
26. I M開催要領	94
27. ロータリーデーを開催しよう	96
28. 世界ポリオデーについて	97
29. 歴代国際ロータリー会長・テーマー一覧	98
30. 歴代ガバナー・ガバナー補佐ほか一覧	99
31. クラブ現況指標	102
32. クラブ現況報告書記載要領	104
33. 世界のロータリー	105
34. 2017-2018年度のR I 財務報告	106
35. クラブ事務局一覧	107
36. クラブ例会一覧	108
37. ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル	109
38. ガバナー事務所案内図	110





## RI会長プロフィール



### マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度会長  
Decatur ロータリークラブ  
アラバマ州(米国)

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels 会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブへ入会し、以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジリアベ2003-04年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH (学校での水・衛生)委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

※ My Rotary でアクセス可能



## RI会長テーマ(2019-20年度)



ROTARY  
CONNECTS  
THE WORLD



ロータリーは  
世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来、ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2019-20年度国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー



## RI会長メッセージ(2019-20年度)

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。



2019 - 20年度のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を次期地区ガバナーに発表するマーク・ダニエル・マローニー会長エレクト  
(米国カリフォルニア州サンディエゴにて)

ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)会員のマローニー会長エレクトは1月14日(月)、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会で、2019-20年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。

「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトク



ラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性につながり、共通の目的において末永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえるよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ること、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

2020年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の75周年を迎えます。ロータリーは、国連憲章につながった1945年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招へいた42の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道的課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとが繋がることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

## 2019-20年度国際ロータリー会長テーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD『ロータリーは世界をつなぐ』

ROTARY  
CONNECTS  
THE WORLD



※ 2019-20年度国際ロータリー会長テーマ  
Rotary Internationalでアクセス可能





## RI会長強調事項のまとめ

### 1. ロータリーを成長させること

- (1) ロータリーを成長させ、奉仕活動やプロジェクトで大きなインパクトをもたらすこと。それには会員増強が必須です。
- (2) ロータリーの中核にあるのは「つながり」です。クラブの職業分類を見直して会員増強を実践すること。
- (3) ロータリーの未来の形を作るのはクラブです。柔軟性・革新的な発想で、さまざまな人々が入会できるクラブを作ること。

### 2. 家 族

- (1) ロータリーは家族です。全ての行事に子供を受け入れること。
- (2) 家族との時間を犠牲にするのではなく、ロータリー活動と家族が補完し合う文化を構築すること。

### 3. ロータリーリーダーと仕事の共存

- (1) ロータリーでリーダーとなることを阻む障壁の多くは私たち自身が築いたものです。家族志向の若い職業人に機会を提供すること。
- (2) 今こそ、適応し、文化を変える時が来ました。ロータリー活動の組織を活用し、リーダーが全て1人でこなさなくてもよい、リーダーシップの文化を変えること。

### 4. 国連とのパートナーシップ

- (1) 国連は、平和の推進という使命に基づいた活動75周年を迎えます。ロータリーに対して、非政府組織に対する最高の立場を認めています。
- (2) ロータリーのインフラを活用して、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有していくこと。
- (3) ロータリーと国連との、人道的課題に取り組むための平和会議が、今後各地で開催されます。



## RI戦略計画(2019年7月～2024年6月)

2018年6月RI理事会採択

### [4つの優先事項]

#### 1. より大きなインパクトをもたらす

- (1) ポリオを撲滅し、残された遺産を活用する
- (2) ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- (3) 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

#### 2. 参加者の基盤を広げる

- (1) 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- (2) ロータリーへの新しい経路を創り出す
- (3) ロータリーの開放性とアピール力を高める
- (4) 活動成果とブランドに対する認知を築く

#### 3. 参加者の積極的なかかわりを促す

- (1) クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- (2) 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- (3) 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- (4) リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

#### 4. 適応力を高める

- (1) 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- (2) ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- (3) 意思決定におけるより多様な考え方を育むため、ガバナンスを見直す

※国際ロータリー理事会決定事項でアクセス可能



## RI年次目標(2019-20年度)

2018年7月RI理事会採択

### 優先事項1の目標：人びとが手を取り合うのを促す

1. クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する
2. 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る
3. 新しいクラブを結成する
4. 女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促し、会員増加を図る
5. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間およびほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する

### 優先事項2の目標：行動する

6. ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える
7. 地区財団活動資金(DDF)を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす
8. 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、**2025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる**
9. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進する

### 優先事項3の目標：内部／運営的事項

10. 現在のロータリアンのリーダーシップレベルの効果を分析する
11. プログラムの取り組みに焦点を当て、場合によっては焦点を絞り込む

※国際ロータリー理事会決定事項でアクセス可能



## 2019-20年度 ロータリークラブ対象のロータリー賞

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブがMy ROTARYでクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。いくつかは、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。2019年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2020年7月1日時点の会員数が確定する2020年8月15日以降に表彰されます。

### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する：
  - クラブの会員維持率を1ポイント上げる。 または
  - 2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
- 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 青少年交換学生またはRYLA参加者を派遣する。

### 行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- 年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

## 2019-20年度 ローターアクトクラブ対象のロータリー賞

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているローターアクトクラブであることが条件となります。クラブは、2020年8月15日までに、推薦書の提出を通じて、必要項目を達成したことを報告する必要があります。

### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも50%の会員が、My ROTARYのプロフィールページに自分のスキルと関心を入力する。
- 双子クラブの関係を築く、または維持する。
- 「世界ローターアクト週間」やローターアクト創立記念日にイベントを実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。
- 提唱ロータリークラブと共に、ネットワークを広げる行事や交流活動に参加する。

### 行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- ポリオプラスへの会員一人あたりの平均寄付額が25米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。



## 2019-20年度 インターアクトクラブ対象のロータリー賞

インターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているインターアクトクラブであることが条件となります。また、2019年7月1日より前に、成人のアドバイザー（顧問）が、自分の氏名と連絡先を国際ロータリーに報告する必要があります。提唱ロータリークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーが、2020年8月15日までに推薦書を提出します。

### 人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも2項目を達成

- 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクトにロータリーアクトクラブを紹介する（ロータリーアクトクラブは大学と地域社会のどちらを基盤としてもよい）。
- 「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。

### 行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 「世界青少年奉仕デー」（Global Youth Service Day）のためのプロジェクトを計画、実行する。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んでRotary.orgに投稿してもらう。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

## 2019-20年度 ロータリー会長特別賞

なお、今年度は、ロータリー賞の必須項目を達成し、さらに追加項目から1～3項目を達成したロータリークラブに、**ロータリー会長特別賞**が贈られます。

### ロータリークラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**: 会員5名以上の純増を達成する。
- **家族をつなぐ**: 会員の家族、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **職業や専門知識をつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- **地域社会をつなぐ**: 少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

### ロータリーアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**: 会員5名以上の純増を達成する。
- **家族をつなぐ**: 会員の家族や友人、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **職業や専門知識をつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- **地域社会をつなぐ**: 少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

### インターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ開発プログラムを開始または継続する。
- **家族をつなぐ**: 会員の家族や友人が参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **学業をつなぐ**: 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、地元のロータリークラブが提供している奨学金やそのほかの奨学金の機会を調べ、クラブにその結果を伝える。
- **地域社会をつなぐ**: クラブとその活動を紹介したビデオを「インターアクト・ビデオ賞」に応募して、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。



## 2019年国際協議会報告



2019年1月13日～19日  
場 所 America California San Diego  
ホテル Manchester Grand Hyatt San Diego



2018-2019年度  
ガバナーエレクト 森田 高史

この度、米国カリフォルニア州サンディエゴにおいて、2019年1月13日から1月18日に開催されたロータリー国際協議会に出席させて頂き、無事に帰国できましたのでここに  
ご報告申し上げます。

世界538地区のガバナーエレクトとそのパートナーが集まり、RI会長のテーマや世界のロータリークラブの現状について、6日間24回におよぶセッションに家内とともに参加してまいりましたが、世界、特にRIの現況や描いている将来像が日本のロータリーの現況と大きな隔たりがあることを痛感いたしました。

素より2840地区の代表として、日本の34地区ガバナーエレクトとそのパートナーとともに、私なりの準備と、使命感といったものを抱いてはいたものの、戸惑いを禁じ得ない面もありました。

また、今回の協議会の最も大きな特徴は、3日目から世界1600人の応募の中から選出された60人(日本からは3人)のローターアクターが参加したことでもあります。

ローターアクトの活動状況が欧米とは相当異なる日本においては、単に将来のロータリーへの入会を期待するものであれば、それは容易なことではない、と考えがちですが、必ずしも短期的な会員基盤の拡大だけを目指しているものではないことがわかりました。

現在の情報社会において、今後の鍵を握るのは、SNSやIOTといわれる情報ツールを使いこなす若い世代であり、そうした世代が次の時代を担わない限りロータリーの将来も危うくなる、というものであります。

組織体、家庭でも企業でも地域社会でも同様でしょうが、クラブや地区、RIにとりましても、10年、20年という長いスパンで将来を展望する時、インターアクターやローターアクターを含む若い世代、次の世代の参加がない限り衰退していくことは自明のことかも知れません。

そうした意味では、近年実施された会員資格や例会頻度の緩和等はどちらかといえば瑣



末なことであり、もっとダイナミックに将来を見通して、今までの常識を覆すような、開放的な組織運営を実践したり、新しい形式のクラブを世界で誕生させる必要があるというものです。

もっと言えば「クラブのあり方を変えることがロータリーの未来を開く」ということであると感じました。

歴史や伝統、実績というものは極めて大切なものであると思いますが、それを築いてきた先達に敬意を払いつつも、変化していかなければ将来の発展を見ることが難しいということも当然のことかも知れません。

マローニー会長が講演の中で発言した「変化に立ちはだかるクラブ」「変化に立ちはだかるロータリアン」という、同時通訳で聞いた言葉は極めて印象的でありました。

歴史や伝統を築かれたのは皆様自身ですが、この先の将来を変革しながら作り上げていくのもクラブや会員、皆様自身である、という帰結に聞こえました。

ロータリーは単年度制であり、RI会長といえども任期は1年間ではありますが、ここ数年のRI会長テーマは、前年度「ロータリー:変化をもたらす」(イアン・ライズリー会長)、本年度「インスピレーションになろう」(バリー・ラシン会長)と、太いベクトルの方向性の中では連綿と繋がっているものと感じております。

マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマも将来のロータリーを見据えたロータリーを成長させるための、メッセージであるものと思います。

当地区も分割以来20年近くとなりますが、会員数が減少し、クラブ数も減少し、新設クラブの実績もありません。

必ずしも私の年度で達成し得ないものもあるかとは思いますが、インターアクターやローターアクターを含めた若い次世代の人達が将来に渡って参加できるロータリー活動を目指して、チャレンジして参りたいと思います。

地区内各クラブ・会員の皆様におかれましては、引き続き、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご報告とさせていただきます。



# 国際ロータリー第2840地区 2019-2020年度 森田高史ガバナー プロフィール

生年月日 1955年1月4日  
住 所 群馬県伊勢崎市  
職 業 税理士  
現 職 森田税務会計事務所 所長  
関東コンサルタント株式会社 代表取締役社長  
モリタ・マネジメント・センター 代表  
学 歴 早稲田大学 法学部 卒業



## ロータリー歴

### [クラブ]

1987年11月 伊勢崎ロータリークラブ入会  
2012-13年度 幹事  
2016-17年度 会長

### [地 区]

2008-09年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員  
2009-10年度 副幹事  
2010-11年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員  
2011-12年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員長  
2012-13年度 補助金委員会 委員長  
グローバル補助金委員会 委員長  
2013-14年度 補助金委員会 委員長  
2014-15年度 補助金委員会 委員長  
2015-16年度 補助金委員会 委員長  
2017-18年度 ガバナーノミニー・第2分区Bガバナー補佐  
地区研修委員会 委員  
審議会立法案検討委員会 委員  
地区戦略計画委員会 委員・会員組織強化委員会 委員  
2018-19年度 ガバナーエレクト・地区戦略計画委員会 委員  
地区研修委員 委員  
管理運営・IT委員会委員長

## ロータリー財団

ベネファクター(2012)  
ポール・ハリス・フェロー(マルチプル第8回)(2018)  
メジャードナー(2015)

## 米山記念奨学会

米山功労者メジャードナー(第10回)(2018)





## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2840地区 2019-2020年度 ガバナー 森田 高史

2019-2020年度マーク・ダニエル・マローニー会長は、米国サンディエゴで開催された国際協議会において、「ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ」とのテーマを発表致しました。

全てのロータリーファミリーがつながり、ロータリーネットワークのインフラが国連を含む世界とつながる、というものであります。

また、ロータリーを将来に向かって発展させていく鍵となるのは、現在の情報社会においてSNSやIOTといわれる情報ツールを使いこなす若い世代であるというものです。

そうした意味から、今回初めての試みとして、世界1600人の応募の中から選出された60人(日本からは3人)のローターアクターが国際協議会に参加しました。

企業や地域社会も同様でしょうが、クラブや地区、RIにとっても、10年、20年という長いスパンで将来を展望する時、インターアクターやローターアクターを含む若い世代、次の世代の参加がない限り衰退していくことは自明のことかも知れません。

そうした意味では、近年実施された会員資格や例会頻度の緩和等はむしろ瑣末なことであり、もっとダイナミックに将来を見通して、今までの常識を覆すような、開放的な組織運営を実践したり、新しい形式のクラブを世界で誕生させる必要があるというものです。

もっと言えば「クラブのあり方を変えることがロータリーの未来を開く」ということであると感じました。

また、ジョン・ヒューゴRI事務総長は、成長したアップルと破綻したコダックを引き合いに、私たちはアップルになるのですか？コダックになるのですか？と問いかけました。

規則遵守よりも、特色あるクラブを作る。既存のクラブをサポートしながらパイオニアとなるクラブ、私たちの 아이폰になるクラブを作ろうと呼びかけました。破壊的変革によって新しい道をいく必要があるというものです。

また、バリー・ラシン本年度RI会長も、フラミンゴの中に1羽だけ色の違う、皆んなと違う方向を向いている、もっといい道があると気付いている、という写真を提示して、未来は私たちの手の中にある、ということを訴えておりました。

こうした要請をふまえ2019-2020年度地区テーマは『クラブ イノベーション』—クラブの将来像を明確にし クラブ改革を実践しよう—といたしました。

クラブ、会員の皆様におかれましては、戦略計画を策定し、会員増強計画、研修計画を作成し、場合によっては定款や細則の変更も行うなど、クラブの将来像に向かって邁進されることを期待いたします。

地区としましても、インターアクターやローターアクターの卒業生を含む若い人たちの、特色あるクラブの創立を目指したいと考えております。

お互いに精進しましょう。

健闘を祈ります!!



## 2019-2020 年度 国際ロータリー第 2840 地区テーマ・地区運営方針

### 地区テーマ

# 『クラブ イノベーション』

## CLUB INNOVATION

— クラブの将来像を明確にし クラブ改革を実践しよう —

### 地区運営方針

ここ数年、RI会長からロータリーに変化をもたらすことが要請されており、特にマローニー会長は、クラブを変革し、ロータリーを成長させることを強く求めています。

クラブのあり方を、それぞれのクラブがクラブの自治権を行使して、自由に発想して、クラブの将来像を明確にして頂きたいと思います。

そのためには、各クラブが戦略計画を策定するとともに、会員増強計画を作成し、会員の入会を促さなければなりません。

また、入会した会員を定着させ、ロータリーの理解を深めていくためには、クラブ研修リーダーを中心に、クラブ研修委員会を設置し、研修計画を立案し実践していかねばなりません。

また、楽しい例会や退会防止の観点からは、会員資格や例会頻度の緩和、入会金の撤廃などにとどまらず、会員会費のあり方についても踏み込んでいく必要があるかも知れません。

特に、若い会員については一定期間会費を低額にしたり、或いは一定の年齢を超えた会員については、「我れ生涯一ロータリアン」の観点から、特別会員制を設定して、会費を減免し、地区大会やクラブのイベントのみの参加とするなど、それぞれのクラブで工夫する余地もあるように思います。

そうした会員さんについては、地区分担金を軽減することも、視野にいれなければならないものと考えております。

2009-10年のジョンケニー会長のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」でありました。是非各クラブが自らのクラブの将来について、責任を持つ1年として頂きたいと思います。



また、地区運営の観点からは、クラブを支援する機能が十分発揮できるよう、地区運営の「連続性」を一層確保してゆきたいと思います。

地区とクラブの関係を考えますと、ロータリー情報を地区からクラブへ提供する形となりますので、どうしても一方向づいてしまいがちであります。

本年度は、可能な限り、クラブ役員や会員の皆様のお考えを地区運営に反映いたしたく、「双方向」を意識して運営に努めたいと思います。

また、地区主催の各種セミナーや会議におきましては、例年の開催方式を前提としつつも、より効果的なセミナー等となるよう、変化させるべきものは積極的に変化させていきたいと考えております。

そのためには、地区運営で実行された実績の評価を臆することなく行ない、可能なかぎり「より良く」を目指し、改革すべきものは改革を進めてゆきたいと思います。

具体的には、地区分割以来20年近く新設されていない、新たなクラブの創立にチャレンジしたいと思います。

特にインターアクター、ローターアクター、米山記念奨学生などの卒業生、各学友会やROTEXを含む若い人達の、特色のあるクラブの創立を目指したいと考えております。

また、予てから米山記念奨学制度が外国人に限定されていることから、日本人も対象とできる奨学制度の要請が少なくありませんでした。

本年度は、地域社会における教育環境の実態を調査するとともに、既に奨学制度を実施しているクラブの現況も合わせて調査し、その結果を踏まえて次のステップに進みたいと考えております。

マローニー会長の要請は「クラブ改革」にありますが、その要請は単にクラブに止まるものではなく、「地区の改革」にも繋がるのではないかと考えております。

本年度、地区内の殆どのクラブから出向して頂いております地区役員、地区委員の皆様とともに、地区運営やロータリー活動を通じて、例年にも増して思いやりや感謝、協調性や連帯感を感じられる年度としたいと考えておりますので、会員の皆様におかれましては、引き続き、地区運営につきましてのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

何卒よろしくお願い申し上げます。



## 地区目標（クラブ運営に関する項目）

### 1. クラブ改革を实践しよう

クラブ例会を一層楽しくなるよう工夫し、戦略計画に基づいて、クラブの組織風土をより良くしよう

### 2. ロータリー賞、ガバナー賞にエントリーしよう

ロータリー賞、ガバナー賞にエントリーして、各賞を獲得しよう

### 3. 会員増強を实践しよう

クラブ自ら立案した新会員入会目標を、具体的行動を通じて達成しよう

#### [その他クラブ運営に関する項目]

- (1) クラブ戦略計画の策定(クラブ戦略計画策定委員会の設置)
- (2) クラブ会員増強計画の作成(特に38人以下のクラブは中期計画作成)
- (3) クラブ研修計画の策定(クラブ研修委員会の設置)
- (4) 地区補助金・グローバル補助金活用奉仕事業の実施
- (5) ロータリーデーを通じた公共イメージの向上
- (6) ガバナー月信を1年間全会員に印刷配布(地区分担金を減額)
- (7) クラブ現況報告書の充実(他クラブの報告書を参考にして)
- (8) 会員のマイロータリーへの登録(入会時全員)
- (9) ロータリークラブセントラルへの入力(2019年5月末日まで)
- (10) R財団寄付目標の入力(2019年5月末日まで)

※ 友好クラブや姉妹クラブの締結を推進しましょう



## クラブ運営スケジュール表

1. 年度開始前(4月～6月) 会員増強の行動を起こしてください  
会員増強計画に基づき職業分類表などを活用して候補者名簿(可能な限り100名)を作成し、具体的行動を起こしてください。年度開始当初の新会員入会を目指し、目標を前半期で達成できるよう行動してください。
2. 第1・四半期 クラブ公式訪問を実施(8月～11月)します  
クラブ改革と双方向がテーマです。クラブの将来像や地区運営に関するご意見などをお聞かせください。
3. 第2・四半期 地区大会(10/27)を開催します  
10月24日(金)の世界ポリオデーにちなんだ大会を地区会員全員の参加を奨励して開催したいと思います。
4. 第3・四半期 ロータリー創立記念日に地区創立20周年記念式典を開催します  
本年度は、2020年2月23日(日)のロータリー創立記念日に、当地区創立20周年記念式典を伊勢崎プリオパレスにて開催します。そのため、必ずしもクラブごとのイベントの開催は要請いたしません。
5. 第4・四半期 IM(2月～4月)を開催してください  
IMを開催し、ロータリーに関する協議を実施し、相互啓発を醸成してください。パネルディスカッションやRLI方式など、双方向が確保できる形式を推奨します。テーマは「クラブイノベーション」でお願いします。本年度は入会3年以下の会員を出席対象者に加えるなど、クラブ役員に限定することなく可能な限り多くの会員の参加を奨励してください。
6. 国際大会 ハワイ・ホノルルで、2020年6月6日(土)～6月10日(水)に開催されます。多くの会員の参加をお待ちしております。
7. 通 期 ロータリーは楽しいところです。メイキャップや他クラブとの交流を推進しましょう。夜間例会や宿泊例会、友好クラブや姉妹クラブも「つながり」を増やします。

Enjoy Rotary!!



## 地区目標（地区運営に関する項目）

### [新たな目標]

#### 1. 新クラブの結成を目指します

インターアクト、ローターアクト、米山記念奨学生などの卒業生や、各学友会、ROTEXを含む若い人たちの特色あるクラブの創立を目指します。

#### 2. ロータリー奨学金制度の創立を目指します

地域社会における教育環境の実態や、既に奨学制度を実施しているクラブの現況を調査し、日本人も対象とする奨学金制度の創立を目指します。

#### 3. クラブのグローバル補助金の申請実務をサポートする体制の構築を目指します

クラブの申請事務を地区がサポートする体制を構築し、DDFの活用を推進することを目指します。

### [その他の地区運営に関する項目]

- (1) クラブの会員増強の実現を支援(会員増強セミナーの開催)
- (2) クラブのロータリー賞・ガバナー賞の受賞を支援(エントリー制度の導入)
- (3) クラブ戦略計画策定を支援(PETS・SETSでの分科会の開催)
- (4) クラブ研修計画作成を支援(PETS・SETSでの分科会の開催)
- (5) 地区運営連絡会議の設置(連続性の確保)
- (6) 公式訪問の充実(双方向性の確保)
- (7) 地区会員必携の充実(委員会事業計画の充実とR情報の共有)
- (8) RI・R財団・ポリオの収支報告のディスクローズ(寄付の必要性の認識の敷衍)
- (9) 災害対策準備金の充実(予算書100万円の繰入)
- (10) 年次報告書の充実(地区情報の共有)

※ ポリオ根絶の世界的価値を地区大会等を通じて訴えていきたいと思ひます。



地区数値目標

1. 新会員入会 236名(45クラブの目標数の合計)以上

2017-2020年度地区戦略計画で森田年度の終了時点で分割時の2540名(女性会員200名)を目指しています。純増は結果なので新会員の入会人数の目標を設定してください。

(新会員入会実績)

- 生方年度 188名(女性24名)
- 豊川年度 155名(女性16名)
- 田中年度 221名(女性31名)

※45クラブのクラブ毎の目標数は後記「クラブ現況指標」の表内に表記しております。

2. 退会防止 105名以下(1クラブ5%以下)

退会防止の要諦は「楽しいクラブライフ」に尽きると思いますが、クラブ自治権を行使して、高齢会員について「特別会員制」を導入し会費の減免を図ったり、若手会員等について会費の軽減を図るなど、退会防止に繋がる施策も検討してください。

(退会実績)

- 生方年度 145名(女性8名)
- 豊川年度 150名(女性7名)
- 田中年度 170名(女性11名)

3. ロータリー財団

- 年次寄付 1人 150ドル以上
- ポリオ寄付 1人 30ドル以上
- 恒久基金寄付(年次寄付150ドル超の方の寄付推奨)  
(2025年までに20億2500万ドルが目標)
- ベネファクター 10名以上  
(1,000ドル以上)
- メジャードナー 5名以上  
(10,000ドル以上)

(実績)

	年次寄付	ポリオ寄付	恒久基金	ベネファクター	メジャードナー
生方年度	179ドル	22ドル	21ドル	12名	11名
豊川年度	168ドル	32ドル	6ドル	9名	3名
田中年度	172ドル	31ドル	24ドル	4名	3名

4. 米山記念奨学金寄付 普通寄付・特別寄付合計で1人 16,000円以上



国際ロータリー第 2840 地区戦略計画 2017 - 2020 年

## 2020年、そしてその先の未来へ ～地区・クラブの戦略目標～ 「魅力あるクラブ」をつくろう

地区の役割は、「魅力あるクラブ」づくりをお手伝いすることです。

私たちの 2840 地区は、2000 年に第 2560 地区（新潟・群馬）を分割して、日本において最も新しい地区として誕生しました。来る 2020 年には記念すべき 20 周年を迎えます。また、そのときは日本のロータリーの生誕 100 周年でもあります。

今こそ、来る 20 周年を目指したビジョン、そして 30 年、50 年、100 年先に地区および各クラブが明るい未来を迎えるための礎となるようなビジョンを作るべきときだと思います。

2020 年までに各クラブは自らが持つ素晴らしい歴史にさらに磨きをかけて、より魅力的なクラブへと発展していかなければなりません。生き生きとした誰もが楽しいクラブ、社会に認知されたクラブ、会員であることに誇りを持てるクラブ、多くの仲間と共にこの目標を実現しましょう。地区はその応援をします。

私たち 46 クラブは一つです。

### 1 明るい未来のために素晴らしいビジョンを作ろう

- 目標そしてその計画なくして実行なく、成功はありません。  
クラブの仲間と夢を実現するために、具体的な目標づくりが必要です。クラブで将来の理想的なビジョンを作り、実施計画を立てましょう。

### 2 仲間を増やそう

- 仲間を増やすことで、例会の充実や奉仕活動への活力が生まれます。  
クラブ財政が豊かになり、これまで手の届かなかった事業も実現できます。その結果、地区・クラブの地域・社会への貢献度がより高まることでしょう。  
そのために
  - (1) 会員増加率は毎年度 5% 増を達成しましょう。
  - (2) 若手会員はクラブの未来です。彼らの参加を促しましょう。
  - (3) 女性会員ゼロクラブをなくしましょう。
  - (4) 早期に地区の会員数 2540 名（女性会員 200 名）を達成しましょう。  
(地区分割時の会員数に戻そう。)

### 3 ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう

- ロータリー活動の第一歩は例会に出席することです。  
そこでの仲間との出会い、交流、親睦は生涯の財産です。例会、研修、セミナー、奉仕活動などすべてが自己の研鑽に繋がります。せっかくの機会を活用し人生にとって有意義な経験を得ましょう。  
そのために
  - (1) 例会に出席しましょう。そして他クラブにも積極的にメイクしましょう。
  - (2) 地区大会、各種の研修会・セミナー等に積極的に参加して自己研鑽に励みましょう。





## 4 ロータリーを知ろう

- ロータリーは知れば知るほど面白くなります。  
四つのテストに代表されるように、ロータリーは自らの行動をより良い方向へと導いてくれます。自らが誇れるロータリアンになるためにロータリーをもっと勉強しましょう。  
そのために
  - (1) 地区・クラブにおけるロータリー研修を活性化しましょう。
  - (2) 地区研修リーダー、クラブ研修リーダーが連携して、ロータリーの理解を深めましょう。

## 5 ロータリーを知らせよう

- 地域社会の人たちはロータリーをどれだけ理解しているでしょうか。  
私たちは世界に対して良いことをし続けてきました。しかし残念ながらロータリーに対する公共イメージは低いものがあります。これをなんとか改善しましょう。  
そのために
  - (1) ロータリーの存在価値を発信することの重要性を理解しましょう。
  - (2) 地域に貢献するロータリー活動を促進し、社会からの認知度を高めましょう。

## 6 奉仕活動の意義を再確認し、充実させよう

- ロータリーの五大奉仕部門の活動はロータリーの柱です。  
これらを充実させることは自分たちが社会に良いことをするという意識を共有し、親睦を深めるために大切なことです。  
そのために
  - (1) 私たちの原点である各種の奉仕活動に積極的に参加しましょう。
  - (2) 世界の青少年の夢をはぐくみ、次世代への明るい未来を拓きましょう。

## 7 私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう

- 寄付金は善意溢れる小さな好意です。でもそれが集まると大きな事業が出来ます。社会に貢献することは私たちの使命です。  
そのために  
ロータリー財団や米山記念奨学会に寄付をして、
  - (1) ロータリー財団からの補助金を積極的に活用しましょう。
  - (2) 世界の平和のために、米山奨学金を利用し留学生を支援しましょう。

## 8 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

- ロータリアンは寄付の大切さを知っています。その効果的な使い方もよく知っています。社会に対して私たちは寄付金を利用してどのように貢献していくのがよいのかを考えましょう。  
そのために
  - (1) ロータリー財団への寄付金1人あたり150ドル以上を維持しましょう。
  - (2) 「もう少し」ポリオ撲滅のため、同寄付金1人あたり30ドル以上を維持しましょう。
  - (3) 米山奨学寄付金1人あたり16,000円以上を維持しましょう。



# 2019-2020年度 国際ロータリー

## 第2840地区 ガバナー 森田 高史

国際ロータリー他役員等	
国際ロータリー元理事	重田 政信 (高崎北)
(公財)ロータリー日本財団評議員	重田 政信 (高崎北)
(公財)ロータリー米山記念奨学会理事	高木 貞一郎 (館林)
(公財)ロータリー米山記念奨学会評議員	竹内 正幸 (太田)
規定審議会代表議員世話人代表	曾我 隆一 (前橋)
国際ロータリー理事指名委員会委員	横山 公一 (沼田)
日本のロータリー100周年実行委員会ビジョン策定委員会委員長	本田 博己 (前橋)
RLI日本支部ファンリテーター委員会副委員長	本田 博己 (前橋)
RLI日本支部カリキュラム委員会副委員長	本田 博己 (前橋)
(公財)ロータリー米山記念奨学会財務委員	田中 久夫 (高崎)
(公財)ロータリー米山記念奨学会広報委員	本田 博己 (前橋)
翻訳委員会タスクフォース委員会委員	宮内 敦夫 (館林)

地区研修リーダー	
竹内 正幸	(太田)

ガバナー諮問委員会		副ガバナー	
重田 政信 (高崎北)	宮内 敦夫 (館林)	重田 政信 (高崎北)	宮内 敦夫 (館林)
高木 貞一郎 (館林)	意義ある奉仕賞選考委員会	高木 貞一郎 (館林)	意義ある奉仕賞選考委員会
清 章司 (藤岡)	委員長 森田 高史 (伊勢崎)	清 章司 (藤岡)	委員長 森田 高史 (伊勢崎)
森田 均 (渋川)	副委員長 宮内 敦夫 (館林)	森田 均 (渋川)	副委員長 宮内 敦夫 (館林)
山崎 學 (高崎南)	委員 竹内 正幸 (太田)	山崎 學 (高崎南)	委員 竹内 正幸 (太田)
曾我 隆一 (前橋)	委員 生方 彰 (沼田中央)	曾我 隆一 (前橋)	委員 生方 彰 (沼田中央)
横山 公一 (沼田)	委員 田中 久夫 (高崎)	横山 公一 (沼田)	委員 田中 久夫 (高崎)
松倉 純洋 (富岡)	ガバナー指名委員会	松倉 純洋 (富岡)	ガバナー指名委員会
牛久保哲男 (伊勢崎)	委員長 竹内 正幸 (太田)	牛久保哲男 (伊勢崎)	委員長 竹内 正幸 (太田)
福田 一良 (前橋西)	副委員長 生方 彰 (沼田中央)	福田 一良 (前橋西)	副委員長 生方 彰 (沼田中央)
安藤慶太郎 (高崎北)	委員 本田 博己 (前橋)	安藤慶太郎 (高崎北)	委員 本田 博己 (前橋)
正田 博之 (桐生)	委員 田中 久夫 (高崎)	正田 博之 (桐生)	委員 田中 久夫 (高崎)
本田 博己 (前橋)	委員 宮内 敦夫 (館林)	本田 博己 (前橋)	委員 宮内 敦夫 (館林)
竹内 正幸 (太田)	アドバイザー	竹内 正幸 (太田)	アドバイザー
生方 彰 (沼田中央)	RLI推進委員会 本田 博己 (前橋)	生方 彰 (沼田中央)	RLI推進委員会 本田 博己 (前橋)
田中 久夫 (高崎)	ロータリー財団委員会 牛久保哲男 (伊勢崎)	田中 久夫 (高崎)	ロータリー財団委員会 牛久保哲男 (伊勢崎)
宮内 敦夫 (館林)	会員組織強化委員会 安藤慶太郎 (高崎北)	宮内 敦夫 (館林)	会員組織強化委員会 安藤慶太郎 (高崎北)
常議会地区代表委員	女性ネットワーク委員会 正田 博之 (桐生)	常議会地区代表委員	女性ネットワーク委員会 正田 博之 (桐生)
曾我 隆一 (前橋)	公共イメージ委員会 福田 一良 (前橋西)	曾我 隆一 (前橋)	公共イメージ委員会 福田 一良 (前橋西)
補欠議員 本田 博己 (前橋)	青少年奉仕委員会 清 章司 (藤岡)	補欠議員 本田 博己 (前橋)	青少年奉仕委員会 清 章司 (藤岡)
RLI地区代表委員	米山記念奨学会委員会 高木 貞一郎 (館林)	RLI地区代表委員	米山記念奨学会委員会 高木 貞一郎 (館林)
竹内 正幸 (太田)	ロータリーの友地区代表委員	竹内 正幸 (太田)	ロータリーの友地区代表委員
	広瀬 雅美 (高崎)		広瀬 雅美 (高崎)

地区幹事	
新井 良和 2年 (伊勢崎)	
岡部 幹雄 3年 (前橋)	
小暮 雅丈 1年 (館林)	
地区会計長	
高橋 郁夫 (伊勢崎)	
地区副会計長	
鴻田 敦 (前橋)	
地区財務委員会	
高橋 郁夫 2年 (伊勢崎)	
鴻田 敦 3年 (前橋)	
齊藤 要 1年 (館林)	
地区副幹事	
多和田敬三 (伊勢崎)	
関 徹也 (伊勢崎)	
岸 慈音 (伊勢崎)	
久保木雅彦 (伊勢崎)	
加藤 学 (伊勢崎)	
小澤 弘 (伊勢崎)	
田中 泰亨 (伊勢崎)	
山崎裕紀雄 (伊勢崎)	
安部 良憲 (伊勢崎)	
松島 光雄 (伊勢崎)	
高橋 しげみ (伊勢崎)	
須藤 正也 (伊勢崎)	
事務局	
事務局員 入山 こと江	
事務局員 佐藤 由紀恵	

ガバナー補佐					
分区	第1分区	第2分区A	第2分区B	第3分区	第4分区A
ガバナー補佐	石川 直美 (前橋中央)	坪井 良廣 (桐生)	北原 康男 (伊勢崎中央)	梅山 哲 (高崎北)	赤石 光輝 (太田中央)

ロータリークラブ					
ロータリークラブ	前橋 前橋西 前橋東 前橋北 前橋南 前橋中央	桐生 桐生南 桐生西 桐生赤城	伊勢崎 群馬境 伊勢崎中央 伊勢崎南 伊勢崎東	高崎 高崎南 高崎北 高崎東 高崎シフォニ 高崎セントラル	太田 太田西 太田南 新田 太田中央
担当副幹事	久保木雅彦 (伊勢崎)	加藤 学 (伊勢崎)	岸 慈音 (伊勢崎)	関 徹也 (伊勢崎)	多和田敬三 (伊勢崎)

ロータリー財団監査委員会	
委員長 生方 彰 (沼田中央)	
委員 永井 乙彦 (高崎東)	
委員 新井 良和 (伊勢崎)	

ロータリー財団委員会	
委員長 板垣 忍 (前橋)	
担当副幹事 小澤 弘 (伊勢崎)	

地区戦略計画委員会	
委員長 田中 久夫 (高崎)	
副委員長 宮内 敦夫 (館林)	
委員 森田 高史 (伊勢崎)	
委員 山田 邦子 (前橋)	
委員 新井 良和 (伊勢崎)	
委員 岡部 幹雄 (前橋)	
担当副幹事 須藤 正也 (伊勢崎)	

地区研修委員会	
委員長 竹内 正幸 (太田)	
副委員長 松島 宏明 (桐生)	
委員 生方 彰 (沼田中央)	
委員 田中 久夫 (高崎)	
委員 宮内 敦夫 (館林)	
委員 山田 邦子 (前橋)	
委員 堀口 正孝 (安中)	
委員 静 朋人 (碓氷安中)	
担当副幹事 久保木 雅彦 (伊勢崎)	

### ポリオプラスプログラム (急性灰白随炎)

ポリオプラス委員会	
委員長 橋谷 晋治 (高崎北)	
副委員長 新井 照秋 (前橋東)	
委員 本田 雄二郎 (大泉)	
担当副幹事 田中 泰亨 (伊勢崎)	

資金推進委員会	
委員長 金井 修 (前橋西)	
副委員長 豊田 明美 (高崎)	
委員 清水 一男 (渋川)	
担当副幹事 山崎 裕紀雄 (伊勢崎)	

資金管理・平和フェロシシップ委員会	
委員長 川口 修平 (高崎南)	
副委員長 永井 寛之 (沼田中央)	
委員 水石 清治 (沼田)	
署名人 金井 修 (前橋西)	
署名人 豊田 明美 (高崎)	
担当副幹事 山崎 裕紀雄 (伊勢崎)	

### 補助金プログラム

補助金委員会	
委員長 山田 利和 (富岡かぶら)	
担当副幹事 小澤 弘 (伊勢崎)	

地区補助金委員会	
委員長 石川 好男 (太田)	
副委員長 嶋方 智之 (高崎)	
委員(第1分区) 齋藤 三郎 (前橋南)	
委員(第2分区A) 高森 勉 (桐生西)	
委員(第2分区B) 鈴木 昭彦 (伊勢崎南)	
委員(第3分区) 小林 匡美 (高崎南)	
委員(第4分区A) 松本 徹 (太田中央)	
委員(第4分区B) 飯田 知義 (大泉)	
委員(第5分区) 小見山 健次 (渋川みどり)	
委員(第6分区) 松岡 将之 (安中)	
担当副幹事 小澤 弘 (伊勢崎)	

グローバル補助金委員会	
委員長 津久井 功 (沼田)	
副委員長 小此木 正博 (伊勢崎)	
委員 角張 桂子 (前橋)	
委員 大木 孝之 (伊勢崎東)	
委員 天野 純一 (沼田)	
委員 本山 佳宏 (沼田中央)	
委員 富岡 隆 (富岡中央)	
担当副幹事 加藤 学 (伊勢崎)	

会員組織強化委員会	
委員長 宮内 敦夫 (館林)	
副委員長 山田 邦子 (前橋)	
委員 石川 直美 (前橋中央)	
委員 坪井 良廣 (桐生)	
委員 北原 康男 (伊勢崎中央)	
委員 梅山 哲 (高崎北)	
委員 赤石 光輝 (太田中央)	
委員 鎌田 貴一郎 (館林東)	
委員 保坂 充勇 (沼田)	
委員 神子田 暲 (藤岡南)	
担当副幹事 高橋 しげみ (伊勢崎)	

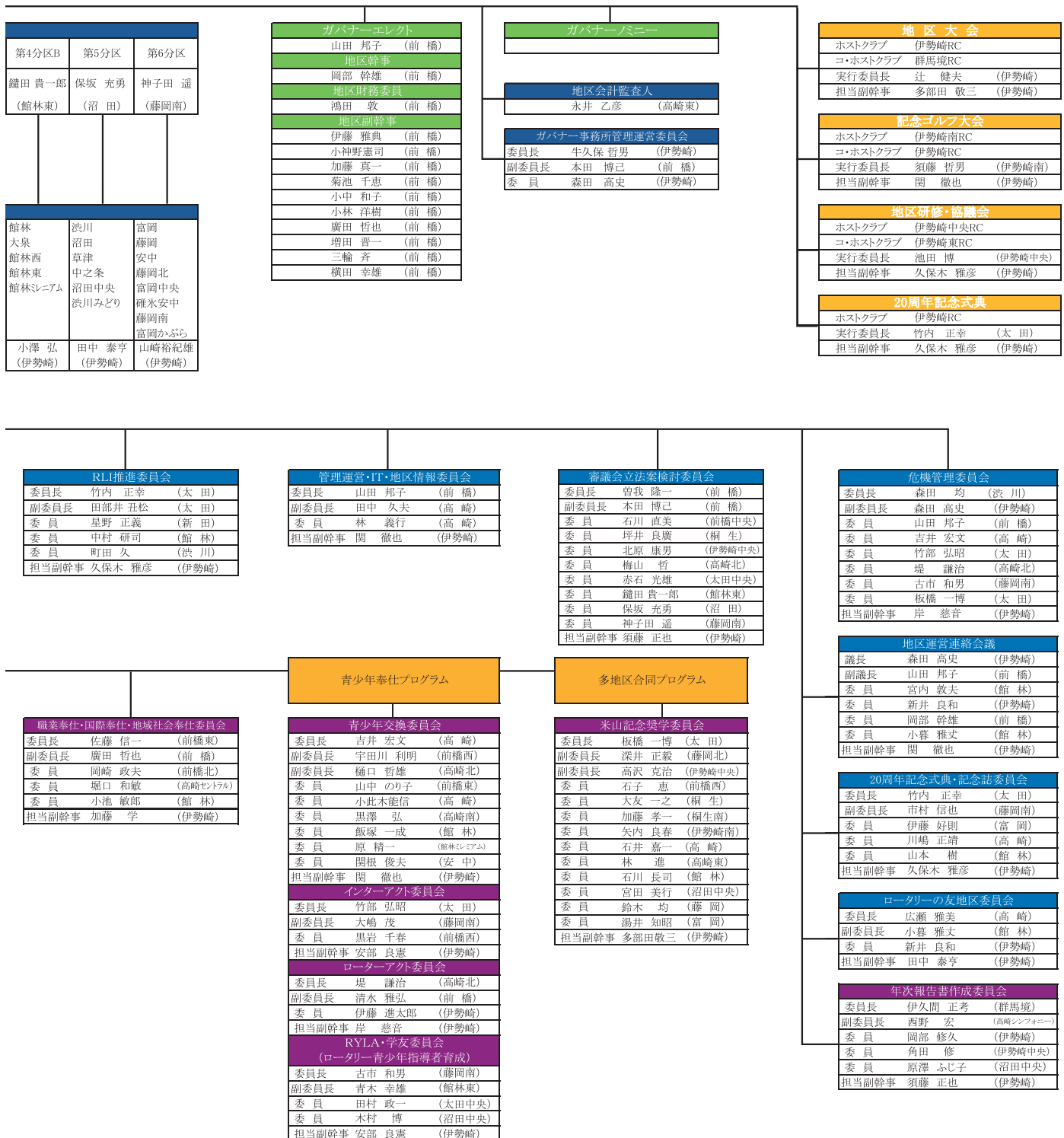
女性ネットワーク委員会	
委員長 中澤 洋子 (高崎)	
副委員長 高橋 淳子 (伊勢崎中央)	
委員 丸山ふでみ (伊勢崎)	
委員 相山美喜江 (太田西)	
委員 阿部 豊子 (館林東)	
委員 豊野 はるみ (沼田中央)	
委員 中嶋 千香子 (藤岡)	
担当副幹事 高橋 しげみ (伊勢崎)	

公共イメージ委員会	
委員長 関口 啓子 (高崎南)	
副委員長 岡田 忠彰 (前橋中央)	
委員 羽田野 恭男 (桐生赤城)	
委員 羽島 武久 (高崎東)	
委員 栗林 紀昌 (太田南)	
委員 原 義裕 (館林西)	
委員 堤 康喜智 (沼田中央)	
担当副幹事 松島 光雄 (伊勢崎)	

国際大会推進委員会 (オンツォー・ハワイ)	
委員長 櫻岡 行支 (大泉)	
副委員長 竹中 隆 (高崎北)	
委員 児島 清文 (伊勢崎中央)	
委員 梅田 浩行 (伊勢崎東)	
委員 金谷 光明 (太田西)	
委員 小曾根一雄 (沼田中央)	
担当副幹事 田中 泰亨 (伊勢崎)	



# 第2840地区 組織図



地区組織・クラブ会長・幹事名簿

















第2840地区 2019-2020年度 地区役員名簿

	RI 元理事・ガバナー諮問委員会委員 しげ た ま さ のぶ <b>重田政信</b> (高崎北 RC) (医)小泉重田小児科 理事長 TEL : 027-362-5811 FAX : 027-363-4338
	ガバナー諮問委員会委員・米山記念奨学委員会アドバイザー たか ぎ ていいちろう <b>高木貞一郎</b> (館林 RC) 高木経理事務所 所長 TEL : 0276-72-3218 FAX : 0276-75-3218
	ガバナー諮問委員会委員・危機管理委員会委員長 もり た ひとし <b>森田均</b> (渋川 RC) 森田均法律事務所 所長 TEL : 027-224-8860 FAX : 027-224-8134
	ガバナー諮問委員会委員・審議会地区代表委員・ 審議会立法案検討委員会委員長 そ が りゅう いち <b>曽我隆一</b> (前橋 RC) 前橋倉庫(株) 取締役会長 TEL : 027-265-2321 FAX : 027-265-2328
	ガバナー諮問委員会委員 まつ くら こうゆう <b>松倉紘洋</b> (富岡 RC) (福)恵濟会 理事長・総苑長 TEL : 0274-63-7284 FAX : 0274-62-0972
	ガバナー諮問委員会委員・公共イメージ委員会ア ドバイザー ふく だ かず よし <b>福田一良</b> (前橋西 RC) (株)福田不動産 会長 TEL : 027-221-6868 FAX : 027-221-7444
	ガバナー諮問委員会委員・女性ネットワーク委員 会アドバイザー ひき た ひろ ゆき <b>疋田博之</b> (桐生 RC) ひきた小児科クリニック 院長 TEL : 0277-44-3040 FAX : 0277-44-4560
	ガバナー諮問委員会委員・地区研修リーダー・RIJ地区 代表委員・意義ある奉仕賞選考委員会委員・ガバナー 指名委員会委員長・地区研修委員会委員長・RIJ推進委 員会委員長・20周年記念式典・記念誌委員会委員長 たけ うち まさ ゆき <b>竹内正幸</b> (太田 RC) (株)竹内組 代表取締役社長 TEL : 0276-45-1408 FAX : 0276-48-5595
	ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕賞選考委員 会委員・ガバナー指名委員会委員・地区戦略計画委員 会委員長・地区研修委員会委員・管理運営・IT・地区情 報委員会副委員長 た な か ひさ お <b>田中久夫</b> (高崎 RC) 高崎経済大学大学院 教授・博士(経営学) TEL : 027-344-7527 FAX : 027-364-3501
	ガバナーエレクト・地区戦略計画委員会委員・地区研修 委員会委員・管理運営・IT・地区情報委員会委員長・危 機管理委員会委員・地区運営連絡会議副議長・会員組織 強化委員会副委員長 やま だ くに こ <b>山田邦子</b> (前橋 RC) 若宮内科 院長 TEL : 027-234-6001 FAX : 027-234-6011

	ガバナー もり た たか し <b>森田高史</b> (伊勢崎 RC) 森田税務会計事務所 所長 TEL : 0270-25-1441 FAX : 0270-24-8237
	ガバナー諮問委員会委員・青少年奉仕委員会アドバイザー きよし あき つぐ <b>清章司</b> (藤岡 RC) (福)梅檀双葉会 理事長 TEL : 0274-22-3981 FAX : 0274-22-8841
	ガバナー諮問委員会委員 やま ざき まなぶ <b>山崎學</b> (高崎南 RC) (医)山崎会 サンビエール病院 理事長・院長 TEL : 027-347-1177 FAX : 027-347-2850
	ガバナー諮問委員会委員 よこ やま こう いち <b>横山公一</b> (沼田 RC) 利根沼田移動通信機(株) 取締役会長 TEL : 0278-22-0387 FAX : 0278-22-7464
	ガバナー諮問委員会委員・R財団委員会アドバイ ザー・ガバナー事務所管理運営委員会委員長 うしくぼ てつ お <b>牛久保哲男</b> (伊勢崎 RC) (株)ホンダカーズ高崎 会長 TEL : 0270-26-4411 FAX : 0270-26-4499
	ガバナー諮問委員会委員・会員組織強化委員会ア ドバイザー あん どう しんたろう <b>安藤震太郎</b> (高崎北 RC) (株)安藤 相談役 TEL : 027-364-7110 FAX : 027-364-7130
	ガバナー諮問委員会委員・審議会地区代表補欠議員・ガバナー 指名委員会委員・RIJ推進委員会アドバイザー・審議会立法案 検討委員会副委員長・ガバナー事務所管理運営委員会委員 ほん だ ひろ き <b>本田博己</b> (前橋 RC) 群馬ヤクルト販売(株) 代表取締役会長 TEL : 027-251-8960 FAX : 027-253-8960
	ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕賞選考委員 会委員・ガバナー指名委員会副委員長・地区研修委員 会委員・R財団監査委員会委員長 うべ かた あきら <b>生方彰</b> (沼田中央 RC) ウブカタ本社(株) 代表取締役 TEL : 0278-22-5555 FAX : 0278-24-1620
	副ガバナー・ガバナー諮問委員会委員・意義ある奉仕 賞選考委員会委員・ガバナー指名委員会委員・地区戦 略計画委員会委員・地区研修委員会委員・地区運営連 絡会議委員・会員組織強化委員会委員長 みや うち あつ お <b>宮内敦夫</b> (館林 RC) (学)東洋大学 名誉教授 TEL : 0276-82-1499 FAX : 0276-82-0784



## 第2840地区 2019-2020年度 地区役員名簿

	第1分区分区ガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 いし かわ なお み <b>石川直美</b> (前橋中央RC) (有)石川不動産鑑定士事務所 代表取締役 TEL: 027-225-0348 FAX: 027-225-0349		第2分区分区Aガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 つば い よし ひろ <b>坪井良廣</b> (桐生RC) (宗)桐生山 鳳仙寺 住職 TEL: 0277-32-1177 FAX: 0277-40-6000
	第2分区分区Bガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 きた はら やす お <b>北原康男</b> (伊勢崎中央RC) (株)北原製作所 代表取締役 TEL: 0270-25-1343 FAX: 0270-24-2082		第3分区分区ガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 うめ やま てつ <b>梅山哲</b> (高崎北RC) (有)ジャストプランニング 会長 TEL: 027-363-6565 FAX: 027-363-6669
	第4分区分区Aガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 あか いし みつ お <b>赤石光雄</b> (太田中央RC) 赤石建設(株) 代表取締役 TEL: 0276-38-0279 FAX: 0276-38-0136		第4分区分区Bガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 やり た き いちろう <b>鎌田貴一郎</b> (館林東RC) TEL: 0276-72-1695 FAX: 0276-75-3100
	第5分区分区ガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 ほ さか みつ お <b>保坂充勇</b> (沼田RC) 三満不動産鑑定事務所 所長 TEL: 0278-24-1871 FAX: 0278-23-1335		第6分区分区ガバナー補佐・審議会立案検討委員会委員・会員組織強化委員会委員 み こ だ はるか <b>神子田遙</b> (藤岡南RC) 藤岡市サッカー協会 顧問 TEL: 0274-24-0686 FAX: 0274-24-0686
	地区幹事(2年)・地区戦略計画委員会委員・地区運営連絡会議委員・ロータリーの友地区委員会委員・ロータリー財団監査委員会委員 あらい よし かず <b>新井良和</b> (伊勢崎RC) つばめタクシー(株) 代表取締役 TEL: 0270-25-2002 FAX: 0270-25-2010		地区幹事(1年)・地区運営連絡会議委員・ロータリーの友地区委員会副委員長 こ め まさ たけ <b>小暮雅丈</b> (館林RC) 小暮商店(株) 社長 TEL: 0276-73-6391 FAX: 0276-75-0127
	地区幹事(3年)・地区戦略計画委員会委員・地区運営連絡会議委員 おか べ みき お <b>岡部幹雄</b> (前橋RC) (株)オーケーコーポレーション 代表取締役 TEL: 0279-54-2901 FAX: 0279-54-8699		地区会計長・地区財務委員会委員(2年) たか はし いく お <b>高橋郁夫</b> (伊勢崎RC) アグリ・フーズ(株) 代表取締役 TEL: 0270-61-8803 FAX: 0270-23-4131
	地区財務委員会委員(1年) さい とう かなめ <b>齊藤要</b> (館林RC) (株)齊藤商事 社長 TEL: 0276-89-0015 FAX: 0276-75-4366		地区副会計長・地区財務委員会委員(3年) こう だ あつし <b>鴻田敦</b> (前橋RC) 税理士法人 けやき総合事務所 代表社員 TEL: 027-261-1501 FAX: 027-263-2761
	地区研修委員会副委員長 まつ しま ひろ あき <b>松島宏明</b> (桐生RC) M'sパートナー税理士法人 代表社員 TEL: 0277-55-0207 FAX: 0277-55-0209		地区研修委員会委員 ほり ぐち まさ たか <b>堀口正孝</b> (安中RC) (有)堀ビル 代表取締役 TEL: 027-381-4048 FAX: 027-381-4048
	地区研修委員会委員 しずか とも ひと <b>静朋人</b> (碓氷安中RC) (株)並木 代表取締役 TEL: 027-382-0730 FAX: 027-381-1125		



## 第2840地区 2019-2020年度 地区役員名簿

 ロータリーの友地区代表委員・ロータリーの友地区委員会委員長 <b>ひろ せ まさ み</b> <b>広瀬 雅美</b> (高崎 RC) ヒロパックス(株) 代表取締役社長 TEL : 027-343-2111 FAX : 027-343-2112	 ロータリー財団委員会委員長 <b>いた がき のぶ</b> <b>板垣 忍</b> (前橋 RC) (株)板垣労務管理事務所 代表取締役 TEL : 027-260-8111 FAX : 027-260-8122
 補助金委員会委員長 <b>やま だ とし かず</b> <b>山田 利和</b> (富岡かぶら RC) (有)山田会計 代表取締役 TEL : 0274-74-5580 FAX : 0274-74-5568	 地区補助金委員会委員長 <b>いし かわ よし お</b> <b>石川 好男</b> (太田 RC) 石川瓦工業(株) 代表取締役 TEL : 0276-31-4644 FAX : 0276-31-2816
 グローバル補助金委員会委員長 <b>つ く い いきお</b> <b>津久井 功</b> (沼田 RC) (株)グリフエデュケーション 代表取締役 TEL : 0278-24-1519 FAX : 0278-22-6580	 ポリオプラス委員会委員長 <b>はし や しん じ</b> <b>橋谷 晋治</b> (高崎北 RC) プリダストンタイヤ高崎販売(株) 代表取締役社長 TEL : 027-363-4366 FAX : 027-361-1840
 資金推進委員会委員長・資金管理委員会署名人 <b>かな い おさむ</b> <b>金井 修</b> (前橋西 RC) (株)クライム 代表取締役 TEL : 027-395-5001 FAX : 027-395-5002	 資金管理・平和フェローシップ委員会委員長 <b>かわ ぐち しゅう へい</b> <b>川口 修平</b> (高崎南 RC) (株)川口商店 代表取締役 TEL : 027-362-5233 FAX : 027-362-0081
 女性ネットワーク委員会委員長 <b>なか ぎわ よう こ</b> <b>中澤 陽子</b> (高崎 RC) グリムナック 野菜ブーケ senka 家元 TEL : 027-370-0379 FAX : 027-370-0388	 公共イメージ委員会委員長 <b>せき ぐち けい こ</b> <b>関口 啓子</b> (高崎南 RC) (有)明石屋 代表取締役 TEL : 027-322-3023 FAX : 027-322-3023
 国際大会推進委員会(オンツウ・ハワイ)委員長 <b>つき おか ゆき し</b> <b>槻岡 行支</b> (大泉 RC) (株)槻岡工業 代表取締役 TEL : 0276-62-5754 FAX : 0276-62-0169	 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会委員長 <b>さい とう しん いち</b> <b>佐藤 信一</b> (前橋東 RC) TEL : 027-223-3680 FAX : 027-223-3680
 青少年交換委員会委員長・危機管理委員会委員 <b>よし ひろ ふみ</b> <b>吉井 宏文</b> (高崎 RC) 吉井宏文税理士行政書士事務所 所長 TEL : 027-386-3342 FAX : 027-386-3346	 インターアクト委員会委員長・危機管理委員会委員 <b>たけ べ ひろ あき</b> <b>竹部 弘昭</b> (太田 RC) 竹部工業(株) 代表取締役 TEL : 0276-46-1515 FAX : 0276-48-1468
 ローターアクト委員会委員長・危機管理委員会委員 <b>つ つ み けん じ</b> <b>堤 謙治</b> (高崎北 RC) (株)堤組舗装 社長 TEL : 027-343-4744 FAX : 027-343-4438	 RYLA・学友委員会委員長・危機管理委員会委員 <b>ふる いち かず お</b> <b>古市 和男</b> (藤岡南 RC) (株)フルイチ 代表取締役 TEL : 0274-42-4472 FAX : 027-212-8163
 米山記念奨学委員会委員長・危機管理委員会委員 <b>いた ばし かず ひろ</b> <b>板橋 一博</b> (太田 RC) (株)板通 専務取締役 TEL : 0276-25-8200 FAX : 0276-25-8179	 年次報告書作成委員会委員長 <b>い く ま せい こう</b> <b>伊久間 正考</b> (群馬境 RC) (宗)愛染院 住職 TEL : 0270-74-7089 FAX : 0270-74-7089



第2840地区 2019-2020年度 ガバナースタッフ名簿

	地区副幹事
	た べ た けい ぞう 多 部 田 敬 三 (伊勢崎RC)
	(株)ゴダイ 代表取締役 TEL : 0270-62-6525 FAX : 0270-62-7243

	地区副幹事
	せ き てつ や 関 徹 也 (伊勢崎RC)
	天然温泉伊勢崎ゆま〜る 代表取締役 TEL : 0270-75-4126 FAX : 0270-30-1526

	地区副幹事
	き し じ おん 岸 慈 音 (伊勢崎RC)
	Z-On(株) 代表取締役 TEL : 0270-75-2663 FAX : 0270-75-2664

	地区副幹事
	く ぼ き まさ ひこ 久 保 木 雅 彦 (伊勢崎RC)
	(株)サンワプランニング 代表取締役 TEL : 0270-27-7177 FAX : 0270-27-7188

	地区副幹事
	か とう まなぶ 加 藤 学 (伊勢崎RC)
	上武緑化(株) 代表取締役 TEL : 0270-23-4050 FAX : 0270-26-0694

	地区副幹事
	お ざわ ひろし 小 澤 弘 (伊勢崎RC)
	平和プロバングス(有) 代表取締役社長 TEL : 0270-74-0176 FAX : 0270-74-0839

	地区副幹事
	た なか ひろ ゆき 田 中 泰 亨 (伊勢崎RC)
	ル・ソレイユ(株) 代表取締役 TEL : 0270-75-3138 FAX : 0270-75-3130

	地区副幹事
	や ま ぎ き ゆ き お 山 崎 裕 紀 雄 (伊勢崎RC)
	(有)ヤマキコーポレーション 取締役社長 TEL : 0270-30-1616 FAX : 0270-30-1617

	地区副幹事
	あ べ よし のり 安 部 良 憲 (伊勢崎RC)
	群興(株) 代表取締役 TEL : 0270-70-6171 FAX : 0270-61-6010

	地区副幹事
	ま っ し ま み つ お 松 島 光 雄 (伊勢崎RC)
	アバウトネット(株) 代表取締役 TEL : 0270-75-3430 FAX : 0270-75-3429

	地区副幹事
	た か は し し げ み 高 橋 し げ み (伊勢崎RC)
	アジア・ホスピタリティ・グループ(株) 代表取締役 TEL : 0270-32-6390 FAX : 0270-32-6390

	地区副幹事
	す だう ま さ や 須 藤 正 也 (伊勢崎RC)
	TEL : 0270-26-9343 FAX : 0270-26-9343

	ガバナー事務所 事務局員
	い り や ま こ ず え 入 山 こ ず 江
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

	ガバナー事務所 事務局員
	さ とう ゆ き え 佐 藤 由 紀 恵
	TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



# 一般会計収支予算書 (案)

国際ロータリー第2840地区・自2019年7月1日 至2020年6月30日

(単位：円)

科 目	本年度予算案①		前年度予算額②	増減額①-②	備 考			
	款	項			分 担 金	前 期	後 期	
取 入	1. 地区事業資金	10,542,000		11,382,000	△ 840,000	一人当たり分担金合計 5,020	2,510×2,100人	2,510×2,100人
	(1) 青少年交換資金		3,591,000	5,943,000	△ 2,352,000	1,710×2,100人	855×2,100人	855×2,100人
	(2) インターアクト振興資金		2,730,000	2,730,000	0	1,300×2,100人	650×2,100人	650×2,100人
	(3) ローターアクト振興資金		1,197,000	1,407,000	△ 210,000	570×2,100人	285×2,100人	285×2,100人
	(4) RYLA活動資金		1,302,000	1,302,000	0	620×2,100人	310×2,100人	310×2,100人
	(5) 公共イメーヅ振興基金		1,512,000	0	1,512,000	720×2,100人	360×2,100人	360×2,100人
	(6) その他		210,000	0	210,000	100×2,100人	50×2,100人	50×2,100人
	2. 地区活動資金	26,880,000		26,763,000	117,000	一人当たり分担金合計 12,800	6,400×2,100人	6,400×2,100人
	(1) 地区大会開催資金		9,513,000	10,500,000	△ 987,000	4,530×2,100人	2,265×2,100人	2,265×2,100人
	(2) ガバナー他活動資金		17,367,000	16,263,000	1,104,000	8,270×2,100人	4,135×2,100人	4,135×2,100人
	3. 地区事務所運営資金等	15,078,000		15,615,000	△ 537,000	一人当たり分担金合計 7,180	3,590×2,100人	3,590×2,100人
	(1) 地区事務所運営・地区積立預金資金		15,078,000	15,615,000	△ 537,000	7,180×2,100人	3,590×2,100人	3,590×2,100人
	4. その他	1,510,000		1,510,000	0	分担金合計 25,000	12,500	12,500
(1) RI助成金		1,500,000	1,500,000	0	参考：前年度分担金合計 25,600円			
(2) 受取利息		9,000	9,000	0				
(3) 雑収入		1,000	1,000	0				
当期収入合計(A)	54,010,000		55,270,000	△ 1,260,000				
前期繰越収支差額(※1)	6,340,454		7,166,866	△ 826,412				
収入合計(B)	60,350,454		62,436,866	△ 2,086,412				
支 出 の 部	1. 地区事業資金	10,642,000		11,781,000	△ 1,139,000			
	(1) 青少年交換事業		3,591,000	5,943,000	△ 2,352,000	交換学生の授業料、制服、歓迎会、関係諸経費		
	(2) インターアクト振興事業		2,730,000	2,730,000	0	年次大会、台湾交流歓迎・さよならパーティー他		
	(3) ローターアクト振興事業		1,197,000	1,407,000	△ 210,000	年次大会、他地区合同行事、他地区年次大会登録費他		
	(4) RYLA活動事業		1,302,000	1,302,000	0			
	(5) 公共イメーヅ振興事業		1,512,000	0	1,512,000	上毛新聞掲載費用		
	(6) グローバル補助金申請支援事業		100,000	0	100,000	申請等実務支援		
	(7) 緊急災害対策事業		0	399,000	△ 399,000			
	(8) 予備費		210,000	0	210,000			
	2. 地区活動資金	26,930,000		28,417,000	△ 1,487,000			
	(1) ガバナー活動費		18,658,000	21,817,000	△ 3,159,000			
	① 地区大会開催費		9,513,000	10,500,000	△ 987,000	地区大会開催費用他		
	② ガバナー公式訪問補助金		450,000	460,000	△ 10,000	10,000円×45クラブ		
	③ インターアクト年次大会協力金		150,000	150,000	0	年次大会協力金		
	④ ローターアクト年次大会協力金		175,000	175,000	0	年次大会協力金		
	⑤ 各種セミナー開催費		2,230,000	2,550,000	△ 320,000			
	⑤-1 指導者育成セミナー		120,000	120,000	0	登録料有り、会場費他		
	⑤-2 新会員セミナー		100,000	20,000	80,000	登録料有り		
	⑤-3 R財団セミナー		300,000	700,000	△ 400,000	登録料有り、会場費、看板、スクリーン、音響他		
	⑤-4 米山記念奨学セミナー		30,000	30,000	0	登録料有り、会場費、看板、スクリーン、音響他		
	⑤-5 RLI研修セミナー		500,000	500,000	0	登録料有り、3回/年度、会場費、看板、テキスト、バッチ他		
	⑤-6 IM研修セミナー		640,000	640,000	0	80,000円×8分区		
	⑤-7 補助金管理セミナー		200,000	200,000	0	登録料有り、会場費、看板、スクリーン、音響		
	⑤-8 地区女子会		150,000	150,000	0	登録料有り、他費用		
	⑤-9 危機管理セミナー		30,000	30,000	0			
	⑤-10 ローターデー開催費		160,000	160,000	0			
	⑥ 地区会合費		730,000	760,000	△ 30,000			
⑥-1 ガバナー補佐会議		50,000	50,000	0	会場費他			
⑥-2 ガバナー補佐・委員長合同会議		80,000	80,000	0	会場費他			
⑥-3 現新地区役員合同会議		500,000	450,000	50,000	会場費他			
⑥-4 幹事会		50,000	130,000	△ 80,000	会場費他			
⑥-5 財務委員会		50,000	50,000	0	会場費他			





(単位：円)

科	目	本年度予算案①		前年度予算額②	増減額①-②	備 考	
		款	項				
支 出 の 部	⑦ ガバナー活動費		1,600,000	1,600,000	0		
	⑦-1 各種会合登録費		600,000	600,000	0	各クラブ周年、I・M、RYLA、他会合への登録費他	
	⑦-2 各種表彰費		300,000	300,000	0	地区大会他での表彰費用他	
	⑦-3 その他ガバナー活動費		700,000	700,000	0	各クラブ訪問、他行事への登録費他	
	⑧ ガバナー補佐活動費		1,350,000	1,600,000	△ 250,000	30,000円×45クラブ、クラブ訪問、分会長・幹事会、IM他	
	⑨ 報告書作成費		200,000	500,000	△ 300,000	年次報告書の作成	
	⑩ RI関係各種登録料		100,000	100,000	0	財団地域セミナー、RYLA研究会等費用	
	⑪ 委員会活動費		2,160,000	3,422,000	△ 1,262,000		
	⑪-1 ガバナー諮問委員会		500,000	400,000	100,000	会場費、PG関係諸経費他	
	⑪-2 その他委員会活動費(※2)		1,660,000	3,022,000	△ 1,362,000	委員会会議費他	
	(2) ガバナーエレクト活動費		7,350,000	6,600,000	750,000		
	① 国際協議会		800,000	800,000	0	参加費用他	
	② 国際大会		800,000	800,000	0	参加費用他	
	③ ガバナー補佐会議		350,000	300,000	50,000	会場費他(3回/年度)	
	④ ガバナー補佐・委員長合同会議		300,000	200,000	100,000	会場費他(2回/年度)	
	⑤ 委員会事業計画協議会		50,000	0	50,000	会場費他	
	⑥ 地区チーム研修セミナー		400,000	200,000	200,000	会場費他	
	⑦ クラブ運営セミナー		50,000	0	50,000	登録料有り、会場費他	
	⑧ 会長幹事エレクト研修セミナー		900,000	900,000	0	登録料有り、会場費他	
	⑨ 地区研修・協議会開催費		800,000	800,000	0	登録料有り、会場費他	
	⑩ 会員増強セミナー開催費		100,000	100,000	0	登録料有り、会場費他	
	⑪ 印刷費		1,100,000	1,500,000	△ 400,000	会員必携、PETS・SETS印刷費他	
	⑫ 地区バッジ等製作費		700,000	0	700,000	製作費他	
	⑬ 各種会合登録費		500,000	0	500,000	各クラブ訪問周年行事等	
	⑭ その他ガバナーエレクト活動費		500,000	1,000,000	△ 500,000	活動費用他	
	(3) ガバナーノミニ活動費		150,000	0	150,000		
	① 印刷費		50,000	0	50,000	名刺等	
	② その他ガバナーノミニ活動費		100,000	0	100,000	各種登録費他	
	(4) 予備費		772,000	0	772,000		
	3. 地区事務所運営資金		15,188,000		14,822,000	366,000	
	(1) 全国組織分担金			1,501,500	1,501,500	0	
	① ガバナー会議運営協力金			451,500	451,500	0	200円×2100人+15円×2100人
	② 日本青少年交換委員会、RIJYEC			420,000	420,000	0	200円×2100人 維持協力金
	③ ロータリー文庫協力金			630,000	630,000	0	300円×2100人
	(2) ガバナー事務所運営費		13,568,800		13,076,700	492,100	
	① 会議費			50,000	200,000	△ 150,000	開催費用他
	② 労務費			6,500,000	6,500,000	0	事務局員人件費他
	③ 地区HP・月信関係費			1,100,000	950,400	149,600	HP、ガバナー月信作成、掲載費用他
	④ 地区補助金申請・報告システム保守費			388,800	388,800	0	地区補助金申請・報告システムのメンテナンス費用
	⑤ 旅費交通費			350,000	500,000	△ 150,000	事務局員通勤費
	⑥ 通信費			700,000	800,000	△ 100,000	電話、INT手数料、切手、年賀はがき他
	⑦ 事務所賃借料			1,430,000	1,430,000	0	事務所賃借料、駐車場代
	⑧ 水道光熱費			400,000	500,000	△ 100,000	電気、水道他
	⑨ 印刷費			2,200,000	1,200,000	1,000,000	事務所複合機利用、カウンター料、事務備品他
	⑩ 事務用品費			200,000	300,000	△ 100,000	厚紙、コピー用紙、他
	⑪ 雑費			250,000	307,500	△ 57,500	群緑ガード、ケービックス、新聞代、振込料他
	(3) 予備費			117,700	243,800	△ 126,100	
4. 地区積立預金支出		1,250,000		250,000	1,000,000		
(1) 規定審議会補助金積立預金			250,000	250,000	0	3年に1回の規定審議会の当年度分積立	
(2) 災害対策積立預金			1,000,000	0	1,000,000	災害対策積立預金繰入	
当期支出合計(C)		54,010,000		55,270,000	△ 1,260,000		
当期収支差額 (A)-(C)		0		0	0		
ソフトウェア(財団WEB申請システム)							
次期繰越収支差額		6,340,454		7,166,866	△ 826,412		
合 計		60,350,454		62,436,866	△ 2,086,412		

(※1)前期繰越収支差額については確定していないので、2018年6月30日の繰り越し金額を採用しています。

(※2)その他委員会活動費については別紙をご参照ください。



## その他委員会活動費の内訳書(案)

国際ロータリー 2840地区・自2019年7月1日 至2020年6月30日

(単位：円)

委 員 会	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	増減額 (A)-(B)
1 地区研修委員会	100,000	100,000	0
2 危機管理委員会	20,000	20,000	0
3 規定審議会立法案検討委員会	20,000	52,000	△ 32,000
4 地区運営連絡会議	30,000	0	30,000
5 地区戦略計画委員会	20,000	20,000	0
6 R L I 推進委員会	20,000	0	20,000
7 管理運営・IT・地区情報委員会	20,000	30,000	△ 10,000
8 20周年記念式典、記念誌委員会	50,000	0	50,000
9 ロータリーの友地区委員会	20,000	20,000	0
10 会員組織強化委員会	50,000	50,000	0
11 女性ネットワーク委員会	50,000	50,000	0
12 公共イメージ委員会	100,000	900,000	△ 800,000
13 国際大会推進委員会	100,000	0	100,000
14 青少年奉仕プロジェクト委員会	360,000	680,000	△ 320,000
①職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕委員会	30,000	60,000	△ 30,000
②青少年交換委員会	200,000	400,000	△ 200,000
③インターアクト委員会	50,000	100,000	△ 50,000
④ローターアクト委員会	50,000	50,000	0
⑤RYLA・学友委員会	30,000	70,000	△ 40,000
15 米山記念奨学委員会	30,000	150,000	△ 120,000
16 ロータリー財団委員会	600,000	900,000	△ 300,000
①資金推進委員会	50,000	100,000	△ 50,000
②地区補助金委員会・グローバル補助金委員会	450,000	650,000	△ 200,000
(a)地区補助金委員会	400,000	500,000	△ 100,000
(b)グローバル補助金委員会	50,000	150,000	△ 100,000
③資金管理・平和フェロシップ委員会	50,000	50,000	0
④ポリオプラス委員会	50,000	100,000	△ 50,000
17 ロータリー財団監査委員会	20,000	50,000	△ 30,000
18 年次報告書作成委員会	50,000	0	50,000
19 学友委員会	0	20,000	△ 20,000
合 計	1,660,000	3,022,000	△ 1,362,000



# 2019-2020年度固定資産会計収支予算書

自2019年7月1日 至2020年6月30日

## 1. 第2840地区創立積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	14,026,720	20周年記念式典	1,500,000
預金利息	1,400	20周年記念誌制作費	2,000,000
		次期繰越金	10,528,120
合 計	14,028,120	合 計	14,028,120

## 2. リスク管理積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	5,008,082		
預金利息	500	次期繰越金	5,088,582
合 計	5,008,582	合 計	5,088,582

## 3. 災害対策積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	4,397,032		
一般会計より繰入れ	1,000,000		
預金利息	439	次期繰越金	5,397,471
合 計	5,397,471	合 計	5,397,471

## 4. 特別事業積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	4,890,397		
研究グループ交換事業積立 預金会計より繰入れ	2,003,604		
預金利息	489	次期繰越金	6,894,490
合 計	6,894,490	合 計	6,894,490



## 5. 研究グループ交換事業積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	2,003,404	特別事業積立預金会計へ繰入れ	2,003,604
預金利息	200	次期繰越金	0
合 計	2,003,604	合 計	2,003,604

## 6. 規定審議会補助金事業積立預金会計

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金(※)	500,022		
一般会計より繰入れ	250,000		
預金利息	5	次期繰越金	750,027
合 計	750,027	合 計	750,027

(※)前期繰越金については確定していないので、2018年6月30日の繰り越し金額を採用しています。

## 貸借対照表

2018年6月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負債・正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	7,376,397	1. 流動負債	1,035,943
(1) 現 金	8,813	(1) 未払金	451,967
(2) 普通預金	5,329,188	(2) 前受金	400,000
(3) 未収金	2,038,396	(3) 預り金	183,976
2. 固定資産	30,825,657	2. 正味財産	37,166,111
(1) 基本財産	14,076,720		
①第2840地区創立積立預金	14,026,720		
(2) 特定資産	16,798,937		
①リスク管理積立預金	5,008,082		
②災害対策積立預金	4,397,032		
③特別事業積立預金	4,890,397		
④研究グループ交換事業積立預金	2,003,404		
⑤規定審議会補助金積立預金	500,022		
合 計	38,202,054	合 計	38,202,054



# ロータリーとポリオ根絶活動

## — End Polio —

### I 「ポリオ」という病気

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

「ポリオ撲滅に向けた世界的な進展は、人びとの知らないところで黙々と成し遂げられてきました」

### II 「ポリオ」に関する事実

1. ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
2. 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
3. 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか3ヶ国
4. 1988年以来、発症数は99.9%減少
5. ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに



### III 「ポリオ」の現状

1988年以来、ポリオ症状数は全世界で99.9%減りました。今年、野生型ポリオウイルスが確認されたのは、わずか3ヶ国となっています。

#### [報告された症例]

	(アフガニスタン)	(パキスタン)	(ナイジェリア)
2016年	13	20	4
2017年	14	8	0
2018年	21	12	0



#### IV 「ポリオ」撲滅活動のパートナー組織

##### GPEI 世界ポリオ撲滅推進活動 (Global Polio Eradication Initiative)

GPEIは、国際ロータリーをはじめとするパートナー団体と各国政府による、全世界でポリオを撲滅することを使命とする官民共同のパートナーシップです。

1988年に世界保健総会がポリオ撲滅を決議しGPEIが立ち上げられて以来30年間、懸命な活動により発症数は99.9%減少しました。

撲滅実現に向けたラストスパートを迎えた今、このパートナーシップの重要性はさらに高まっています。

- (1) 世界保健機関(WHO): 戦略担当
- (2) 米国疾病対策センター(CDC): ウイルス対策
- (3) ユニセフ(UNICEF): 予防接種
- (4) ロータリー: アドボカシー活動

ロータリー会員の持つビジネス・専門知識、ボランティアのネットワークを生かして、ポリオ撲滅のための認識向上、募金活動、各国政府への働きかけを行っています。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を支援しました。

##### そのほかの活動パートナー

GPEIの中核を担う上記の4団体(世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフ、ロータリー)のほかにも、多くの団体・政府がポリオ撲滅活動を支えています。

- (5) ビル&メリンダ・ゲイツ財団: リソース担当

GPEIの強力なパートナーとして、民間団体としては最高額の19億ドルを提供しました。ロータリーともパートナーシップを組み、ロータリーが集めたポリオ撲滅への寄付に2倍の額を上乗せする支援も行っています(2018年まで毎年最大3500万ドルが上乗せ対象)。

- (6) 各国政府
- (7) 各地の保健従事者
- (8) GAVI アライアンス





## V 歴 史

1894年

米国史の記録に残る初のポリオ大流行(バーモント州)。18人が死亡、132人のまひ症状が報告される。

1916年

ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2,000以上が死亡。米国全土でも約6,000人が命を落とし、さらに数千人がまひ障害に。

1960年

アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される。

1979年

フィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。

1985年

国際ロータリーが、民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始。当初の募金目標は1億2000万ドル。

1988年

国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は、125カ国で推定35万件以上。

1994年

International Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication (ポリオ撲滅認定のための世界委員会)が、南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表。

1995年

中国とインドで、保健従事者とボランティアによりわずか1週間で1億6500万人の子どもにワクチンが投与される。ポリオのない国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリーが「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる。

2000年

5億5000万人(世界人口の10分の1近く)という記録的な数の子どもに経口ポリオワクチンが投与される。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。

2003年

12か月間のキャンペーンでロータリー財団が1億1900万ドルの募金に成功。ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超える。常在国の数は6カ国となる(アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン)。



2006年

ポリオ常在国数が4カ国に(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)。

2009年

ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルに。1月、ビル&メリнда・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表。その結果、世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付される。

2011年

ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、各界の著名人がこれに参加。参加した著名人には、ビル・ゲイツ、ジャッキー・チェン(俳優)、デズモンド・ツツ(ノーベル平和賞受賞者)、イツァーク・パールマン(バイオリニスト)、アンジェリーク・キジョー(グラミー賞受賞歌手)、ジェーン・グドール(動物行動学者)などが含まれる。ポリオ撲滅へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。

2014年

インドで3年間、野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったため、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域のポリオ撲滅を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少。

その結果常在国数が3カ国に(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)



(リソース)

※ポリオとは? End Polio

※ポリオ撲滅活動のパートナー組織

※世界ポリオ撲滅推進活動

(上記でアクセス可能です)







第 2840 地区 2019-2020 年度

## 委員会活動指針

ガバナー 森田 高史

### 1. 地区研修委員会

地区の研修委員会は、地区研修リーダーを中心に、地区の研修プログラムの全てを統括します。ガバナーエレクト年度において、いわゆる三大研修(地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会)の企画を行うとともに、各種研修を監督し、RLI推進委員会をサポートし、研修面で、ガバナーとガバナーエレクトを支援します。

また、同時にクラブ研修リーダーセミナーを企画するなど、クラブ研修リーダーを支援します。

地区研修委員会の構成は、地区研修リーダーを委員長とし、直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの他、地区役員等の歴任者や、クラブの過去会長をはじめロータリーの知識や経験豊富な方々で構成しています。

### 2. 地区戦略計画委員会

地区およびクラブにおける戦略計画の立案と推進を支援する委員会です。森田年度は、現在の地区戦略計画(2017-2020)の終了年度に当たりますので、更なる年度に向けた地区戦略計画の策定が必要となります。

また、戦略計画を持たないクラブが未だ数多く存在していますので、クラブに対しての立案や策定をサポートして頂きます。

また、ロータリーが単年度制であるため、年度年度の地区運営や実施された事業が必ずしも十分な検証が行われている状況にはありません。

地区における各事業について建設的な検証を実行し、今後の地区運営に生かせるよう、地区事業のPDCAサイクルを牽引して頂きます。

また、毎年行われるアンケート調査や結果分析について、時系列的に管理し、アンケートを受ける側の負担も考慮し、重複を避ける等、ガバナーやガバナーエレクトが効果的に運用できるよう統括して頂きます。

委員会は過去ガバナーをはじめ、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、他で構成しています。

### 3. 地区運営連絡会議

現状の当地区の地区運営上の課題で、最も強く感じていることは、「連続性の確保」が必ずしも十分ではないのではないかということでもあります。



素より、ロータリーの地区・クラブ運営は単年度制であり、その長所を生かしつつ実践した事業等の評価を経て、連続性ととの整合を図るべきものと思いますが、地区運営におきましては、変えない方がよい事柄もある一方で、変えた方がよい事柄もあるのではないかと感じております。

会合は年に2回程度で十分ではないかと思いますが、上記の趣旨ですので、委員会は直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、並びにそれぞれの幹事さんで構成させていただきます。

#### 4. RLI推進委員会

RLI (Rotary Leadership Institute) は、講師の授業を聞く講義形式ではなく、少人数でテーマに沿って各人が自由に発言し、互いに気づき合う方法で行われるセミナーです。Discussion Leader (DL) が進行しますが、答えを教える人ではなく、

あくまでも進行役(ファシリテーター)です。ロータリーについて、自分の見解を自由に述べ、他の人の発言から多くを学ぶことができます。自発的、能動的な学習形式です。当地区では秋口に Part I ~ Part III (3回) が開催され、次年度の会長・幹事の必須研修となっております。

#### 5. 危機管理委員会

国際ロータリーが提唱する青少年奉仕のプログラムに参加する青少年および米山記念奨学生の安全と健康及び健全な生活を守り、交通事故・自然災害から保護し、身体的・性的・精神的虐待あるいはハラスメントを防止すると共に、起こりうる危機に適切に処理できるよう設置しています。委員会はパストガバナーにお願いし、ガバナー、ガバナーエレクト、青少年奉仕関係の委員長に委員になって頂きます。

#### 6. 審議会立法案検討委員会

規定審議会に提案すべき立法案については、地区内ロータリークラブの提案を検討して取りまとめます。委員会はパストガバナーとガバナー補佐で構成し当地区は、日本の34地区の中でも有数の提案地区となっております。

#### 7. 管理運営・IT・地区情報委員会

この委員会は、CLPの推進、クラブ活性化支援と、地区とクラブのIT環境整備の役割を担います。特に会員のマイロータリーへの登録やロータリークラブセントラルへの入力、財団寄付目標の入力などのサポートをして頂きます。また、「卓話・クラブ研修出前サービス」の窓口となっております。ガバナーノミニーに委員長をお願いし、ITに詳しい人に委員になって頂きます。



## 8. 20周年記念式典・記念誌委員会

当2840地区は、2000年に第2560地区(新潟・群馬)が分割して、日本において最も新しい地区として誕生しました。2020年に記念すべき20周年を迎えます。

また、その年は日本のロータリー生誕100周年の年でもあります。この記念すべき20周年を地区内ロータリアン及び関係者で祝い、今後30年、50年、100年と当2840地区及び各クラブが発展していけるようイベントや記念誌発行等を企画・検討する委員会です。記念式典はロータリー創立記念日の2020年2月23日(日)を予定しています。

## 9. ロータリーの友地区委員会

『ロータリーの友』編集委員会には、日本全国34地区からガバナーの代理として選任を受けたロータリーの友地区代表委員が参加し、編集委員会のメンバーとして地区と『ロータリーの友』を結ぶ役割を担っています。具体的活動としては、毎月発行される『ロータリーの友』を読み、感想や意見を編集部に送り、編集部ではそれを全会員に送り情報を共有して編集に生かします。地区や地区内のクラブの情報収集にも努め、会員から『ロータリーの友』への投稿をお願いします。『ロータリーの友』で一番大切なのは、ロータリアンの皆様から直接投稿をいただく原稿や写真です。他のクラブの活動の参考になる素晴らしい活動や、地域性に富んだ特色ある活動、読者の皆様にお伝えしたい情報など、各クラブへの投稿を勧奨して頂きます。

## 10. ガバナー事務所管理運営委員会

ガバナー事務所が固定化されて5年が経過しました。ロータリーが単年度制であることから、毎年変わるガバナースタッフや委員長とのコミュニケーションが重要であるとともに、事務局員の精神的な案寧も企らなければなりません。一時的に増大した残業も殆どなくなり、現在は安定的に推移しているものと思いますが、将来を見据えた業務のあり方も常に検討していく必要があります、また各種ハラスメントも発生しないよう管理して頂きます。

## 11. 年次報告書作成委員会

年次報告書作成委員会では、地区における1年間の活動を年次報告書という形で冊子にまとめて頂きます。

当地区では、今日まで年次報告書につきましては、主にガバナースタッフとガバナー事務局で編纂しており、委員会の設定が行なわれておりませんでした。本年度は委員会を組織して、輩出された委員を中心に、フォーマットを統一したり、報告書に掲載すべき情報を吟味するなど、一層充実した年次報告書を配信したいと考えております。



今後、年次報告書作成委員会が継続されますと、委員を経験した会員が多数輩出されることとなり、RIや地区の情報が一層クラブに浸透していくものと考えております。

## 12. 会員組織強化委員会

クラブの未来を確保するには、新会員を迎え入れ、現会員の活発な参加を促す必要があります。

当委員会は8分区のガバナー補佐で構成し、地区の増強目標を達成するため、各クラブの増強目標の企画・立案を支援するとともに、地区組織のいわゆる縦軸のライン(ガバナー→ガバナー補佐→クラブ)で、その実績が上がるようサポートします。

特に、日本の1クラブの平均が38.8人(2018.7.1 現在)でありますので、平均を下廻っているクラブには、重点的に注力して頂きたいと考えております。

また、過年度実施したアンケート等を分析した上で、効果的な「地区会員増強セミナー」を開催し、新会員に対しても、クラブや分区では開催が困難と思われる、オリエンテーションにあたる「新会員セミナー」も前後期各1回程度開催したいと考えております。

## 13. 女性ネットワーク委員会

女性ネットワーク委員会は、当地区では5年前に設定された委員会で、その目的は女性会員の拡大増強と、現会員の退会防止にあります。

現在、当地区の女性会員は158名(2018.10.1現在)で、地区全会員の7%程度であり、日本の平均に近い数値であります。世界の平均(25%)には遠く及びません。

ここ数年、各分区において、分区女子会を開催してまいりましたが、本年度は早い時期に地区の女性会員を対象として「地区女子会」を開催したいと考えております。

また、分区内の女性会員とガバナー補佐が定期的に「女性ネットワーク拡大会議」を開催し、女性会員の候補者名簿を作成し、アプローチする体制を構築したいと思います。

また、特に女性会員ゼロクラブの役員との協議を、各ガバナー補佐を中心に行ってゆきたいと考えております。

## 14. 公共イメージ委員会

「公共イメージと認知度の向上」は、RIの戦略計画の3つの優先項目の1つです。

ロータリーのプロジェクトが地域社会にもたらす影響を高めるには、効果的な広報が重要となります。

公共イメージ委員会は、ロータリーを人々に紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促す広報の企画にあたりますが、具体的には、地区大会をはじめ各種会合や地区の奉仕活動をマスコミに掲載することを計画し実施してゆきます。

また、広報に止まらず、ロータリーの本質的なブランディングを確立、アピールする



委員会としても活動して頂きます。具体的には、職業奉仕からスタートしているロータリー組織を、より効果的に地域社会に理解してもらえるような企画や広報を実施してゆきたいと考えております。マーケティングに強い方やマスコミ関係に人脈のある会員は委員会に適任だと思います。

#### 15. 国際大会推進委員会(オンツアー・ハワイ)

毎年開かれる国際大会では、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験を分かちあいます。当地区では、従来、公共イメージ委員会が所掌しておりましたが、森田年度は、当委員会を設定して、準備を進めてゆきたいと考えております。

森田年度の国際大会は、2020年6月6日(土)～6月10日(水)ハワイで開催されます。

宮内年度の国際大会は、2019年6月1日(土)～6月5日(水)ドイツ、ハンブルクで開催されますので、宮内年度の公共イメージ委員会の活動をスタディーケースとしてその結果も踏まえて、早い段階から森田年度の事前PRや準備を進めさせて頂きたいと考えております。

個人やクラブ主催によるツアーもあるかとは存じますが、そうした企画が困難な会員のための受け皿として、地区主催ツアーを企画してまいりたいと思います。

#### 16. 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕委員会は、従来、各委員会が設定され活動しておりましたが、近年、主催が必要となるような具体的活動に乏しいので、森田年度は、3委員会を統合し、ロータリー月間に因んだ月信投稿や各種情報発信を行うことでクラブを支援してゆきたいと思います。

素より、上記3奉仕はロータリーの掲げる五大奉仕の1つで、特に、職業奉仕は、今日、社会から有用な人材を一層受け入れる観点から各種規定が緩和されてはおりますが、私としては、最も重要な奉仕であると考えております。

また、国際奉仕につきましては、地区やクラブが主体となって推進されていることとは思いますが、特に地区のDDF(地区財団活動資金)を余すことなく利用できるよう、グローバル補助金委員会とも協力し、グローバル補助金活用事業を一層推進してゆきたいと考えております。

地域社会奉仕につきましても、各クラブにおいて毎年実施されているところではありますが、特に当地区では、地区内45クラブの全クラブが地区補助金の活用事業を実施(100%)するという、日本国内34地区の中でも、傑出した実践地区であります。

また、予てから米山奨学制度が外国人に限定されていることから、今日の地域社会における教育環境の変化に伴い、日本人も対象とできる奨学制度の必要の声が少なくありませんでした。



本年度はそれに応え、地域社会における教育環境の実態を調査するとともに、2840地区で既に奨学金制度を実施しているクラブの現況も合わせて調査し、地区独自の奨学金制度の創設を目指したいと思います。

## 青少年奉仕プログラム

### 17. 青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて、若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

青少年交換は、15～19歳の学生が海外に滞在し、留学する機会を提供するもので、2ヶ国のロータリーの地区・クラブで行われる交換(派遣・受入)プログラムです。

長期交換(約1年)と短期交換(約1ヶ月)があり、学生はお互いの国のホストファミリー宅に滞在しながら現地の学校に通います。

当地区では、毎年、長期交換4～5名、短期交換2～3名の実績があります。

また近年は、身体的、性的、精神的な虐待から青少年を守ることも重要な役割となっております。

委員会活動としては、地区内で最もハードな委員会と受けとめられていることもあり、青少年交換プログラムの今日的意義について十分に協議を行うとともに、過度とも言われている委員会活動の効果的な軽減を企ててゆきたいと考えております。

### 18. インターアクト委員会

インターアクトは、12～18歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区では、県内16の高等学校にそれぞれインターアクトクラブ(従って16の提唱ロータリークラブ)が存在し、日々の活動を実践するとともに、例年7月にインターアクト年次大会を開催しています。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っています。

日頃の活動は学校のクラブ活動の1つのような位置づけで指導教師も存在することから安定的な活動が行われておりますが、一方で、インターアクト提唱クラブ以外の関心が必要しも高くないため、年次大会の企画・開催や国際交流事業につきましても、ホストクラブや関係者にお任せしている部分が少なくないようにも感じられます。大きな予算をかけている事業でもありますので、可能な限り一層地区が主体となるような工夫をしてまいりたいと考えております。



## 19. ローターアクト委員会

ローターアクトは、18～30歳までの若者が集まり、地域社会でボランティア活動を行ったり、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区ではローターアクトクラブが10クラブ(従って提唱ロータリークラブが10クラブ)ありますが、現在、4クラブが活動を休止しています。

ローターアクトクラブは、毎月数回例会を行うなど、単体のクラブとしての活動とともに、他地区のローターアクトクラブとの交流もあり、当地区では、例年2月に地区年次大会を開催しています。

歴史的には十分に機能を果たしてきたローターアクトクラブですが、今日の日本におけるローターアクトクラブの在り方について検討する必要があると感じています。休止しているローターアクトクラブの役員とも協議し、「ローターアクト提唱クラブ協議会」を設定するなど検討する場を設けたいと思います。

## 20. RYLA・学友委員会(ロータリー青少年指導者育成)

RYLA(ロータリー青少年指導者育成)は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう、若者の意欲を高めるためのプログラムです。

当地区では毎年1泊2日で、RYLA(ライラ)研修セミナーを開催しており、本年度は19回目となります。RYLA研修セミナーは、年1回、青少年を対象として、実施され、ロータリアンの参加は関係者のみとなっているため、地区全体のロータリアンの認知を必ずしも十分受けていないものと思われます。

また、運営につきましてもホストクラブにお任せしている部分が多いため、今年度は可能な限り、企画段階から協議を重ね、地区全体に周知できるよう、効果的な運営を目指したいと考えております。

また学友委員会は従来単体の委員会が設定されておりましたが、学友名簿の作成が歴代委員長のご努力で充実してきたことを踏まえ、本年度は、青少年ネットワークを希求するRYLA委員会と合体し、RYLA・学友委員会とさせていただきます。

引き続き、クラブと協力して、毎年輩出される学友の名簿作成を行うとともに、地区大会等における学友の発表等を担当して頂きます。



## 多地区合同プログラム

### 21. 米山記念奨学委員会

日本で学ぶ私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、日本国内34地区の多地区合同プログラムです。

二度と戦争を起こさないという国際親善の視点から始まった米山記念奨学制度も、今日では、毎年800名を超す米山記念奨学生を支援するまでに成長し、当地区では、寄付実績も前年度、全34地区中8番目の実績(1人当たり21,771円)があり、寄付実績に応じて割り振られる奨学生も、本年度25名前後となっております。

米山記念奨学財団も50年の歴史を刻み、現在では100億円を超える資金を擁するまでに成長いたしました。

しかし、その一方で、今日の日本における政治・経済・教育環境も大きく変遷する中で、米山記念奨学制度に対する疑問の声もないわけではありません。

本年度は、地区における米山記念奨学制度の運用と今後の在り方について、憶することなく協議を重ね、地区内ロータリアンの理解を得られるよう努力したゆきたいと考えております。

活動としては、指定校の選考に始まり、新規の奨学生の選考、世話クラブのカウンセラーに対するセミナーの他、米山学友会の総会等も開催されています。

## [ロータリー財団関係委員会]

## ポリオプラスプログラム

### 22. ポリオプラス委員会(急性灰白髄炎)

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで、根絶の認定が達成されるまでは、ほかの全てのプログラムに対して優先されることとされておりますが、日本においては、ポリオの発症は止まって久しく(38年経過)、特に新会員等には馴染みも薄いことから、十分な理解が浸透している状況にはないものと感じております。

本年度は、可能な限り日本語(急性灰白髄炎)を使用するとともに、ロータリアンの寄付の結果である収支決算の開示を広く地区内クラブへ、月信等を通じて行いたいと考えております。

そうした会員の十分な理解を前提に、本年度も世界ポリオ撲滅のための寄付の推進(目標1人30ドル以上)を行っていきたくと考えています。





### 23. 資金推進委員会

資金推進委員会は、RIとともに、世界のロータリー活動を資金面で支えている「国際ロータリーのロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会です。

当地区では毎年、年次基金寄付150ドル以上、ポリオプラス寄付30ドル以上を目標に、寄付の推進を行っており、実績は2017-2018年度、年次基金寄付1人当たり172.33ドル、ポリオプラス寄付1人当たり31ドルで、目標を連続して達成しております。

本年度も上記と同様の寄付目標達成のため、具体的には、ガバナー補佐と協力して、各クラブへのアプローチを行い、いわゆる縦軸の活動をして頂きます。

当地区は、「寄付ゼロクラブゼロ」を生方年度より3年継続しており、宮内年度も達成できれば4年連続ということにもなりますので、本年度も引き続き寄付目標達成に向けて邁進したいと考えております。

### 24. 資金管理・平和フェロシップ委員会

ロータリー財団における補助金(地区補助金・グローバル補助金)は、地区やクラブの奉仕活動の大きな財源となっております。

当委員会は、ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理するための委員会です。

当地区は、地区補助金については、日本では断トツ(全クラブが使用)、恐らく世界でも類を見ない実績を上げておりますが、一方、DDF(地区財団活動資金)の残高が増加しつつありますので、グローバル補助金委員会と協力して、有効活用を推進してゆきたいと考えております。

また、本年度RI本部より「平和フェロシップ委員会」の設置要請がありますので当委員会に合体して「資金管理・平和フェロシップ委員会」とさせて頂きました。

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェロシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。

毎年、世界中から選ばれる最高100人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学んでいます。

当地区には全く馴染の薄いプログラムですが、地区内の広報を企ってゆきたいと考えております。



## 補助金プログラム

### 25. 地区補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、地区補助金を担当する委員会です。

当地区は、6年前の新制度への移行以来、日本34地区の中でも唯一地区内全45クラブ(100%)が申請を行うなど、先進の地区ということが出来ます。

また、本年度は、DDFの使用促進の観点から、地区補助金を特別に20,000ドル余り余分に使用できる年度ともなっております。

今後とも、地区内の全クラブが地区補助金の活用を行うよう地区補助金申請を奨励するとともに、今後は各クラブの奉仕事業の質の面で、一層地域社会のニーズにマッチしていくよう支援してゆきたいと考えております。

### 26. グローバル補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、グローバル補助金を担当する委員会です。

当地区では、毎年数件のグローバル補助金を活用した申請が行われておりますが、毎年グローバル補助金予算が、1,000万円近くあるところ、数百万円の申請に留まっており、残額は最終的には地区内では利用できず、ポリオプラスやロータリー平和センターへの寄贈となってしまいます。

本年度、森田年度では、6つの重点分野に適合したグローバル補助金の申請モデルを開示するなどして、地区並びにクラブが、活発にグローバル補助金の申請を行えるよう活動してゆきたいと考えております。

また、グローバル補助金の活用につきましては、英語の壁や申請時の煩雑さから敬遠されがちでありますので、地区内でのエキスパートを探索するとともに、可能であれば、クラブでの申請をサポートする申請アクセスの専担者の選任を目指したいと考えております。

当地区では常時2,000万円以上のDDF(地区財団活動資金)が残高として残っており、本年度、有効活用する流れを作ることを大きな目標としています。



国際ロータリー第2840地区 2019-2020年度

## 委員会事業計画

地区戦略計画委員会	田中 久夫
地区研修委員会・RLI推進委員会	竹内 正幸
管理運営・IT・地区情報委員会	山田 邦子
審議会立法案検討委員会	曾我 隆一
危機管理委員会	森田 均
地区運営連絡会議	森田 高史
20周年記念式典・記念誌委員会	竹内 正幸
ロータリーの友地区委員会	広瀬 雅美
ロータリー財団委員会	板垣 忍
ポリオプラス委員会	橋谷 晋治
資金推進委員会	金井 修
資金管理・平和フェロシップ委員会	川口 修平
補助金委員会	山田 利和
地区補助金委員会	石川 好男
グローバル補助金委員会	津久井 功
会員組織強化委員会	宮内 敦夫
女性ネットワーク委員会	中澤 洋子
公共イメージ委員会	関口 啓子
国際大会推進委員会(オンツー・ハワイ)	槻岡 行支
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会	佐藤 信一
青少年交換委員会	吉井 宏文
インターアクト委員会	竹部 弘昭
ローターアクト委員会	堤 謙治
RYLA・学友委員会	古市 和男
米山記念奨学委員会	板橋 一博
年次報告書作成委員会	伊久間正考



## 地区戦略計画委員会

委員長 田中 久夫(高 崎) 委員 新井 良和(伊 勢 崎)  
副委員長 宮内 敦夫(館 林) 委員 岡部 幹雄(前 橋)  
委員 森田 高史(伊 勢 崎) 担当副幹事 須藤 正也(伊 勢 崎)  
委員 山田 邦子(前 橋)

国際ロータリー(RI)は、2002-2003年度においてロータリーの将来の方向を定めるために未来を見つめた長期委員会を発足させ、2011-2012年度からはそれを「戦略計画」と改称し、よりアクティブな活動をすることにその方向性を定めてきた。

今年度は、2020年に訪れる日本のロータリーの生誕100周年にあたり、加えて当地区が2000年にRI第2560地区(新潟・群馬)の地区分割を経てRI第2840地区となって20周年を迎えるときである。

そして、現在は2017-2018年度の田中ガバナー年度から始まった地区3カ年戦略計画(「魅力あるクラブを作ろう」)が進行中である。

今年度、森田年度はその3カ年計画の仕上げの年度であり、以下の地区戦略計画の完成が期待されるときである。そこで今年度は、以下1に掲げる項目の進捗度(達成度)を検証し、2に掲げる次期以降3カ年の地区戦略計画を立案したい。

### 1 2017-2020年度地区3カ年戦略計画の検証

スローガン：2020年、そしてその先の未来へ「魅力あるクラブを作ろう」

- (1) 明るい未来のために素晴らしいビジョンを作ろう
- (2) 仲間を増やそう
- (3) ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう
- (4) ロータリーを知ろう
- (5) ロータリーを知らせよう
- (6) 奉仕活動の意義を再確認し、充実させよう
- (7) 私たちの寄付金を活用し、社会のために善いことをしよう
- (8) 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

### 2 2020-2023年度の新・地区3カ年戦略計画の策定



## 地区研修委員会

委員長	竹内 正幸(太 田)	委員	山田 邦子(前 橋)
副委員長	松島 宏明(桐 生)	委員	堀口 正孝(安 中)
委員	生方 彰(沼田中央)	委員	静 朋人(碓氷安中)
委員	田中 久夫(高 崎)	担当副幹事	久保木雅彦(伊 勢 崎)
委員	宮内 敦夫(館 林)		

### 1. 委員会活動の現状認識

地区研修委員会は、ガバナー及びガバナーエレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修を企画・実施しています。

### 2. 委員会事業計画

①ガバナーエレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応する。

- a) PETS      b) 地区研修・協議会
- c) 地区チーム研修セミナー(ガバナー補佐の研修含む)

②ガバナーと協力し、以下の研修ニーズに対応する。

- a) 地区指導者育成セミナー      b) ローターアクト指導者育成研修
- c) クラブレベルの指導者育成研修      d) 地区におけるその他の研修会

③地区ロータリー財団セミナーと地区会員増強セミナーへの二次的な責任を持つ。これらの会合は主に、他の地区委員会が責務を担当するが、研修委員会は研修に関連した事柄について助言できる。

④クラブ活性化につながる「クラブレベルの指導力開発」も地区研修委員会の重要な使命と考えています。各クラブに配置された「クラブ研修リーダー」を支援し、クラブ研修のテキストの提供や研修講師の派遣も行います。

## RLI推進委員会

委員長	竹内 正幸(太 田)	委員	中村 研司(館 林)
副委員長	田部井丑松(太 田)	委員	町田 久(渋 川)
委員	星野 正義(新 田)	担当副幹事	久保木雅彦(伊 勢 崎)

### 委員会事業計画

RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)セミナーの事務局として、セミナーの企画・運営、ディスカッションリーダーの養成、2840地区版カリキュラムの作成を行います。

【RLIセミナー日程】	Part I	2019年9月22日(日)	前橋問屋センター会館
	Part II	2019年10月20日(日)	前橋問屋センター会館
	Part III	2019年11月24日(日)	前橋問屋センター会館

【対象者】各クラブ 会長エレクト・幹事エレクト



## 管理運営・IT・地区情報委員会

委員長 山田 邦子(前 橋) 委員 林 義行(高 崎)  
副委員長 田中 久夫(高 崎) 担当副幹事 関 徹也(伊 勢 崎)

### 管理運営委員会

#### 1. 委員会活動の現状認識

管理運営委員会は、疋田年度(2012-2013)より開設され、地区と地区内各ロータリークラブの連携を強化し、効果的なクラブ管理運営に資する支援を行う事を目的とします。

#### 2. 委員会事業計画

##### 1 CLP(Club Leadership Plan)の導入・定着の推進

CLPは効果的なクラブ管理の枠組みを提供する事により、クラブの強化を図る事を目的とします。DLP(地区リーダーシッププラン)の考えに基づいたCLPがRI理事会で承認され、新しいクラブ委員会が作られクラブ内での指導者育成に繋がるべく推奨します。

##### 2 卓話・クラブ研修出前サービスの推進

クラブからの要請(申請)に応じて、卓話や研修の講師を派遣します。特別月刊の例会卓話や研修テーマに合わせて該当の地区委員長等を派遣しロータリー情報を提供します。

##### 3 RLI(Rotary Leadership Institute)の支援

RLIは、国際ロータリーの推奨プログラムです。RLIは、ロータリーの知識と指導力を養う事に関心のあるロータリアンと、ロータリークラブがクラブの指導力を発揮できる可能性があるかと判断したロータリアンに、正しく質の高い知識を学ぶ教育の場を提供します。

当地区では、RLIのプログラムは、Part I～III、卒後コースの4回構成で実施され、全クラブの会長エレクト、幹事エレクトが対象です。

### IT委員会

#### 1. 委員会活動の現状認識

当地区では、ロータリー情報をクラブ及び会員一人一人と共有するため、多くの手段を使用し情報提供を行っていますが、必ずしも充分とは言えません。日進月歩で進化する情報伝達手段を取り入れ、特に若い世代では常用されているSNS等を使用して、幅広い年代のコミュニケーション構築を図りたい。

#### 2. 委員会計画

##### 1 マイロータリーへの登録推進

新会員入会時にマイロータリー登録をシステム化するとともに、既会員についても登録を推奨して行きます。

##### 2 リニューアルされたロータリークラブ・セントラルを利用して、ロータリー財団活動、ロータリー賞(旧ロータリー会長賞)・各種表彰等にチャレンジする事を支援します。

##### 3 システムの改善

田中年度(2017～2018)に導入された地区委員会等出欠システムにより、ガバナー事務所や、クラブ事務局の負担軽減が図られました。更なる改良を図ります。

##### 4 地区補助金申請・報告システムの保守を行います。(予算388,800円)



## 審議会立法案検討委員会

委員長 曾我 隆一(前 橋) 委員 各ガバナー補佐  
副委員長 本田 博己(前 橋) 担当副幹事 須藤 正也(伊 勢 崎)

### 1. 委員会の現状と基本的対応

ロータリークラブは夫々、自主・自律性を持つことが大切である一方、世界のロータリークラブ(約3万6千)の集合組織である国際ロータリー(Rotary International)にて、定められた組織運営規定(国際ロータリー定款・国際ロータリー細則・標準ロータリークラブ定款)の遵守が求められている。

これらの組織規定は規定審議会(現在のところ3年に一度開催)にて、世界約540地区から選出された代表議員らの審議を経て、採択されたものは次のロータリー年度から改訂される。換言すれば、一つのロータリークラブからの意思を戴した立法案が国際ロータリーの組織規定をも改訂できるということの認識が残念ながら広く地区内のクラブリーダーに浸透していないのが実情と言えよう。

これは、単に当地区だけの課題に留まらず、日本のロータリーにとっても同様である。

当委員会としては各ガバナー補佐の理解と協力も頂き、各種セミナーを通じ更に、ガバナーの公式訪問時でも、活発な立法案提出意欲喚起をしていきたいのが、今年度の委員会運営のベースとなる。

### 2. 委員会事業計画

2019年4月14日～18日シカゴ・ハイアットリージェンシーホテルにて開催される規定審議会(曾我代表議員出席)の審議結果の速やかなる情報還元を図り、特に2019年7月からの新年度から変更を義務付けられる事項(手続き要覧中)について、各クラブリーダーへ徹底するよう努めたい。

2019年は今年で3回目となる決議審議会(決議案とはRI理事会・財団管理委員会に対して意見開陳、検討を要請するもの)のRIへの提出締め切りが2019年6月30日であるので、既に、一月宮内年度に各クラブに対して、決議案の提出要請をしたところであり、決議審議会は2019年10月15日～11月15日に代表議員のオンライン審議会が実施。

2019年11月17～19日の第48回ロータリー研究会(神戸ポートピアホテルにて)にて、全国規模にて今回の組織規定の改訂について、意見交換を行い、ロータリーの生き残りについて情報を共有したい。

### 3. 事業予算

代表議員のシカゴへの旅費支援は従来の通り、年あたり25万円を地区予算で計上する。

委員会予算としては、委員会開催はガバナー補佐が義務出席する地区会合を活用したい。

ロータリー研究会はセミナー会合の要請度に応じて、登録料の補助が必要となる。



## 危機管理委員会

委員長	森田 均(渋 川)	委員	堤 謙治(高 崎 北)
副委員長	森田 高史(伊 勢 崎)	委員	古市 和男(藤 岡 南)
委員	山田 邦子(前 橋)	委員	板橋 一博(太 田)
委員	竹部 弘昭(太 田)	担当副幹事	岸 慈音(伊 勢 崎)
委員	吉井 宏文(高 崎)		

### 1. 委員会活動の現状認識

もともと当委員会は、国際ロータリーの重要な国際プログラムの1つ「青少年交換プログラム」等において、当事者である青少年が、事件、事故あるいはハラスメントの被害を蒙り、トラブルが生起することを回避するため、組織されたものである。

然しながらそれでは、幸い何事もない場合には休眠状態のままになる虞もあるため、当委員会の権限及び機能に関し、拡大解釈してアップデート化することが迫られている。

### 2. 委員会事業計画

- ①ガバナー及び地区青少年関係委員会に対し、必要な提言を行うこと
- ②青少年に対するセクシャルハラスメント及びアビュースの防止に関する研修を行うこと
- ③事故発生時の事実関係の調査
- ④③を踏まえ、ガバナー及び地区青少年関係委員会に対し、対策案を作成し、必要な提言を行うこと
- ⑤地区レベルあるいは地区内ロータリークラブレベルでの危機管理研修の実施

### 3. 目標

地区、地区内各ロータリークラブあるいはロータリアンに対し、青少年交換プログラム及び同種のプログラムにおける事件、事故あるいはハラスメントの被害等を回避するための危機管理意識の啓発を積極的に行いたい。

### 4. タイムスケジュール

現時点では、未定。

### 5. 実績データ

- ①2007年、地区大会終了後の懇親会場における留学生に対するセクシャルハラスメント事案に関し対応。
- ②2011年、東日本大震災後の交換留学生の早期帰国の問題に関し対応。
- ③2016年、危機管理の概念を拡大し、地区レベルでの危機管理セミナーを実施。
- ④2018年、地区指導者育成セミナーにおいて「ロータリアンのための危機管理」をテーマとした講演の実施
- ⑤その他、各ロータリークラブにおける「危機管理」に関する卓話多数。





## 地区運営連絡会議

議	長	森田 高史(伊勢崎)	委	員	小暮 雅丈(館林)
副	長	山田 邦子(前橋)	委	員	ガバナーノミニー
委	員	宮内 敦夫(館林)	委	員	同 幹事
委	員	新井 良和(伊勢崎)	担当副幹事	関 徹也(伊勢崎)	
委	員	岡部 幹雄(前橋)			

### 1. 委員会活動の現状認識

地区運営や地区事業について、連年のガバナーの間で一定の協議を行うことで、ロータリーの単年度制を補完します。

変えた方がよい事柄もある一方で、変えない方がよい事柄もありますので、根拠や経緯を十分協議する中で、可能な限り地区運営の連続性を確保したいと考えております。

当会議は、森田年度まで設定されておりましたが、田中年度より非公式ではありましたが、数回開催させて頂いております。

### 2. 委員会事業計画

実施された事業の結果を検証し、今後に向けて、より効果的な地区運営ができるよう協議を行っていききたいと思います。

### 3. 目標

より効果的な地区運営や地区事業が実施されることです。ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナーノミニーデジグネートの来るべき自らの年度の地区運営に資するものとなることを目標とします。

### 4. タイムスケジュール

2019年6月～8月頃 ガバナーノミニーが決定される頃開催したいと思います。

2019年11月頃 ガバナーエレクト主催の各種会合が開催される前に開催したいと思います。

2020年5月～6月頃 次年度のガバナーノミニーが決定される頃開催したいと思います。

## 20周年記念式典・記念誌委員会

委	員	長	竹内 正幸(太田)	委	員	川嶋 正靖(高崎)
副	委	員	長 市村 信也(藤岡南)	委	員	山本 樹(館林)
委	員	伊藤 好則(富岡)	担当副幹事	久保木雅彦(伊勢崎)		

### 1. 委員会活動の現状認識

私たちの2840地区は、2000年に第2560地区(新潟・群馬)が分割して、日本において最も新しい地区として誕生しました。その地区も来る2020年、記念すべき20周年を迎えます。

また、その時は日本のロータリー生誕100周年でもあります。この記念すべき20周年を地区内ロータリーアン及び関係者の皆さんで祝い、今後30年、50年、100年と当2840地区及びクラブが発展して行けるよう式典や記念誌発行等の企画・検討・準備をしています。

### 2. 委員会事業計画

①2840地区20年史の記念誌の原稿手配・校正・発刊

②2840地区20周年記念式典の企画・準備

第2840地区創立20周年記念式典

開催日：2020年2月23日(日)

会 場：伊勢崎プリオパレス



## ロータリーの友地区委員会

委員長 広瀬 雅美(高 崎) 委員 新井 良和(伊 勢 崎)  
副委員長 小暮 雅丈(館 林) 担当副幹事 田中 泰亨(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

「ロータリーの友」の購読は、ロータリアンの義務となっています。地区内会員に「ロータリーの友」の出版物や事業についての理解を深めてもらうための役割があり、地区内への広報や利用促進活動に努める必要があります。

### 2. 委員会事業計画

- ①地区内ロータリアンに対して「ロータリーの友」およびその他の刊行物についての有効な活用を促す。
- ②地区ならびに地区内クラブの活動やその他の情報収集に努める。
- ③地区内情報を編集部へ送り、それをもとにした取材や「ロータリーの友」誌編集に協力する。
- ④「ロータリーの友」に関する情報をガバナーに報告し、ガバナーの意見を集約して会議等で発表する。

### 3. 目標

東京での会議に積極的に出席し、「地区」と「ロータリーの友」との橋渡しをする。

### 4. タイムスケジュール

- 5月20日 2019-20年度地区代表委員オリエンテーション(東京)
- 7月1日 合同会議・懇親会(東京)
- 8月9日 ゾーン会議(東京)
- 11月11日 ゾーン会議(東京)



## ロータリー財団委員会

アドバイザー 牛久保哲男(伊勢崎)  
委員長 板垣 忍(前橋)  
担当副幹事 小澤 弘(伊勢崎)

ロータリー財団の使命は、人種・民族、文化、宗教、政治的見解の違いを超えて社会奉仕プロジェクトでつながり、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを実現できるようにロータリアンを支援することです。ロータリークラブの存在を知っている人は大勢いますが、ロータリーとは何でありどのような活動をしているか知っている人は多くありません。ロータリーのビジョンを伝えましょう。30年にわたるポリオ撲滅活動や、地域社会に安全な水を確保し、新世代に教育の機会をもたらす活動など、私たちロータリアンのストーリーを伝えましょう。

### 2019-20年度ロータリー財団管理委員長の目標

ゲイリー C.K. ホアン管理委員長エレクトは、全ロータリアンへの高い信頼から次のような野心的な目標を立てました。

1. 年次基金の目標は、人々の人生を変えるような数多くのプログラムを引き続き支援していくために「1億4,000万ドル(前年度1億3,700万ドル)」です。
2. ポリオの募金目標は、前年同様年間5000万ドルです。目標達成により、ゲイツ財団から1億ドルの上乗せが行われ、合わせて1億5,000万ドルとなり、子供たちとの約束を果たすための大きな力となります。
3. 2025年までに20億2500万ドルというロータリー財団を築くため、財団の恒久基金への寄付を呼びかけます。現在の手持ちは4億2100万ドル、誓約による見込み額が7億6700万ドルということですが、「2025 by 2025」という恒久基金目標に向け、今年度は7,500万ドルの目標とします。

### 森田ガバナー年度における財団目標

1. 年次基金寄付……………1人当たり……………150ドル以上 メジャードナー5名以上
2. ポリオ・プラス……………1人当たり……………30ドル以上
3. ベネファクターまたは遺贈友の会会員……………10名以上

ロータリー財団の活動は『寄付を集める活動』と『寄付を使う活動』があり、地区におけるDDF(地区活動資金)の資金源は、当地区の3年前の寄付額によって決まります。

### セミナー開催予定及び地区補助金提出期限

1. ロータリー財団セミナー 2019年8月24日(土) (伊勢崎プリオパレス)
2. 補助金管理セミナー 2019年11月9日(土) (伊勢崎プリオパレス)  
(補助金管理セミナーに出席しない場合は、両補助金の申請が出来ない事になっております)
3. 地区補助金申請提出期限 2019年12月20日(金) Web申請となります。



## ポリオプラス委員会

委員長 橋谷 晋治(高崎北) 委員 本田雄二郎(大泉)  
副委員長 新井 照秋(前橋東) 担当副幹事 田中 泰亨(伊勢崎)

2013年の手続き要覧第12章「ポリオプラス」には「ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達せられるまでは、他の全てのプログラムに優先される」とあります。ポリオの撲滅は、これまでも、そして今後も引き続き、ロータリー全体の最優先事項です。

ポリオ撲滅は、短距離走ではなくマラソンであることを、私たちはもちろん知っています。そして今、このマラソンのラストスパートに入っており、ゴールラインが視野に入っています。1988年には125カ国で35万人の発症例がありましたが、現在では、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国で発症例が20件までに減少しています。しかし、まだゴールに到達したわけではありません。最大のチャレンジはまだこれからです。我々は世界の子供たちに約束をしましたが、この約束があるからこそ、ポリオ症例数は99.9%以上減少しました。これからも全力を注ぎ、約束を果たさなければなりません。

ポリオの募金目標は1億5000万ドルで、これには、ロータリアン、クラブ、地区、ロータリー支援者からの5000万ドルが含まれます。残りの1億ドルは、ゲイツ財団からの上乗せとなります。したがって、私たちの地区目標をしっかりと達成する事により、「ポリオ撲滅」に向けご協力をよろしくお願い致します。

- 1 ポリオプラス基金寄付一人30ドル以上を依頼。
- 2 ポリオプラスの広報を各クラブに対して行う。
- 3 地区のポリオプラス募金活動を積極的に行う。
- 4 地区研修・協議会や、R財団セミナー等で啓蒙活動に取り組む。
- 5 公共イメージ委員会と連携して、ポリオ撲滅の発信力を高めたい。

## 資金推進委員会

委員長 金井 修(前橋西) 委員 清水 一男(渋川)  
副委員長 豊田 明美(高崎) 担当副幹事 山崎裕紀雄(伊勢崎)

ロータリー財団は、1917年にアトランタで開催された国際大会に於いて当時の会長のアーチ・C・クランフが“全世界的な規模で、慈善・教育・その他の社会奉仕の分野で、より良いことをする為に、基金を作ろう”と提案した事に始まります。同年、26ドル50セントの最初の寄付が贈られて以来、最近では、年次寄付が毎年1億ドル以上になり、現在まで、100万人以上がポール・ハリス・フェローとして認定されています。当委員会は、地区の寄付目標に従って、各クラブが年次寄付と恒久基金への寄付目標を設定して、これを達成出来るように支援していきます。

- ① 森田年度の寄付目標「1人150ドル」を達成出来るようにクラブを支援
- ② マルチプル・ポール・ハリス・フェロー「MPHF」分区当たり20名以上
- ③ 大口寄付者メジャードナー「MD」 地区で5名以上
- ④ ベネファクターまたは遺贈友の会会員 地区で10名以上
- ⑤ ポリオプラス 1人当たり30ドル以上
- ⑥ 寄付実績の広報を実施し、記録を行う
- ⑦ 当地区におけるDDFの管理・記録・広報を行う
- ⑧ 財団の運営に関してのロータリアンの教育を行う
- ⑨ 寄付者に、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、大口寄付者「MD」の認証が適切に行われるよう、地区での寄付者認証行事を行う
- ⑩ 地区研修・協議会や地区ロータリー財団セミナー等の設営に協力する



## 2017-2018年度 年次寄付・使途指定寄付・恒久基金 クラブ別実績表

(単位：ドル)

分区	クラブ名	会 員 数 ①	年次寄付 クラブ目標額 ②	年次寄付 実績額 ③	年次寄付 達成率 ④(③/②)	年次基金 1人当たり 実績額 ⑤(③/①)	使途指定 寄付実績額 ⑥	恒久基金 実績額 ⑦	合 計 ⑧(③+⑥+⑦)
第1分区	前 橋	118	19,200.00	21,233.24	111%	179.94	3,407.17	0.00	24,640.41
	前 橋 西	58	0.00	6,900.00	0%	118.97	1,385.65	0.00	8,285.65
	前 橋 東	51	7,650.00	7,875.67	103%	154.42	1,845.00	0.00	9,720.67
	前 橋 北	70	10,500.00	11,980.39	114%	171.15	2,714.83	0.00	14,695.22
	前 橋 南	40	0.00	4,225.36	0%	105.63	654.48	0.00	4,879.84
	前 橋 中央	27	4,200.00	4,783.39	114%	177.16	840.00	0.00	5,623.39
分 区 小 計		364	41,550.00	56,998.05	137%	907.28	10,847.13	0.00	67,845.18
第2分区A	桐 生	63	10,500.00	10,549.46	100%	167.45	2,182.34	0.00	12,731.80
	桐 生 南	24	0.00	3,449.87	0%	143.74	2,790.00	0.00	6,239.87
	桐 生 西	59	9,600.00	11,193.00	117%	189.71	4,119.00	1,096.00	16,408.00
	桐生中央	21	3,300.00	2,499.35	76%	119.02	605.85	0.00	3,105.20
桐生赤城	42	6,300.00	4,439.65	70%	105.71	1,259.81	0.00	5,699.46	
分 区 小 計		209	29,700.00	32,131.33	108%	725.63	10,957.00	1,096.00	44,184.33
第2分区B	伊 勢 崎	88	13,200.00	15,461.73	117%	175.70	2,625.00	1,202.00	19,288.73
	群 馬 境	22	3,150.00	3,816.00	121%	173.45	750.00	0.00	4,566.00
	伊勢崎中央	84	13,800.00	11,153.30	81%	132.78	2,210.00	1,000.00	14,363.30
	伊勢崎南	30	4,650.00	4,831.16	104%	161.04	1,032.84	0.00	5,864.00
	伊勢崎東	32	3,200.00	3,537.60	111%	110.55	185.20	0.00	3,722.80
分 区 小 計		256	38,000.00	38,799.79	102%	753.52	6,803.04	2,202.00	47,804.83
第3分区	高 崎	118	17,700.00	17,775.55	100%	150.64	4,183.24	0.00	21,958.79
	高 崎 南	68	10,000.00	8,827.82	88%	129.82	1,232.34	2,000.00	12,060.16
	高 崎 北	66	9,900.00	13,534.07	137%	205.06	2,259.35	44,642.85	60,436.27
	高 崎 東	40	0.00	10,489.43	0%	262.24	1,200.00	0.00	11,689.43
	高崎シンフォニー	41	6,300.00	7,300.00	116%	178.05	1,290.00	0.00	8,590.00
	高崎セントラル	34	4,600.00	2,490.46	54%	73.25	300.00	0.00	2,790.46
分 区 小 計		367	48,500.00	60,417.33	125%	999.06	10,464.93	46,642.85	117,525.11
第4分区A	太 田	71	11,250.00	12,551.17	112%	176.78	2,389.15	0.00	14,940.32
	太 田 西	18	0.00	2,513.48	0%	139.64	540.00	0.00	3,053.48
	太 田 南	46	6,900.00	8,410.80	122%	182.84	1,523.27	0.00	9,934.07
	新 田	18	0.00	3,515.00	0%	195.28	660.00	0.00	4,175.00
	太田中央	55	9,450.00	7,640.00	81%	138.91	1,430.00	0.00	9,070.00
分 区 小 計		208	27,600.00	34,630.45	125%	833.45	6,542.42	0.00	41,172.87
第4分区B	館 林	49	0.00	17,674.00	0%	360.69	2,668.77	0.00	20,342.77
	大 泉	33	4,950.00	20,479.55	414%	620.59	1,005.00	0.00	21,484.55
	館 林 西	21	3,450.00	3,450.00	100%	164.29	690.00	0.00	4,140.00
	館 林 東	23	3,150.00	3,150.00	100%	136.96	630.00	0.00	3,780.00
	館林ミレニアム	25	3,900.00	4,200.00	108%	168.00	810.00	0.00	5,010.00
分 区 小 計		151	15,450.00	48,953.55	317%	1,450.53	5,803.77	0.00	54,757.32
第5分区	渋 川	62	9,300.00	15,544.45	167%	250.72	2,462.73	0.00	18,007.18
	沼 田	67	0.00	11,166.94	0%	166.67	2,686.45	0.00	13,853.39
	草 津	17	0.00	2,400.00	0%	141.18	480.00	0.00	2,880.00
	中 之 条	21	3,300.00	3,090.00	94%	147.14	690.00	0.00	3,780.00
	沼田中央	51	0.00	6,000.71	0%	117.66	1,220.00	0.00	7,220.71
	渋川みどり	37	0.00	4,570.39	0%	123.52	690.84	0.00	5,261.23
分 区 小 計		255	12,600.00	42,772.49	339%	946.89	8,230.02	0.00	51,002.51
第6分区	富 岡	44	0.00	7,220.00	0%	164.09	1,670.00	500.00	9,390.00
	藤 岡	51	7,650.00	8,950.00	117%	175.49	1,590.00	0.00	10,540.00
	安 中	51	8,400.00	7,957.76	95%	156.03	1,591.57	0.00	9,549.33
	藤 岡 北	17	2,000.00	1,085.46	54%	63.85	210.00	0.00	1,295.46
	富岡中央	37	0.00	5,859.83	0%	158.37	1,170.00	0.00	7,029.83
	碓氷安中	10	150.00	967.60	645%	96.76	245.38	0.00	1,212.98
	藤 岡 南	16	2,550.00	2,346.65	92%	146.67	450.00	0.00	2,796.65
富岡かぶら	27	4,050.00	6,430.00	159%	238.15	1,153.45	0.00	7,583.45	
分 区 小 計		253	24,800.00	40,817.30	165%	1,199.41	8,080.40	500.00	49,397.70
合 計		2,063	238,200.00	355,520.29	149%	7,815.77	67,728.71	50,440.85	473,689.85



## 資金管理・平和フェローシップ委員会

委員長 川口 修平(高崎南) 署名人 金井 修(前橋西)  
副委員長 永井 寛之(沼田中央) 署名人 豊田 明美(高崎)  
委員 水石 清治(沼田) 担当副幹事 山崎裕紀雄(伊勢崎)

ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理する一方、地区財団活動資金(DDF)残高が増加しつつあり、グローバル補助金委員会と協力して有効活用を推進してゆきたい。

国際ロータリーより設置要請のあった平和フェローシップは委員会内で認識を高め広報活動を進めて参ります。

ロータリー財団の新制度として2013-2014年度より全世界「未来の夢計画」がスタートし本年度で7年目となりました。2018-2019年度は地区内44クラブより29事業を実施しております。各クラブで事業が完了次第、順次、報告書を提出していただいている段階です。ここで、申請書、報告書に関して、特に遵守して頂きたい事項を以下に列記いたします。

1. プロジェクトを計画する時点において、自クラブの3年前の年次寄付実績額(地区会員必携に記載)を確認していただき、地区補助金申請時に申請額超過(総額の4分の1以内)になりません様お願い致します。
2. プロジェクトへの支出前に専用口座の残高を申請プロジェクト総額(地区補助金+クラブ拠出金)として下さい。プロジェクトに係わるものは必ず専用口座で入金してください。
3. 申請プロジェクトの内容(目的)と相違するものに使用しないでください。
4. 申請時に記載ないものの購入はできません。
5. 物品寄贈の場合、受益者からの受領書のコピーや活動の写真を添付して下さい。
6. 支払先が多岐にわたる場合、報告書にはわかり易く添付して下さい。
7. 申請時の見積書等の金額、実行時の金額と大きな差異のなき様、申請時の見積の妥当性を確保して下さい。
8. ロータリアンが汗をかいた活動事例については訴求力のあるものとして下さい。
9. 報告書の提出は、プロジェクト終了後1ヶ月以内にガバナー事務所へご送付ください。Webにてお願い致します(チェックリストの提出もお忘れなきよう)。

最後にお願いとなりますが、当地区ロータリー財団ハンドブック2014-2015年度版(第2版)及び2019-2020年度ダイジェスト版を熟読の上、内容に則した申請として下さい。



## 補助金委員会(地区補助金委員会・グローバル補助金委員会)

委員長 山田 利和(富岡かぶら)  
担当幹事 小澤 弘(伊勢崎)

### 1. 委員会活動の現状

当地区はR財団に対して、ここ数年4,000万円以上の寄付を行っています。(1ドル=120として)これは会員一人一人が、SETS150ドル以上の寄付を地区目標として実践してくれたため実現されたものです。

2012-2013年度より新制度となり、3年後にその1/4(約1,000万円)が地区補助金として、また同様に1/4(約1,000万円)がグローバル補助金として利用することができます。

この補助金を有効に活用してクラブの奉仕活動を充実していきましょう。

### 2. 委員会事業計画

当委員会には、地区補助金委員会とグローバル補助金委員会があり、両補助金事業及び両委員会がスムーズに運営できるよう支援します。本年度も実践的なハンドブックを発刊できるよう関係委員会と協議を行います。(7年目)

### 3. 目標

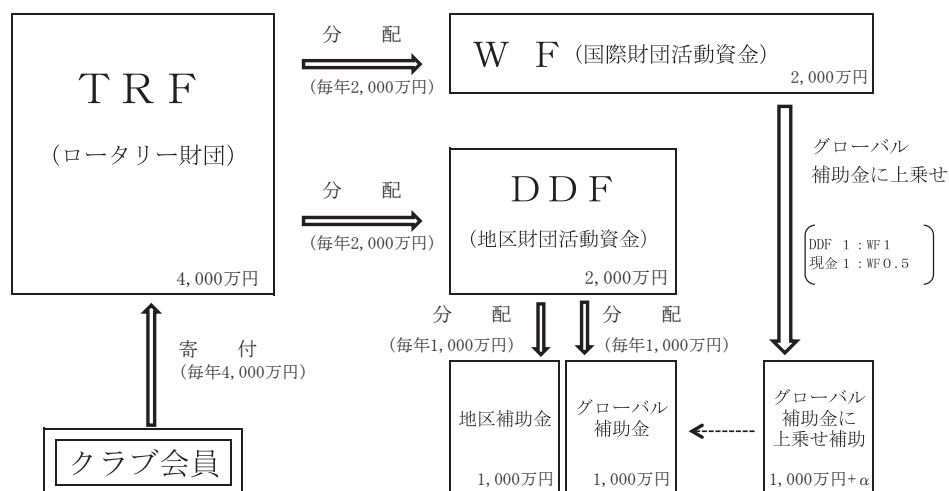
#### (1) 地区補助金

- ①地区補助金の各クラブへの適正な配分(特別分配金20,377ドルを含む)を検討する。
- ②地区補助金事業の継続性の取り扱いについて検討する。
- ③各クラブの奉仕事業の質の向上と地域社会のニーズに応じた奉仕活動を奨励する。

#### (2) グローバル補助金

- ①地区およびクラブが活発に申請が行われるよう活動する。
- ②申請時の英語の壁や煩雑さを軽減するためのサポート体制を検討する。

## 『2840地区 年次寄付・補助金サイクル図』



(注) 上記の各金額は簡略化するため、概算額としています



**※TRF(The Rotary Foundation) ロータリー財団**

正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることが使命である

**※シェア・システム (Share System)**

年次基金寄付と恒久基金収益の50%が地区財団活動資金(DDF)となり、50%が国際財団活動資金(WF)となる

**※WF(World Fund) 国際財団活動資金**

年次寄付と恒久基金収益の50%がシェア・システムの下で国際財団活動資金(WF)に充てられる

ロータリー財団管理委員会が、その用途を決定する

**※DDF(District Designated Fund) 地区財団活動資金**

3年前の年次寄付と恒久基金収益の50%相当額が地区財団活動資金として配分される地区が裁量権を有し、その用途を決定する

## 『2019-2020年度 DDF 収支予算』

2019-2020年度(森田年度)地区財団活動資金(DDF)収支予算

(単位：ドル)

「収入」

I. 2019-2020年度配分額		
2016-2017年度年次寄付額	348,825.00	
2016-2017年度恒久基金利息 (2019.10確定予定のため0としています)	0	
小 計	348,825.00	
上記の50%相当額		174,412.50
II. 前年度繰越額		
		227,189.43
(2019. 6 .30の残高は未経過で未確定のため、2018. 6 .30繰越額を採用しています)		
		378,180.19

「支出」

I. 地区補助金	111,034.41	
II. グローバル補助金	90,657.41	
III. ポリオプラス基金	20,000.00	
支出合計		221,691.82

「次年度繰越予定額」

156,488.37

(2020. 6 .30次年度繰越予定額は、現時点で2019. 6 .30の前年度繰越額が確定していないため、暫定予定額となっています)

(2019. 4 .22現在)





## 地区財団活動資金(DDF)収支実績表

(単位：ドル)

		2016-2017 (豊川年度)	2017-2018 (田中年度)	2018-2019 (宮内年度)	2019-2020 (森田年度)	2020-2021 (山田年度)
前年度繰越額 ①		183,941.56	196,878.29	203,767.69	176,941.43	
配分 収入	当年度配分額 ②	155,182.25	164,287.00	(※1) 180,495.00	(※7) 174,412.50	(※9) 177,760.00
	恒久基金収益配分額 ③	6,354.13	6,722.57	(※2) 6,902.31		
	収入合計 ④(②+③)	161,536.38	171,009.57	187,397.31		
地区 活動 支出	地区補助金 ⑤	80,463.00	85,318.00	(※3) 78,605.00	90,657.41	
	(プロジェクト件数)	(41件)	(46件)	(29件)	(※4) 特別配分金 20,377.00	111,034.41
	同上返却金 ⑥	△1,863.35	△1,197.83	△1,129.43		
	グローバル補助金 ⑦	20,000.00	25,000.00	76,748.00	(※5) 90,657.41	
	(実施国、クラブ名、金額)	福島 2840地区 10,000 タイ 伊勢崎 10,000	イギリス 前橋東 15,000 フィリピン 桐生西 10,000	モンゴル 前橋 26,500 韓国 太田 3,123 フィリピン 伊勢崎 20,000 フィリピン 桐生西 10,000 インドネシア 富岡かぶら 17,125		
	ポリオプラス ⑧	50,000.00	30,000.00	30,000.00		
	ロータリー平和センター 基金拠出 ⑨	0.00	25,000.00	30,000.00		
支出合計 ⑩(⑤~⑨)	148,599.65	164,120.17	214,223.57			
次年度繰越額⑪(①+④-⑩)		196,878.29	203,767.69	176,941.43		

(2019. 4. 22現在)

	2015 ~ 2016 (竹内年度)	2016 ~ 2017 (豊川年度)	2017 ~ 2018 (田中年度)
年次寄付実績	360,990	(※6) 348,825	(※8) 355,520

- (※1) 360,990(生方年度寄付実績)×50% = 180,495
- (※2) 13,804.62×(恒久基金収益)×50% = 6,902.31
- (※3) 44クラブ29件の申請実績 年間申請限度額 78,605
- (※4) 森田年度申請限度額(174,412.50+6,902.31)×50% = 90,657.41
- (※5) 年間申請限度額 90,657.41
- (※7) 348,825 (※6)×50% = 174,412.50
- (※9) 355,520 (※8)×50% = 177,760

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



## 地区補助金委員会

委員長	石川 好男(太 田)	委員	小林 匡美(高 崎 南)
副委員長	嶋方 智之(高 崎)	委員	松本 徹(太田中央)
委員	齋藤 三郎(前 橋 南)	委員	飯田 知義(大 泉)
委員	高森 勉(桐 生 西)	委員	小見山健次(渋川みどり)
委員	鈴木 昭彦(伊勢崎南)	委員	松岡 将之(安 中)
		担当副幹事	小澤 弘(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

地区補助金は、クラブと地区がロータリー財団の使命を支え、地域社会の緊要なニーズに取り組むための補助金です。

地区財団活動資金(DDF)の50%を使って、ロータリー財団の趣旨の範囲内で地区の裁量で、人道的、教育的、社会奉仕活動等のプロジェクトを実施できるもので、地区が管理します。

当初の目標であった“全クラブ参加”を一昨年に達成し、去年は補助額を3年前の寄付額の実績に応じた割り振りとし、年次寄付の価値を高めました。

一昨年からはWeb申請が実施され、昨年からはWeb報告が始まり運用され、クラブと地区の事務処理の軽減が計かれて来ると思われます。

### 2. 委員会事業計画

- ① ロータリー財団から地区へ補助金一括支給(8～9月)
- ② 申請クラブに補助金交付(9～10月)
- ③ 申請事業の計画どおりの実施とサポート
- ④ 実施事業のWeb報告書の提出のサポート(事業実施から1ヶ月以内提出)
- ⑤ Web申請の事業内容のサポート
- ⑥ 関係書類の原本保管(5年間)

### 3. 目標

- ① クラブ申請書の提出期限の厳守(12月)
- ② クラブ申請を確定して地区に申請(3月)
- ③ 申請内容を地区で審査(最終審査会4月)
- ④ 地区からロータリー財団へ補助金一括申請(5月)

### 4. タイムスケジュール

- 8月 委員会(財団セミナー並びに地区補助金申請書及び報告書審査の勉強会)
- 8月 ロータリー財団セミナー(報告の実務・計画立案の注意点について説明)
- 10月 委員会(補助金管理セミナー並びに地区補助金申請書及び報告書審査の勉強会)
- 11月 補助金管理セミナー(申請書記入の注意点についての説明)
- 1月 地区補助金予備審査会



3月 地区補助金予備審査会

4月 地区補助金最終審査会(2020～21年度実施分の申請を承認)

## 5. 実績データ

	申請年度	申請クラブ数	事業総額
1年目	2012-13	34クラブ34申請	1,365万円
2年目	2013-14	33クラブ32申請	1,053万円
3年目	2014-15	41クラブ41申請	1,652万円
4年目	2015-16	43クラブ41申請	1,693万円
5年目	2016-17	46クラブ46申請	1,951万円
6年目	2017-18	44クラブ29申請	1,586万円
7年目	2018-19	44クラブ42申請	1,720万円

### (1) その他

- ① 2017-18年度実施のプロジェクトについては、申請総額9,449千円に対し各クラブへの送金額は送金時のロータリーレート的大幅な変動により9,108千円でした。
- ② 2018-19年度実施は22クラブによる7つの合同事業があり申請総額7,396千円となりました。それに対し、地区補助金予算は概算で9,677千円(4月ロータリーレート1\$=108円で計算)となっております。
- ③ 2019-20年度実施分は申請総額9,378千円(現在審査中)となっております。それに対し、地区補助金予算は概算で11,987千円(2月ロータリーレート1\$=112円)となっており、送金時のロータリーレートに変動がなければ大幅な減額をすることなく補助金決定になりそうです。
- ④ 前年度同様、分区毎の担当委員を配置して、申請と報告をサポートしていきます。
- ⑤ 全クラブが参加して頂けるように活動すると共に、事業の質の更なる向上を目指して活動したいと考えております。







## グローバル補助金委員会

委員長	津久井 功(沼 田)	委員	天野 純一(沼 田)
副委員長	小此木正博(富岡中央)	委員	本山 佳宏(沼田中央)
委員	角張 桂子(前 橋)	委員	富岡 隆(富岡中央)
委員	大木 孝之(伊勢崎東)	担当副幹事	加藤 学(伊 勢 崎)

グローバル補助金は、平和と紛争予防／紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生設備・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展の6つの重点分野の一つに該当し、測定可能、持続性可能なプロジェクトであること。

プロジェクト予算の下限額は30,000米ドルです。

補助金の授与と受諾の条件を遵守すること。以上の要件を満たした上で、補助金申請の受付は随時行っておりますが、予定額に達成した場合は終了させていただきます。

詳細は、地区で作成した「ロータリー財団ハンドブック」2014-2015年度版、2018-2019年度ダイジェスト版をご参照下さい。

今年度も、グローバル補助金委員が各分区毎におりますので、細い活動を行うと共に財団委員会の方針に従い、下記の目標を掲げグローバル補助金の活用を推進していきます。

1. グローバル補助金を使った事業を5クラブ以上、グローバル奨学金奨学生1～2名の申請を受付、実施と計画を実行する。
2. 実施年数が浅い為、他地区におけるグローバル補助金事例を引き続き研究する。
3. 申請クラブの担当委員を選任し、サポートをきめ細かに行う。
4. グローバル補助金を利用した奨学生制度を確立し実行する。
5. 海外で専門職業を学んだり、現地の人々を指導する職業研修を提供したり、研修を受けるためにチームが海外に赴いたりできる職業研修チーム(VTT)に協力する。
6. 地区R財団セミナー・補助金管理セミナー等の設営に協力する。
7. 委員会の学習会を3月と7月の年2回行う
8. 補助金申請のために協力できる体制を構築する。

### (注意事項)

1. 申請期限：随時(但し6月1日～6月30日の間は年度替わりのため7月1日以降の申請をお願いします。)申請書の提出を受け、地区の審査会は随時開催されます。  
\*奨学金応募申請には、申請期間がありますのでご確認ください。
2. ホストパートナー(実施国)が企画しているプロジェクトの場合は、ホストパートナーの申請書等、日本語で事業内容の詳細を添付してください。
3. 報告書の提出期限：プロジェクト終了後2ヶ月以内(グローバル補助金用の報告書、様式5-1～5-4を使用)



# 2840地区グローバル補助金申請・実績一覧

2019. 2.12現在

年度	事業内容	重点分野	申請日	クラブ	ホストクラブ	実施国	2840地区……(単位: USドル)				(単位: USドル) 総事業費	地区承認	承認NO	結果
							現金	DDF	WF	合計				
2012～2013	リハビリ治療用機器の寄贈	疾病予防と治療	2013 1月25日	前橋	バヤンツルフ 100RC	モンゴル	11,745	10,000	15,873	37,618	36,897	2013 4月26日	GG 1413488	終了
2012～2013	2. 遠隔治療のシステム	疾病予防と治療	2013 3月3日	沼田	バリタハラ RC	バングラデシュ	3,000	19,773	21,273	44,046	48,546	2013 5月20日	GG 1411381	終了
2013～2014	障害者の職業訓練	基本的教育と識字率向上	2013 7月20日	沼田中央	台北	台湾	0	4,000	4,000	8,000	52,973	2013 8月7日	GG 1410761	終了
2014～2015	眼底カメラの寄贈	疾病予防と治療	2015 3月5日	伊勢崎	バンコク南 RC	タイ	1,000	16,000	16,500	33,500	56,600	2015 4月22日	GG 1529379	終了
2014～2015	障害者が自立出来る為の支援	経済と地域社会の発展	2015 4月3日	桐生西	サンジャン セントラルRC	フィリピン	500	5,000	5,250	10,750	39,450	2015 4月25日	GG 1530036	終了
2014～2015	飲料水の為の濾過装置設置	水と衛生	2015 6月8日	桐生西	チェンマイ ティンタインカム	タイ	2,000	10,000	11,000	23,000	56,000	2015 6月24日	GG 1417170	終了
2015～2016	クリーンウォータ寄贈	水と衛生	2016 3月10日	富岡中央	フィリピン サーキットマカ ティ	フィリピン	500	13,613	13,863	27,975	32,975	2016 3月10日	GG 1636872	終了
2015～2016	汚染対策 農業再建対策	経済と地域社会の発展	2016 3月10日	2840地区	日本 2530地区 郡山北	日本 2530地区 郡山	0	10,000	10,000	20,000	199,138	2016 3月10日	GG 1639968	支払い済み
2015～2016	GG奨学金 大澤 瑞帆	経済と地域社会の発展	2016 3月16日	伊勢崎	1060地区	イギリス バーミンガム	500	15,000	15,250	30,750	30,750	2016 4月15日	GG 1641114	終了
2016～2017	VTT	聴覚障害児童	2016 11月29日	前橋	3450地区 セルベRC	モンゴル	0	16,268	16,268	32,536	32,536	2016 12月9日	GG 1753008	キャンセル
2016～2017	GG奨学金 丹波 小桃	経済と地域社会の発展	2016 11月29日	前橋東	1080地区	イギリス	300	15,000	15,150	30,450	30,450	2016 12月26日	GG 1755606	終了
2016～2017	超音波エコー装置	疾病予防と治療	2017 2月17日	伊勢崎	バンコク南	タイ	500	10,000	10,250	20,750	54,716	2017 2月17日	GG 1752529	終了
2016～2017	AED及び研修	疾病予防と治療	2017 2月24日	桐生西	3800地区 マンダラヤング	フィリピン	2,000	5,000	6,000	13,000	43,000	2017 2月24日	GG 1751693	キャンセル
2016～2017	VTT	疾病予防と治療	2017 3月13日	沼田	3280地区 マドラブRC	バングラデシュ	500	41,422	41,672	83,594	83,744	2017 3月13日	GG 1754234	キャンセル
2017～2018	Disease prevention and treatment in the area of Nan Province	疾病予防と治療	2017 9月10日	沼田	3360地区 マドラブRC	タイ	1,000	0	500	1,500	58,594		GG 1759448	終了
2017～2018	障害者用キッチンプロジェクト	経済と地域社会の発展	2017 10月26日	桐生西	3800・3830地区 MandaluyongRC MakatiRC	フィリピン	2,000	10,000	11,000	23,000	96,150	2017 10月26日	GG 1863140	提出済み
2018～2019	Home-Visit mobile bathing car service for Hospice Home Care and Bedridden patients	疾病予防と治療	2018 3月11日	桐生西	3800地区 Mandaluyong等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 3月12日	GG 1869611	提出済み
2017～2018	Maternal Health and Child Care Warriors	母子の健康	2018 3月11日	桐生西	3800地区 Mandaluyong等	フィリピン	500	11,000	11,250	22,750	48,501	2018 3月12日	GG 1869611	提出済み
2018～2019	VTT	聴覚障害児童	2016 11月29日	前橋	3450地区 セルベRC	モンゴル	0	26500	26500	53000	53000	2018 11月4日	GG 1870900	終了
2018～2019	Apheresis Machine Donation	疾病予防と治療	2018 3月11日	伊勢崎	3780地区 San Francisco delmonte	フィリピン	0	20000	20000	40000	93000	2019 1月7日	GG 1979570	承認済み
2018～2019	Dumagat Tribe Peppercorn Livelihood Project	経済と地域社会の発展	2018 7月12日	桐生西	3800地区 Mandaluyong等	フィリピン	500	11000	11250	22750	51050	2018 7月12日	GG 1977308	提出済み
2018～2019	Supprt for the multi-cultural on their efforts to local society's development	経済と地域社会の発展・ 基本的教育と識字率向上	2018 7月12日	大田	3680地区 New Daejeon	韓国	2000	3123	4123	9246	43246	2019 1月9日	GG 1977308	提出済み
2018～2019	VTT	疾病予防と治療	2019 1月29日	沼田	3280地区 マドラブRC	バングラデシュ	500	45030	45280	90810	90955	2019 1月30日	GG 1754234	提出済み

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



## 会員組織強化委員会

委員長	宮内 敦夫(館 林)	委員	赤石 光雄(太田中央)
副委員長	山田 邦子(前 橋)	委員	鎌田貴一郎(館 林 東)
委員	石川 直美(前橋中央)	委員	保坂 充男(沼 田)
委員	坪井 良廣(桐 生)	委員	神子田 遥(藤 岡 南)
委員	北原 康男(伊勢崎中央)	担当副幹事	高橋しげみ(伊 勢 崎)
委員	梅山 哲(高 崎 北)		

### 1. 委員会活動の現状認識

- ・会員組織強化は重要課題である。組織強化は退会防止と会員増強の二面を強化することである。
- ・その基本は情報を会員が共有し、全員参加の楽しいクラブ作りである。
- ・地区とクラブは新会員のみならず会員すべてが常にロータリーについて学ぶ姿勢と機会が必要である。
- ・委員(ガバナー補佐)は、担当分区内のクラブと常に連携を保ち、会員組織強化に努める。

### 2. 委員会事業計画

- ・会員増強セミナー開催(6月22日)
- ・新会員セミナー開催(第1回9月7日、第2回4月25日)
- ・各クラブは研修・炉辺談話・メンター制度などによって新会員の定着を図ってほしい。

### 3. 目標

- ・会員増強の数値目標は、地区の戦略計画に基づくガバナー方針に従う。
- ・退会者の退会理由をクラブから報告願ひ、対応策をねる一助とする。
- ・会員増強セミナー・新会員セミナーに際してはアンケート調査を行う。
- ・女性会員ゼロクラブをなくす。

### 4. タイムスケジュール

- ・委員会は必要に応じて女性ネットワーク委員会と合同で行う。
- ・委員会はセミナー開催準備、検討事項を考慮して回数・日程を決める。

### 5. 会員組織強化のための新たな検討課題

マローニー RI 会長の強調事項(3)「ロータリーの未来を作るのはクラブです。柔軟性・革新的発想で様々な人々が入会できるクラブを作ることです。」に依って、以下の事項を課題とする。

- ・クラブの一律会費制度に柔軟性を持たせ、家族会員、若い人などを増やせないか。
- ・ローターアクトの提唱を増やし、将来の会員候補者を増やすことは可能か。
- ・ローターアクト終了者・学友会員・若い人を対象にして、会費の安い新クラブはできないか。

これらは、当委員会が検討する前に、地区の戦略計画委員会ですら検討し、その後検討したい。

### 6. 実績データ

- ・会員増強状況調査は毎月末に行う。





## 女性ネットワーク委員会

委員長	中澤 洋子(高 崎)	委員	阿部 豊子(館 林 東)
副委員長	高橋 淳子(伊勢崎中)	委員	豊野 はる(館林中央)
委員	丸山ふでみ(伊 勢 崎)	委員	中島千賀子(藤 岡)
委員	相山美喜子(太 田 西)	担当副幹事	高橋しげみ(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

「女性ネットワーク委員会」は2014-2015年度に、女性会員の拡大増強を目的に発足し、今年度で6年目になります。毎年確実なる拡大増強となり150名を超える現状ですが、未だに女性会員0が4クラブがあります。今期、退会防止策を強化しつつ、女性会員0のクラブを無くす事が課題です。

### 2. 委員会事業計画

- ① 女性ネットワーク拡大会議 8月24日開催
- ② 地区女子会 8月24日開催
- ③ 分区女子会への支援

### 3. 目標

地区女子会を開催することで他クラブの女性会員と親睦を図るきっかけとなり退会防止と女性会員の増強に繋げる。女性会員0クラブを無くす。

### 4. タイムスケジュール

地区スケジュールを確認の上、年間3回程度開催予定。

### 5. 実績データ(可能な限り網羅的にご記入ください)

2014-2015年度に地区目標100名で発足。15年末には、108名で達成。  
2016年末は、124名。2017年は、136名。2018年は、154名。2019年2月現在は156名です。

## 公共イメージ委員会

委員長	関口 啓子(高 崎 南)	委員	栗林 紀昌(太 田 南)
副委員長	岡田 忠彰(前橋中央)	委員	原 義裕(館 林 西)
委員	波田野恭男(桐生赤城)	委員	堤 康喜智(沼田中央)
委員	羽鳥 武久(高 崎 東)	担当副幹事	松島 光雄(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

①地域にロータリークラブの社会奉仕の活動を広く知らせ、理解と認識を図るには宣伝広告活動が最も重要と思われる。

### 2. 委員会事業計画

- ①2020年2月23日のロータリークラブの創立記念日に紙上においてロータリーの広告宣伝を掲載する。
- ②月刊誌「ロータリーの友」の活用を促す。  
公共機関及び会員の企業や病院の待合室、理髪店(美容室)、自動車販売店等に設置をお願いし、多くの人の目に留まることにより、ロータリーの存在や活動を認識してもらうように努める。

### 3. 目標

- ①2020年2月23日のロータリーデーにおいて上毛新聞紙上にガバナー方針、45各クラブの指針やスローガン等を掲載する。また、地区補助金の申請クラブの活動状況を掲載する。
- ②会員が読み終えた月刊誌「ロータリーの友」を活用し、地域においてロータリーの宣伝や活動に役立てる。

### 4. 事業予算書

収入の部		支出の部	
委員会予算	1,512,000円	上毛新聞広告宣伝掲載費 予備費	1,430,000円 82,000円
合 計	1,512,000円	合 計	1,512,000円



## 国際大会推進委員会(オンツアー・ハワイ)

委員長 槻岡 行支(大 泉)      委員 金谷 光明(太田西)  
 副委員長 竹中 隆(高崎北)      委員 小曾根一雄(沼田中央)  
 委員 児島 清文(伊勢崎中央)      担当副幹事 田中 泰亨(伊勢崎)  
 委員 梅田 浩行(伊勢崎東)

### 1. 委員会活動の現状認識

国際大会参加に向けた活動は、従来公共イメージ委員会の中に所管された形となっており地区全体の活動としては盛り上がりには欠けていたのではないかと一画がありました。

### 2. 委員会事業計画

今年度は思い切って、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験をわかちあう場へ、地区の多くのロータリアンに参加いただく事を目標に国際大会参加を推進する委員会として独立させていただきました。

### 3. 目標

委員会ではクラブ単独での参加企画が困難なクラブの受け皿として地区主催での国際大会参加ツアーの企画を行って参ります。委員会の委員各位には、呼びかけ担当エリア(分区)を設定し分区内のクラブ訪問を行っていただき参加要請を行っていただく計画です。

地区の参加者目標人数を50名として活動を展開させていただきます。

### 4. タイムスケジュール

- 7月初旬：委員会メンバーの初顔合わせ、事業計画作成、国際大会参加目標50名以上の確認
- 9月：旅行業者の選定
- 10月：国際大会(オンツアー・ハワイ)日程、予算等の把握など
- 11月：各委員へ担当分区の割り当て、担当クラブの把握など
- 12月初旬：国際大会参加要請開始、参加申込書等関係書類を各クラブへ送付
- 2月：参加予定者の集計把握、活動強化策等の会議開催
- 3～4月：参加予定者へのツアー説明会
- 6月：国際大会参加報告会の実施

### 5. 参加実績と計画状況など

年 度	国際大会開催場所	目 標	参加者数	参加率
2015-16 生方 彰年度	ソウル国際大会	150名	101名	67%
2016-17 豊川一男年度	アトランタ国際大会	60名	35名	58%
2017-18 田中久夫年度	トロント国際大会	60名	41名	68%
2018-19 宮内敦夫年度	ハンブルグ国際大会	50名	未定	
2019-20 森田高史年度	ハワイ国際大会	50名	計画	



## 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

委員長	佐藤 信一(前 橋 東)	委員	堀口 和敏(高崎セントラル)
副委員長	廣田 哲也(前 橋)	委員	小池 敏郎(館 林)
委員	岡崎 政夫(前 橋 北)	担当副幹事	加藤 学(伊 勢 崎)

1. 委員会活動の現状認識  
地区研修協議会の分科会にて「職業奉仕」についてのセミナー開催
2. 委員会事業計画
  - ①ロータリー奨学金制度の理解を深めるためガバナー補佐と連携をとり、できれば基金を抽出したい
  - ②「職業奉仕論」の新解釈セミナーの開催
3. 目標  
奨学金制度の確立
4. タイムスケジュール
  - ①奨学金の趣旨説明と協力依頼文の作成
  - ②各クラブに対してガバナー補佐とのフォロー体制の確立

## 青少年交換委員会

委員長	吉井 宏文(高 崎)	委員	黒澤 弘(高崎南)
副委員長	宇田川利明(前 橋 西)	委員	原 精一(館林ミレニアム)
副委員長	樋口 哲雄(高崎北)	委員	山中のり子(前 橋 東)
委員	関根 俊夫(安 中)	担当副幹事	関 徹也(伊 勢 崎)
委員	飯塚 一成(館 林)	担当副幹事	岸 慈音(伊 勢 崎)
委員	小此木能信(高 崎)	担当副幹事	高橋しげみ(伊 勢 崎)

青少年交換は、1920年代にヨーロッパの少数クラブの間で始まりました。1950年代には相互交換型で長期的かつ学問的な交換が人気を博し、ロータリー青少年交換の原型へと発展していきました。

1972年、国際ロータリーの理事会は、価値ある国際的な活動として、世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意しました(青少年交換要覧より)

青少年交換プログラムで派遣される学生は留学ではなく親善大使として海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を多くの青少年に提供しています。本プログラムは、参加する青少年と学生を受け入れるロータリークラブ、ロータリアン、学校だけでなく地域社会にも多くの恩恵をもたらします。

当委員会はスポンサークラブ(ホストクラブ)や海外の各地区青少年交換委員会との連携



を図り、学生が安全に国際親善の機会を得られるように活動してまいります。ホストクラブやホストファミリーとして地区内のクラブおよびロータリアンの皆様のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

## 事業計画

### 【夏季(短期)交換プログラム】

夏季派遣学生として、6月中旬から7月中旬にかけて米国と1名の学生を交換します。ホストクラブは館林RCです。

### 【長期交換プログラム】

8月中旬から翌年7月までの期間、米国と2名の学生を交換します。ホストクラブは伊勢崎RCと富岡RCです。

### 【委員会開催】

受入学生や派遣学生へのオリエンテーション、各種行事開催の為に5回の委員会を開催します。

## 開催行事

委員会として受入学生、派遣学生の対する交流、スキルアップの為、派遣学生のOBであるROREXの支援のもと以下の行事を開催します。

1. 8月末に受入学生日本語教室を開催します。
2. 9月に帰国学生帰朝報告会と受入学生歓迎会を開催します
3. 10月に次期派遣候補生の考査を実施します。
4. 2月に一泊のオリエンテーションを開催します。
5. 3月に新潟地区との合同で関西旅行を開催します。
6. 5月に山形で開催される「日本青少年交換全国研究集会」に参加します。
7. 6月に受入学生の歓送会と派遣学生の壮行会を開催します。
8. その他ROTEXの企画として12月開催される交流会を助成します。

## 事業予算書

収入の部		支出の部	
委員会予算より		ホストクラブ受入事業費	1,400,000円
事業費	3,591,000円	行事開催費	2,457,400円
会議費	200,000円	会議開催費・旅費	186,200円
行事参加者収入等	320,000円	予備費	67,400円
合 計	4,111,000円	合 計	4,111,000円



2019-2020年度 第2840地区青少年交換プログラム スポンサー・ホストクラブ 及び 派遣学生・受入学生

種類	派遣学生数	性別	年齢	派遣学生輩出学校	学年	学生居住地	学校所在地	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入学生性別	受入学生年齢	受入学生数
長期交換	2	女子	16才	本庄東高校	1年	伊勢崎市	本庄市	伊勢崎RC	5100 オレゴン	女子	17才	2
		女子	17才	新島学園	2年	富岡市	安中市	富岡RC	5890 テキサス	男子	17才	
短期交換	1	女子	17才	不動岡高校	2年	館林市	羽生市	館林RC	5100 オレゴン	女子	16才	1

第2840地区青少年交換プログラム実績一覧表 (2010-11年度～2018-19年度)

1. 年度別実績

【長期交換】

年度	派遣学生数	派遣学生輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入学生数
2010-11	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	4
		共愛学園	前橋東	5650 ネブラスカ	
		樹徳高校	桐生南	5950・5960 ミネソタ	
		新島学園	安中	7170 ニューヨーク	
2011-12	2	樹徳高校	桐生南(スポンサー)	5650 ネブラスカ	0
		共愛学園	伊勢崎(スポンサー)	5100 オレゴン	
2012-13	6	共愛学園	前橋西	7170 ニューヨーク	6
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	高崎シンフォニー	5950・5960 ミネソタ	
		太田高校	新田	5650 ネブラスカ	
		農大二高	富岡	5950・5960 ミネソタ	
2013-14	5	樹徳高校	桐生南	5650 ネブラスカ	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	
		樹徳高校	伊勢崎	5650 ネブラスカ	
		共愛学園	渋川	5950・5960 ミネソタ	
2014-15	3	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	3
		共愛学園	前橋東	6060 ミズーリ	
		四ツ葉学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
2015-16	5	樹徳高校	桐生赤城	7170 ニューヨーク	5
		四ツ葉学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
		共愛学園	高崎北	5890 テキサス	
		館林高校	館林	5630 ネブラスカ	
		新島学園	安中	5100 オレゴン	
2016-17	5	四ツ葉学園	伊勢崎	5100 オレゴン	5
		農大二高	高崎	7170 ニューヨーク	
		健大高崎	高崎東	5630 ネブラスカ	
		四ツ葉学園	太田南	5890 テキサス	
		新島学園	安中	5950・5960 ミネソタ	

【長期交換】

年度	派遣学生数	派遣学生輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入学生数
2017-18	4	四ツ葉学園	桐生	5100 オレゴン	4
		四ツ葉学園	伊勢崎	5910 テキサス	
		新島学園	安中	5890 テキサス	
		本庄高校	藤岡北	5950・5960 ミネソタ	
2018-19	4	共愛学園	前橋東	5630 ネブラスカ	4
		共愛学園	伊勢崎	5950・5960 ミネソタ	
		四ツ葉学園	伊勢崎中央	5890 テキサス	
		新島学園	安中	5100 オレゴン	

【短期交換】

年度	派遣学生数	派遣学生輩出学校	スポンサークラブ = ホストクラブ	交換相手地区	受入学生数
2010-11	0				0
2011-12	0				0
2012-13	4	共愛学園	前橋西	5100 オレゴン	2
		四ツ葉学園	群馬境	5100 オレゴン	
		樹徳高校	館林東(スポンサー)	6250 ウィスコンシン	
2013-14	3	新島学園	安中(スポンサー)	6250 ウィスコンシン	3
		前橋女子高	前橋西	5100 オレゴン	
		四ツ葉学園	伊勢崎東	5100 オレゴン	
2014-15	3	四ツ葉学園	新田	6250 ウィスコンシン	2
		四ツ葉学園	桐生	6250 ウィスコンシン	
		樹徳高校	桐生南(スポンサー)	5100 オレゴン	
2015-16	1	四ツ葉学園	伊勢崎中央	5100 オレゴン	0
2016-17	0				1
2017-18	2	四ツ葉学園	前橋北	5910 テキサス	3
		樹徳高校	桐生	5100 オレゴン	
		樹徳高校	桐生	5100 オレゴン	

(右上に続く)

2. 分区(クラブ)別実績 (長期交換)

年度	第1分区		第2分区A		第2分区B		第3分区		第4分区A		第4分区B		第5分区		第6分区		計
	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	人数	クラブ	
2010-11	2	前橋西 前橋東	1	桐生南											1	安中	4
2011-12			1	桐生南	1	伊勢崎											2
2012-13	1	前橋西			2	伊勢崎 伊勢崎中央	1	高崎 シンフォニー	1	新田					1	富岡	6
2013-14			1	桐生南	2	伊勢崎 伊勢崎						1	渋川	1	安中		5
2014-15	2	前橋西 前橋東			1	伊勢崎											3
2015-16			1	桐生赤城	1	伊勢崎	1	高崎北			1	館林			1	安中	5
2016-17					1	伊勢崎	2	高崎 高崎東	1	太田南					1	安中	5
2017-18			1	桐生	1	伊勢崎									2	安中	4
2018-19	1	前橋東			1	伊勢崎 伊勢崎中央									1	安中	4
計	6		5		11		4		2		1		1		8		38

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



## インターアクト委員会

委員長 竹部 弘昭(太 田) 委 員 黒岩 千春(前 橋 西)  
副委員長 大嶋 茂(藤 岡 南) 担当副幹事 安部 良憲(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

インターアクト・クラブは12歳から18歳までの青少年で構成されており、奉仕活動と国際交流により視野を広げ、世界的友好精神を養っています。名称は、「インターナショナル」(国際的)と「アクション」(行動)という2つの語が複合されてできた名称です。

インターアクト・クラブに対し、常に指導と支援を行い青少年のための健全で安全な環境作りを維持していきます。提唱クラブに対しては、学校側との関係及び連携を密なものにしていただき、インターアクターたちの活動を監督および支援をお願い致します。

現状の課題については地区内45クラブ中、提唱クラブは16クラブでありインターアクト・クラブがどのようなものかなかなかわからないのが実情だと考えます。

### 2. 委員会事業計画

#### (1) インターアクト年次大会

テーマ：「夏の暑さと仲良くなろう」～楽しく夏を乗り切るために～

日 時：2019年7月13日(土) 場 所：太田市立太田高等学校

#### (2) 国際交流事業

☆台湾研修(第2560地区との共同事業)

☆台湾学生受入事業

訪問先：台湾省台北縣新北市立三重高級中學校

日 時：2020年4月17日～18日(1泊2日)

提唱RC：台湾三重中央扶輪社

歓迎セレモニー・さよならパーティーの開催

日 時：2020年3月26日～29日(3泊4日)

台湾生徒はホームステイ先へ

### 3. 目標

目的は定款に掲げられた9つの目標を理解し、世界中の若者とより広く理解と親善を作り出す機会を提供する。

- (1) 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること。
- (2) 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
- (3) 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養(かんよう)すること。
- (4) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
- (5) 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。
- (6) 自己能力の開発、時間管理、個人の資金管理などの生活力を養うこと。
- (7) すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
- (8) 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
- (9) 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。

### 4. タイムスケジュール

2019年6月中頃 委員会開催(顔合わせ・年次大会確認)

2019年11月中頃 第2560地区台湾打合せ

2020年2月中頃 台湾研修オリエンテーション



## 5. 事業予算書

収入の部		支出の部	
委員会予算より インターアクト振興資金	2,730,000円	年次大会開催費	750,000円
		台湾研修訪問費	932,000円
		台湾研修受入費	970,000円
		予備費	78,000円
合 計	2,730,000円	合 計	2,730,000円

## 6. 実績データ

2018-2019年度

提唱RC	学 校 名	会 員 数
前橋RC	前橋育英高等学校	21名(男子0・女子21)
前橋西RC	前橋商業高等学校	26名(男子7・女子19)
前橋東RC	共愛学園高等学校	29名(男子2・女子27)
前橋南RC	クラーク記念国際高等学校	82名(男子49・女子34)
桐生RC	桐生第一高等学校	13名(男子6・女子7)
桐生南RC	明照学園樹徳高等学校	34名(男子6・女子28)
桐生西RC	大間々高等学校	31名(男子0・女子31)
伊勢崎南RC	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	18名(男子9・女子9)
高崎南RC	高崎商科大学附属高等学校	59名(男子20・女子39)
高崎東RC	高崎健康福祉大学高崎高等学校	14名(男子0・女子14)
太田RC	太田市立太田高等学校	28名(男子6・女子22)
新田RC	新田暁高等学校	9名(男子3・女子6)
館林RC	館林高等学校	15名(男子15・女子0)
沼田RC	利根商業高等学校	8名(男子5・女子3)
藤岡南RC	藤岡中央高等学校	18名(男子4・女子14)
安中RC	新島学園高等学校	19名(男子15・女子4)

インターアクト総人数 424人

### インターアクト・クラブの主な活動内容

- ① 清掃活動
  - ② 募金活動
  - ③ エコキャップ運動
  - ④ 老人ホーム・障がい児学童保育等のボランティア活動
  - ⑤ 特別支援学校との交流事業
- 提唱クラブについては支援・協力または合同で事業を行っている。

## 7. その他

国際交流事業である台湾研修については、第2560地区から分かれて存続している唯一の共同事業でありお互いを理解しあい、国際意識を深め人として一回りも二回りも成長できる素晴らしい事業であります。これからも、この事業を邁進していきたい。



## ローターアクト委員会

委員長 堤 謙治(高崎北) 委員 伊藤進太郎(伊勢崎)  
副委員長 清水 雅弘(前橋) 担当副幹事 岸 慈音(伊勢崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

ローターアクトは、年齢が18～30歳までの若者が集いお互い交流し理解を深め、また地域活動としてボランティア等を行い若者のリーダーとしてのスキルアップを目指すものです。

しかし現在登録されたクラブが10ですが、会員減少により、活動休止となっているクラブが4つあります。

現在ローターアクトが主体となって年次大会の時期、場所、施行方法のマニュアル化をし始めており、ローターアクト会員の負担軽減を図っています。

近年まで多額の予算を使用する事業については単年度ごとに立案していましたが、年次大会や地区行事等の計画書の提出を行い、明朗化を図りました。また地区年次大会は招待者の予算がまちまちでしたが、今後は年次大会協力金として予算の立案がスムーズになりました。

### 2. 委員会事業計画

ローターアクト会長、幹事会終了後に委員会の開催を図ります。

地区より提唱クラブの会長、幹事、ローターアクト委員長、青少年奉仕委員長に働きかけて会員増強を図る算段を検討してもらいたいと思います。また提唱クラブだけにとどまらず、区内での情報交換なども検討したいと思います。その際OB,OGなどにも情報提供を促し、奨学生もローターアクトへの参加を依頼したいと考えます。

### 3. 目標

休止しているクラブの復活及びメンバーが1ないし2名で実質活動休止に追い込まれているクラブの活性化即ち会員増強。

今後は提唱クラブだけの問題としてではなく分区全体としてローターアクトの行事に参加していくことが重要であるし、会員増強も分区として捉えていくことができればと考えます。

### 4. タイムスケジュール

ローターアクト会長、幹事会(年間5回開催予定)後の開催を目指します。

ローターアクトの行事予定 2019-2020年度

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| ① 会長、幹事会               | 年間5回               |
| ② 全RAC・全提唱RC合同例会       | 2019年7月            |
| ③ アクトの日                | 2019年9月 各クラブにて活動   |
| ④ 第一ゾーン会議              | 2019年9月 開催地 栃木     |
| ⑤ 2840地区ロータリークラブ地区大会参加 | 2019年10月27日        |
| ⑥ 群馬新潟合同行事             | 2019年10月           |
| ⑦ RYLA研修会              | 2019年10月19日 開催地 藤岡 |
| ⑧ 北関東3県合同事業            | 2019年11月 開催地 栃木    |
| ⑨ 第三回地区研修会             | 2019年11月           |





- ⑩ 第20回地区年次大会 2020年2月 開催地 高崎予定  
 ⑪ 第32回全国RA研修会 2020年6月 開催地 愛知  
 ⑫ 地区奉仕プロジェクト  
 ⑬ 関東ブロック研修会 2020年6月 開催地 東京

その他ローターアクトの行事に可能な限り参加します

## 5. 事業予算書

収入の部		支出の部	
委員会予算より		負担金	100,000円
ローターアクト振興資金	1,197,000円	(関東ブロック・全国RA)	
ローターアクト年次大会協力金	175,000円	地区行事開催費	600,000円
委員会活動費	50,000円	(年次大会・合同例会等)	
		研修会開催費	100,000円
		地区役員活動費	140,000円
		会議費	50,000円
		印刷費(年次報告書等)	80,000円
		役務費	27,000円
		年次大会協力金	175,000円
		委員会会議費	50,000円
		予備費	100,000円
合 計	1,422,000円	合 計	1,422,000円

## 6. 実績データ

2840地区2019年2月1日現在の状況

クラブ名	提唱RC	2018-2019会長	会員数	創立年月日
桐生RAC	桐生RC	毒島 紗椰	8	1969年6月23日
桐生西RAC	桐生西RC	ガンスフオリギル	10	1990年3月2日
太田RAC	太田RC	竹部 将史	5	1971年7月1日
前橋RAC	前橋RC		2	1970年8月4日
前橋南RAC	前橋南RC	鈴木 藍	12	1995年3月10日
伊勢崎RAC	伊勢崎RC	荒川 和之	6	1970年8月6日
高崎北RAC	高崎北RC		1	1972年6月7日
沼田RAC	沼田RC	金子 諒平	15	1971年10月21日
藤岡RAC	藤岡RC		休会中	1970年10月28日
富岡RAC	富岡RC		休会中	1971年8月11日



## RYLA・学友委員会

委員長 古市 和男(藤岡南)      委員 木村 博(沼田中央)  
副委員長 青木 幸雄(館林東)      担当副幹事 安部 良憲(伊勢崎)  
委員 田村 政一(太田中央)

### 1. 委員会活動の現状認識

RYLAとは、ロータリー青少年指導者育成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards)であります。RYLAプログラムは、14歳以上の子供から成人向けに様々な熟成度とプログラムのニーズに対応した青少年の指導力を開発するためのものであります。そして、学友会は奉仕と親睦を迫及するために結成された組織であり、学友会の第一の目的は、国際ロータリーとロータリー財団への共通の絆を共有する人のために、友情と親睦と奉仕を促進していくことです。

### 2. 委員会事業計画

地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことを目的とした、1泊2日でのロータリー青少年指導者育成プログラムを開催すると共に、学友会の目的である奉仕と親睦を迫及できるよう、学友会名簿作成の継続をしていきます。

### 3. 目標

- ①ロータリーが青少年を尊重し、かつ、青少年に関心を抱いていることを一層明らかにすること。
- ②青少年奉仕活動の中で青少年交換・インターアクト・ローターアクト委員会に次ぎ1971年にRALA委員会が始まりました。他の委員会とも連絡を取合いですぐれたRALA研修を行います。
- ③今回の1泊2日のプログラムを通じて、チームワークとリーダーシップとしてのより高い心構えを持って頂き、そして、新たな友情と良い人格を育むと共に、ロータリーの思いと夢(奉仕の理念と中核的価値観)を伝えます。
- ④学友会の第一目的でもある、国際ロータリーとロータリー財団への共通の絆を共有する人のために、友情と親睦と奉仕を促進していきます。

### 4. タイムスケジュール

委員会：7月、9月開催予定

日程：RALA研修セミナー 2019年10月19日(土)～20日(日)

場所：上州藤岡 諏訪神社



## 5. 事業予算書

収入の部		支出の部	
地区予算 登録料 ¥10,000- (参加者：100名予定) 参加対象者：(インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、職業研修チーム、地区補助金奨学生、米山奨学生、ロータリアン、他)	1,302,000円 1,000,000円	研修費 会場費 宿泊費 事務費 予備費	650,000円 420,000円 1,190,000円 30,000円 12,000円
合 計	2,302,000円	合 計	2,302,000円

## 6. 実績データ

年度・回数	開催日	会場	テーマ
2013-14年度 第13回 (通算33回)	2013.11. 3(日) 登録10：30～ 2013.11. 4 (月・祝)	(研)：赤羽公民会・普濟寺 (宿)：つつじが岡パークイン ホストクラブ：館林RC	「希望を語ろう」 「水の問題から見えてくる、日本の事・世界の事」
2014-15年度 第14回 (通算34回)	2014.10.11(土) 登録10：00～ 2014.10.12(日)	はまゆう山荘 ホストクラブ：高崎セントラルRC	「自然の恵みに感謝して生きる」
2015-16年度 第15回 (通算35回)	2015.10.24(土) 登録10：00～ 2015.10.25(日)	前橋市赤城少年自然の家 ホストクラブ：伊勢崎中央RC	「大自然とふれあおう 青少年・IN Mt. 赤城」
2016-17年度 第16回 (通算36回)	2016.10. 1(土) 登録10：00～ 2016.10. 2(日)	(研)：川場村文化会館 (宿)：なかのビレジ ホストクラブ：沼田中央RC	「共に学ぼう、語ろう、 今を未来を世界に」 in 星降る山紫水明の地 利根沼田
2017-18年度 第17回 (通算37回)	2017.10.28(土) 登録12：30～ 2017.10.29(日)	妙義グリーンホテル ホストクラブ：安中RC	「神秘的な妙義山の麓で、 自然を感じ・考え・そして歩こう」
2018-19年度 第18回 (通算38回)	2018.11.3(土) 登録10：00～ 2018.11. 4(日)	サンコー72カントリークラブ ホストクラブ：高崎RC	「ゴルフを学び、大自然を感じ、 生きる力を考え、そして共生を！」



## 米山記念奨学委員会

委員長	板橋 一博(太 田)	委員	石井 嘉一(高 崎)
副委員長	深井 正毅(藤 岡 北)	委員	林 進(高 崎 東)
副委員長	高沢 克治(伊勢崎中央)	委員	石川 長司(館 林)
委員	石子 恵(前 橋 西)	委員	宮田 美行(沼田中央)
委員	大友 一之(桐 生)	委員	鈴木 均(藤 岡)
委員	加藤 孝一(桐 生 南)	委員	湯井 知昭(富 岡)
委員	矢内 良春(伊勢崎南)	担当副幹事	多部田敬三(伊 勢 崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

米山記念奨学事業は、日本独自のロータリークラブ活動として世界に誇る重要な事業です。日本の34地区の合同奉仕活動である当事業は、ロータリアンから寄せられる寄付金を財源として、優秀な外国人留学生に奨学金を支給しています。当地区は特別寄付金をしてくれる会員数が順調に伸び、その寄付率は全国一位となりました。寄付金額も伸び、受け入れ奨学生の人数も増えてきました。

### 2. 委員会事業計画

年間スケジュールに沿って米山記念奨学委員会の活動を実行し、各委員の交流も行っていきます。

### 3. 目標

- (1) 米山記念奨学会の活動の意義：世界の平和、国際理解、社会奉仕を理解する。
- (2) 米山奨学生を過去に受け入れたことのないクラブを一つでも少なくする。
- (3) 地区(米山委員)と各クラブ(米山委員長)との情報交換

### 4. タイムスケジュール

2019年 8月27日(火)	米山指定校説明会
2019年 9月29日(日)	地区米山研修セミナー 米山記念奨学生カウンセラー研修会
2019年12月 7日(土)	米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション 米山学友会忘年会
2020年 1月18日(土)	米山記念奨学生選考会
2020年 2月29日(土)	米山記念奨学生終了式・奨学生歓送会
2020年 4月18日(土)	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー・オリエンテーション 新規米山記念奨学生オリエンテーション 継続米山記念奨学生資格審査面談
2020年 6月13日(土)	米山学友会総会 米山記念奨学生指定校選定会議

### 5. 実績データ

米山記念奨生の受入れ人数	2017-18年度	21名(新規13名、継続 8名)
(2840地区)	2018-19年度	23名(新規18名、継続 5名)
	2019-20年度	25名(新規16名、継続 9名)



## 第2840地区 米山記念奨学生世話クラブ実績一覧

クラブ名	2015学年度			2016学年度			2017学年度			2018学年度			2019学年度		
	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名	大学名	性別	国名
前橋	前橋工科大学	男	ベトナム	前橋工科大学	男	ベトナム				東京福祉大学	女	中国	東京福祉大学	女	中国
前橋西							群馬大学	女	ネパール	高崎商科大学	男	中国	上武大学	女	ベトナム
前橋東				上武大学	女	中国							前橋工科大学	男	ベトナム
前橋北	前橋工科大学	男	ベトナム	高崎経済大学	女	ミャンマー							群馬大学	女	中国
前橋南				共愛学園 前橋国際大学	女	中国	共愛学園 前橋国際大学	女	中国	高崎商科大学	男	ベトナム			
前橋中央				前橋工科大学	男	ベトナム				群馬大学	男	カンボジア	中国	男	カンボジア
桐生	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	中国	群馬大学	男	中国	群馬大学	女	中国	群馬大学	男	中国
桐生南							群馬大学	女	ベトナム	群馬大学	女	ベトナム	群馬大学	女	モンゴル
桐生西	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	女	カンボジア	群馬大学	女	カンボジア	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	男	ベトナム
				群馬大学	女	ラオス	群馬大学	女	ラオス						
桐生赤城	群馬大学	男	中国				群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	女	モンゴル	群馬大学	女	カンボジア
伊勢崎	群馬県立女子大学	女	セネガル	高崎商科大学	女	ベトナム				東京福祉大学	女	ガーナ	東京福祉大学	女	ガーナ
群馬境	上武大学	女	中国	東京福祉大学	女	中国							関東学園大学	男	インドネシア
伊勢崎中央	高崎商科大学	女	中国	群馬県立女子大学	女	韓国	東京福祉大学	男	中国	関東学園大学	男	ネパール	関東学園大学	男	ネパール
伊勢崎南															
伊勢崎東							前橋工科大学	男	中国						
高崎	共愛学園 前橋国際大学	女	ルーマニア				上武大学	女	中国	東京福祉大学	女	米国	群馬大学	女	中国
高崎南				高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	男	中国			
高崎北	前橋工科大学	男	ベトナム				群馬県立女子大学	女	中国				高崎経済大学	女	ベトナム
高崎東				上武大学	女	ベトナム	上武大学	女	ベトナム	高崎経済大学	女	ベトナム	高崎経済大学	女	ベトナム
高崎シフォン	上武大学	女	ベトナム	上武大学	女	ベトナム							東京福祉大学	女	中国
高崎セントラル										高崎商科大学	女	マレーシア	高崎商科大学	女	マレーシア
太田	群馬大学	男	ベトナム	群馬大学	女	中国	関東学園大学	男	ベトナム	関東学園大学	男	ベトナム	関東学園大学	女	ネパール
太田西	共愛学園 前橋国際大学	男	タイ				関東学園大学	男	ネパール	関東学園大学	男	ネパール	東洋大学	女	インドネシア
太田南															
新田															
太田中央															
館林	高崎経済大学	女	モンゴル	群馬大学	男	中国				東洋大学	女	中国	東洋大学	女	中国
大泉	群馬大学	女	インドネシア												
館林西															
館林東															
館林ミレニアム															
渋川				群馬大学	女	スリランカ	群馬大学	女	スリランカ						
沼田															
草津															
中之条															
沼田中央	高崎経済大学	女	ベトナム	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	マレーシア						
渋川みどり							上武大学	女	中国	高崎経済大学	女	ベトナム	高崎経済大学	女	ベトナム
富岡	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	台湾	上武大学	女	ベトナム	高崎商科大学	女	ベトナム
藤岡							共愛学園 前橋国際大学	女	ベトナム	共愛学園 前橋国際大学	女	ベトナム			
安中	高崎経済大学	男	ドイツ	高崎経済大学	男	ドイツ				高崎経済大学	男	中国	高崎経済大学	男	カンボジア
藤岡北															
富岡中央	高崎経済大学	女	中国	上武大学	男	中国	上武大学	男	中国	前橋工科大学	男	ベトナム	高崎経済大学	女	台湾
碓氷安中	前橋工科大学	男	中国												
藤岡南															
富岡かぶら	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	マレーシア	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	中国	高崎経済大学	女	ベトナム

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



## 年次報告書作成委員会

委員長 伊久間正考(群馬 境)      委員 原澤ふじ子(沼田中央)  
副委員長 西野 宏(高崎ソフオー)      担当副幹事 須藤 正也(伊勢崎)  
委員 岡部 修久(伊勢崎)

### 1. 委員会活動の現状認識

森田ガバナーエレクトの意向を汲み取り、年次報告書のあるべき姿を議論し、現状の問題点を把握することから始め、会員の行動の記録として解りやすく、クオリティーの高い報告書を目指し、まとめて参りたいと思います。

### 2. 委員会事業計画

- ① 森田ガバナーエレクトの意向をヒアリング
- ② 現状の問題点を把握
- ③ 年次報告書のあるべき姿を議論
- ④ 今後のスケジュールと役割分担を策定
- ⑤ ④に従い実行

### 3. 目標

会員の行動の記録として解りやすく、クオリティーの高い報告書を目指す。

### 4. タイムスケジュール

7月中旬 第一回委員会開催

- ① 森田ガバナーエレクトの意向をヒアリング
- ② 現状の問題点を把握
- ③ 年次報告書のあるべき姿を議論
- ④ 今後のスケジュールと役割分担を策定



## 2019-2020年度 地区主要行事予定表

2018	12月1日	土	午後	第1回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館	
	9日	日	午後	米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎	
	9日	日	夕方	米山学友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎	
	15日	土	午前	クラブ運営セミナー	伊勢崎プリオパレス	
	15日	土	午後	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	伊勢崎プリオパレス	
	18日	火	午後	第1回地区研修委員会	伊勢崎プリオパレス	
2019	1月6日	日	午後	第3回ガバナー諮問委員会・GE(森田)社行会	伊勢崎プリオパレス	
	13～19日	日～土		国際協議会	アメリカ・サンディエゴ	
	19日	土		米山記念奨学生 選考会	前橋問屋センター会館	
	19日	土		第1回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所	
	26日	土	午後	会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	前橋問屋センター会館	
	29日	火	午後	第2回地区研修委員会	伊勢崎プリオパレス	
	2月2日	土	終日	地区委員会事業計画協議会	伊勢崎プリオパレス	
	11日	月	午後	新会員セミナー	前橋問屋センター会館	
	16日	土	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE(森田)報告	伊勢崎プリオパレス	
	16日	土	午後	地区チーム研修セミナー	伊勢崎プリオパレス	
	23日	土		ローターアクト年次大会	高崎	
	25日	月	午後	第3回地区研修委員会	伊勢崎プリオパレス	
		土・日		各地IM(8か所)		
	3月2日	土		米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎	
	16～17日	土～日		会長エレクト・幹事エレクト研修セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一	
	23日	土		第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所	
	26日	火	午後	第4回地区研修委員会	伊勢崎プリオパレス	
	4月13日	土	午前	第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス	
	13日	土	午後	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス	
	14日	日		青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館	
	14～18日	日～木		規定審議会	シカゴ	
	20日	土		地区補助金最終審査会	前橋商工会議所	
	21日	日	午前	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー・オリエンテーション	前橋問屋センター会館	
	21日	日	午後	新規米山記念奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館	
	21日	日	午後	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館	
	24日	水	午後	第5回地区研修委員会	伊勢崎プリオパレス	
	5月12日	日	終日	地区研修・協議会	伊勢崎市境総合文化センター・伊勢崎商工会議所・伊勢崎プリオパレス	
	6月1～5日	土～水		国際大会	ドイツ・ハンブルク	
	8日	土	午後	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎	
	8日	土	午後	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎	
	15日	土	午後	第5回ガバナー諮問委員会	館林	
	15日	土	午後	現・新地区役員合同連絡会議	館林	
	16日	日		青少年交換受入学生歓迎会・夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館	
	22日	土	午前	第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス	
	22日	土	午後	地区会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス	
		7月1日	月		森田ガバナー事務所開設	前橋問屋センター会館
					ロータリー財団委員会 全体会議	
					ロータリー財団委員会 正副委員長会議	
		13日	土		インターアクト年次大会	太田市立太田高等学校
		20日	土	午前	第1回ガバナー諮問委員会	伊勢崎プリオパレス
					青少年交換委員会(長期派遣学生社行会)	
		8月3日	土		RLIディスカッションリーダー研修会	前橋問屋センター会館
24日		土	午後	ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス	
24日		土	午後	女性ネットワーク拡大会議	伊勢崎プリオパレス	
24日		土	午後	地区女子会	伊勢崎プリオパレス	



## 2019-2020年度 地区主要行事予定表

	27日	火	午後	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
				青少年交換委員会(長期受入学生歓迎会・派遣学生帰朝報告会)	
	31日	土		群馬県ロータリークラブ野球大会 開会式(予備日9/28)	桃の木川グラウンド
	9月7日	土	午後	第1回新会員セミナー	伊勢崎プリオパレス
	14日	土	午前	第2回ガバナー諮問委員会	伊勢崎プリオパレス
	14日	土	午後	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	22日	日	終日	RLIセミナー Part I	前橋問屋センター会館
	29日	日	午前	米山記念奨学生カウンセラー研修会	前橋問屋センター会館
	29日	日	午後	地区米山研修セミナー	前橋問屋センター会館
	10月14日	月	終日	地区大会記念ゴルフコンペ	軽井沢72ゴルフ東・西コース
	15日～	火	(11/15)	決議審議会	オンライン
	19～20日	土～日		RYLA研修セミナー	上州藤岡 諏訪神社
	20日	日	終日	RLIセミナー Part II	前橋問屋センター会館
	26日	土	午後	地区指導者育成セミナー	伊勢崎プリオパレス
	26日	土	夜	RI会長代理歓迎晩餐会	伊勢崎プリオパレス
	27日	日	終日	地区大会	太田市新田文化会館
	27日	日	夜	懇親会	伊勢崎プリオパレス
				青少年交換派遣学生選考会	
	11月9日	土	午前	ロータリー財団補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	16日	土		群馬県ロータリークラブ野球大会 閉会式(予備日10/20・11/2)	前橋北部運動場
	24日	日	終日	RLIセミナー Part III	前橋問屋センター会館
	12月7日	土	午後	米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎
	7日	土	夕方	米山校友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎
2020	1月11日	土	午後	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会	伊勢崎プリオパレス
	18日	土	終日	米山記念奨学生選考会	伊勢崎プリオパレス
	19～25日	日～土		国際協議会(GE出席)	アメリカ・サンディエゴ
				第1回地区補助金予備審査会	
	2月15日	土	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告	
	15日	土		(山田年度)地区チーム研修セミナー	
				ローターアクト年次大会	
	23日	日	午後	第2840地区創立20周年記念式典	伊勢崎プリオパレス
	29日	土	午後	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎
		土・日		各地IM(8か所)	
	3月14～15日	土・日		(山田年度)会長エレクト・幹事エレクト研修セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	26～29日	木～日		IA海外研修	台湾
				第2回地区補助金予備審査会	
	4月			青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション	
	17～18日	金・土		IA台湾受入	
	18日	土	午前	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー・オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	18日	土	午後	新規米山記念奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	18日	土	午後	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館
	25日	土	午後	第2回新会員セミナー	伊勢崎プリオパレス
				地区補助金最終審査会	
	5月17日	日		(山田年度)地区研修・協議会	前橋商工会議所
	6月6～10日	土～水		国際大会	ホノルル(米国ハワイ州)
	13日	日		米山校友会総会	
	13日	月		米山記念奨学生指定校選定会議	
	20日	土	午後	第5回ガバナー諮問委員会	伊勢崎プリオパレス
	20日	土	午後	現・新地区役員合同連絡会議	伊勢崎プリオパレス
				(山田年度)地区会員増強セミナー	
				青少年交換受入学生歓迎会・夏期交換学生歓迎会	





## 2019-2020年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場所
2020	3	7	土	40	伊勢崎南RC	プラザ・アリア
2020	4	11	土	55	安中RC	ホテル磯部ガーデン
2020	4	19	日	50	群馬境RC	伊勢崎プリオパレス
2020	3	~ 4		20	館林ミレニアムRC	レストランジョイハウス
2020	5	24	日	40	高崎東RC	ホテルメトロポリタン高崎
	未	定		35	前橋南RC	未定

## 2019-2020年度 IM開催予定表

年	月	日	曜日	分 区	場 所
2020	3	28	土	第1分区	
2020	3	29	日	第2分区A	
2020				第2分区B	
2020	2	22	土	第3分区	
2020	4	4	土	第4分区A	
2020				第4分区B	
2020	3	8	日	第5分区	
2020	2	8	土	第6分区	

## 2020-2021(山田)年度 主要行事予定表

年	月	日	曜日	分 区	場 所
2020	2	15	土	地区チーム研修セミナー	
2020	3	14~15	土~日	会長エレクト・幹事エレクト研修セミナー	伊香保 福一
2020	5	17	日	地区研修・協議会	前橋商工会議所
2020	11	14	土	地区指導者育成セミナー RI会長代理歓迎晩餐会	
2020		15	日	地区大会	



第2840地区 2019-2020年度 クラブ会長・幹事 名簿

	会 長	幹 事
第 1 分 区	 <p>前橋 RC きく かわ よし あき <b>菊 川 善 明</b> 菊川工業(株) 代表取締役 TEL:027-224-8686 FAX:027-224-8879</p>	 <p>前橋 RC こ ばやし ひろ き <b>小 林 洋 樹</b> (株)三進 代表取締役社長 TEL:027-268-4567 FAX:027-268-4488</p>
	 <p>前橋西 RC わた なべ とし ひこ <b>渡 邊 敏 彦</b> (株)関国屋 代表取締役 TEL:027-243-6216 FAX:027-243-6208</p>	 <p>前橋西 RC まち だ のぶ ゆき <b>町 田 伸 行</b> (株)英造園 取締役部長 TEL:027-266-8723 FAX:027-267-0120</p>
	 <p>前橋東 RC ふじ かわ たかし <b>藤 川 孝</b> (株)ボルトン 代表取締役 TEL:027-283-9603 FAX:027-283-9804</p>	 <p>前橋東 RC み かわ こう いち <b>三 川 幸 一</b> (株)EX-cel 総合企画 営業部長 TEL:027-226-7377 FAX:027-226-7378</p>
	 <p>前橋北 RC ゆ ざわ こう <b>湯 澤 晃</b> 湯澤晃法律事務所 所長 TEL:027-260-9555 FAX:027-224-6653</p>	 <p>前橋北 RC ひろ き はる ひさ <b>廣 木 晴 久</b> (株)ヒロキコーポレーション 代表取締役 TEL:027-252-7500 FAX:027-252-7515</p>
	 <p>前橋南 RC やま ぎし なお き <b>山 岸 直 樹</b> P-コミュニケーションヤマギシ 代表 TEL:027-263-2483 FAX:027-263-0317</p>	 <p>前橋南 RC じょ しん ぎ <b>徐 信 基</b> (有)オフィスジョナ 代表取締役 TEL:027-388-8905 FAX:027-388-8097</p>
	 <p>前橋中央 RC お ぶち えみ こ <b>小 渕 恵 美 子</b> (有)フラワーギフト花夢 代表取締役 TEL:027-253-9806 FAX:027-253-9620</p>	 <p>前橋中央 RC とう じょう いわお <b>東 城 巖</b> (株)東城建業事務所 代表取締役 TEL:027-261-9647 FAX:027-290-2013</p>
第 2 分 区 A	 <p>桐生 RC す なが ひろ ゆき <b>須 永 博 之</b> (株)ダーウィン 代表取締役社長 TEL:0277-53-0111 FAX:0277-53-0999</p>	 <p>桐生 RC いい づか そう いち <b>飯 塚 莊 一</b> (株)たつきち 代表取締役 TEL:0277-44-3525 FAX:0277-43-9776</p>
	 <p>桐生南 RC ほし の ひさ か <b>星 野 尚 香</b> 星野管工(株) 社長 TEL:0277-54-4005 FAX:0277-53-8448</p>	 <p>桐生南 RC すず き あき ひろ <b>鈴 木 章 弘</b> (有)鈴木モータース 代表取締役 TEL:0277-76-3793 FAX:0277-76-3880</p>
	 <p>桐生西 RC あら き あき お <b>新 木 明 夫</b> (株)ルリ美容 代表取締役 TEL:0277-47-0553 FAX:0277-47-0555</p>	 <p>桐生西 RC やま がた ごう <b>山 形 剛</b> (株)A &amp; Z 代表取締役社長 TEL:0277-53-0358 FAX:0277-73-3947</p>
	 <p>桐生赤城 RC いち かわ たか え <b>市 川 孝 江</b> 市川孝江税理士事務所 所長 TEL:0277-22-8338 FAX:0277-44-7148</p>	 <p>桐生赤城 RC すぎ うら まさ あき <b>杉 浦 正 明</b> 桐生建設(株) 常務取締役 TEL:0277-22-5112 FAX:0277-22-5114</p>



第2840地区 2019-2020年度 クラブ会長・幹事 名簿

	会 長	幹 事
第 2 分 区 B	 <p>伊勢崎 RC ほし の ふみ ひこ <b>星野文彦</b> (有)今村製作所 代表取締役 TEL:0270-63-0660 FAX:0270-63-0752</p>	 <p>伊勢崎 RC はら けい <b>原敬</b> (福)まがたま会 常務理事 TEL:0270-21-2255 FAX:0270-21-6699</p>
	 <p>群馬境 RC ぬま た てつ ひろ <b>沼田哲博</b> (医)鶴谷会 事務長補佐・薬剤師 TEL:0270-74-0670 FAX:0270-74-3775</p>	 <p>群馬境 RC た じま まさ ひろ <b>田島正広</b> 田島保険サービス 社長 TEL:0270-74-9332 FAX:0270-74-9235</p>
	 <p>伊勢崎中央 RC まつ ばら かおる <b>松原香</b> (株)エム・エス・ケー 代表取締役 TEL:0270-30-3456 FAX:0270-30-3457</p>	 <p>伊勢崎中央 RC かみ がき けい いち <b>上柿敬一</b> 上柿建設(株) 代表取締役 TEL:0270-25-5745 FAX:0270-26-1890</p>
	 <p>伊勢崎南 RC ふく しま けい じ <b>福島敬仁</b> (有)福島製作所 代表取締役 TEL:0270-32-2580 FAX:0270-32-7380</p>	 <p>伊勢崎南 RC さい とう かなめ <b>齋藤要</b> 齋藤一級建築士設計事務所 代表 TEL:0270-55-0559 FAX:0270-55-1966</p>
	 <p>伊勢崎東 RC あめ みや やす お <b>雨宮靖男</b> (株)雨宮製作所 専務取締役 TEL:0270-62-6758 FAX:0270-62-6632</p>	 <p>伊勢崎東 RC おお さき ふみ お <b>大崎文男</b> (株)神澤組 常務取締役 TEL:0270-62-1053 FAX:0270-62-1564</p>
第 3 分 区	 <p>高崎 RC ひろ せ まさ み <b>広瀬雅美</b> ヒロパックス(株) 代表取締役社長 TEL:027-343-2111 FAX:027-343-2112</p>	 <p>高崎 RC じん ぐう よし かず <b>神宮嘉一</b> 神宮工業(株) 代表取締役 TEL:027-361-5337 FAX:027-362-9389</p>
	 <p>高崎南 RC たか い かず お <b>高井和雄</b> (有)高井学園 幼保連携型認定こども園 みどり幼稚園 理事長・園長 TEL:027-346-8787 FAX:027-346-5611</p>	 <p>高崎南 RC かわ なべ たか し <b>川鍋太志</b> カワナベ工業(株) 代表取締役 TEL:027-352-9190 FAX:027-353-0086</p>
	 <p>高崎北 RC かわ もと ひろ あき <b>川本裕明</b> (株)群馬総合土地販売 代表取締役社長 TEL:027-323-0009 FAX:027-323-7570</p>	 <p>高崎北 RC こもりや つよし <b>小森谷剛</b> (有)小森谷商店 代表取締役 TEL:027-323-2530 FAX:027-323-8108</p>
	 <p>高崎東 RC し みず ひで や <b>清水英也</b> 清水英也税理士事務所 所長税理士 TEL:027-364-8268 FAX:027-364-8269</p>	 <p>高崎東 RC みず しま たか ひろ <b>水島高弘</b> (株)水島鉄工所 代表取締役社長 TEL:027-361-4010 FAX:027-361-2214</p>
	 <p>高崎シンフォニー RC い い じま よし おみ <b>飯島芳臣</b> ケアサプライシステムズ(株) (介護サーズ) ニューサンピア(株) (ホテル業) 代表取締役 社長 TEL:027-360-5400 FAX:027-352-7060</p>	 <p>高崎シンフォニー RC あ く ざわ い さ お <b>阿久澤公</b> 荒瀬印刷(株) 専務取締役 TEL:027-343-4132 FAX:027-343-8319</p>
	 <p>高崎セントラル RC おお しま ひで お <b>大嶋秀男</b> サクラ建設(株) 代表取締役社長 TEL:027-363-9361 FAX:027-363-9362</p>	 <p>高崎セントラル RC はやし たか ひろ <b>林高弘</b> つばさ法律事務所 所長 TEL:027-310-1088 FAX:027-327-1162</p>

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



第2840地区 2019-2020年度 クラブ会長・幹事 名簿

	会 長	幹 事
第 4 分 区 A	 <p>太田 RC せき ぐち さとる <b>関 口 知</b> (株)関口新聞店 代表取締役 TEL:0276-46-2504 FAX:0276-46-2738</p>	 <p>太田 RC まつ もと たかし <b>松 本 隆</b> (株)システムブレイン 代表取締役社長 TEL:0276-40-1630 FAX:0276-40-1631</p>
	 <p>太田西 RC ふじ い さと こ <b>藤 井 聡 子</b> (株)グリーンバレイスインフォエージェンシー 営業支配人 TEL:0276-32-2111 FAX:0276-32-2112</p>	 <p>太田西 RC やま だ えい てつ <b>山 田 英 哲</b> (有)中央環境メンテナンス 専務取締役 TEL:0276-31-0720 FAX:0276-31-0553</p>
	 <p>太田南 RC あま がさ ひで あき <b>天 笠 秀 昭</b> (有)天一不動産 代表取締役 TEL:0276-45-9356 FAX:0276-46-3438</p>	 <p>太田南 RC おお や つね お <b>大 谷 恒 雄</b> (有)大谷 代表取締役 TEL:0276-45-7569 FAX:0276-45-7569</p>
	 <p>新田 RC き むら あき よし <b>木 村 昭 善</b> 新田電設(株) 代表取締役 TEL:0276-57-0179 FAX:0276-57-1720</p>	 <p>新田 RC いな だ しん しょう <b>稲 田 信 昌</b> 長慶寺 住職 TEL:0276-56-8646 FAX:0276-56-8647</p>
	 <p>太田中央 RC はぎ わら ゆき ひろ <b>萩 原 由 大</b> コーワ(株) 代表取締役 TEL:0276-37-3340 FAX:0276-37-5091</p>	 <p>太田中央 RC こいたばし つとむ <b>小 板 橋 勉</b> (株)カワムラ 代表取締役 TEL:0276-37-8030 FAX:0276-37-8032</p>
第 4 分 区 B	 <p>館林 RC まつ もと こう じ <b>松 本 耕 司</b> 館林美化センター(株) 社長 TEL:0276-75-2200 FAX:0276-75-2379</p>	 <p>館林 RC しお さわ つとむ <b>渋 澤 勉</b> (株)ミルクカンパニー館林 社長 TEL:0276-72-3161 FAX:0276-75-3887</p>
	 <p>大泉 RC すぎ もと やす のり <b>杉 本 保 典</b> (福)三吉 理事長 TEL:0276-63-7313 FAX:0276-63-7361</p>	 <p>大泉 RC はち り たか し <b>八 里 隆 司</b> (株)中道組 関東支店 取締役支店長 TEL:0276-62-3355 FAX:0276-62-2911</p>
	 <p>館林西 RC もり と り いち <b>森 戸 利 一</b> (有)北関東観光 代表取締役社長 TEL:0276-88-2036 FAX:0276-88-1222</p>	 <p>館林西 RC たて の まさ お <b>館 野 正 夫</b> タテック(株) 取締役 TEL:0276-88-3915</p>
	 <p>館林東 RC かわ しま まさる <b>川 島 勝</b> (有)カワシマコーポレーション 代表 TEL:0276-80-2100 FAX:0276-80-2101</p>	 <p>館林東 RC い と う ひろ ゆき <b>伊 藤 寛 之</b> 弁護士法人 AIT 医療総合法律事務所 茗荷屋オフィス 代表社員 TEL:052-211-7272 FAX:052-211-7273</p>
	 <p>館林ミレニアム RC せき ぐち りょう じ <b>関 口 亮 二</b> 関口保険設計事務所 所長 TEL:0276-74-5351 FAX:0276-74-5351</p>	 <p>館林ミレニアム RC つば い なお よし <b>坪 井 直 良</b> 大道寺 住職 TEL:0276-72-1988 FAX:0276-72-7063</p>
第 5 分 区	 <p>渋川 RC うら の ただ お <b>浦 野 忠 夫</b> (有)アーク 代表取締役 TEL:0279-60-5577 FAX:0279-60-5599</p>	 <p>渋川 RC しお かわ か ね こ <b>塩 川 香 峰 子</b> (公財)竹久夢二伊香保記念館 理事長 TEL:0279-72-4788 FAX:0279-72-2661</p>
	 <p>沼田 RC いま い こう きち <b>今 井 幸 吉</b> (有)小松屋 代表取締役 TEL:0278-22-4222 FAX:0278-22-5509</p>	 <p>沼田 RC しお うら ひろ のり <b>塩 浦 敬 之</b> 利根西部運送(株) 代表取締役 TEL:0278-23-0138 FAX:0278-23-0137</p>



第2840地区 2019-2020年度 クラブ会長・幹事 名簿

	会 長	幹 事
第 5 分 区	 <p>草津 RC そのだ けい いち <b>園 田 恵 一</b> 園田会計事務所 代表 TEL:0279-88-9111 FAX:0279-88-9999</p>	 <p>草津 RC しむら おさむ <b>志 村 修</b> e-gakko ウェブの泉パソコン教室 代表 TEL:0279-88-6933 FAX:0279-82-1140</p>
	 <p>中之条 RC やま だ のぶ ゆき <b>山 田 信 行</b> (株)やまだ屋 会長 TEL:0279-68-2634 FAX:0279-68-4887</p>	 <p>中之条 RC やま もと まさ お <b>山 本 政 雄</b> (株)中之条パワー 代表取締役 TEL:0279-25-8072 FAX:0279-25-8092</p>
	 <p>沼田中央 RC あか い ゆき お <b>赤 井 幸 夫</b> 赤井幸夫税理士事務所 代表 TEL:0278-25-4188 FAX:0278-25-4189</p>	 <p>沼田中央 RC いし ざか かず お <b>石 坂 一 男</b> 沼田自動車教習所 取締役 TEL:0278-24-4811 FAX:0278-23-7960</p>
	 <p>渋川みどり RC ちか うち ひさ し <b>近 内 尚 志</b> (株)近内測量設計事務所 代表取締役 TEL:0279-23-0080 FAX:0279-23-0860</p>	 <p>渋川みどり RC こ ばやし まさ き <b>小 林 政 貴</b> 小林製工運送(株) 代表取締役 TEL:0279-52-2346 FAX:0279-52-2642</p>
第 6 分 区	 <p>富岡 RC もて き りゅう じ <b>茂 木 龍 治</b> 茂木プレス工業(株) 代表取締役 TEL:0274-62-4351 FAX:0274-62-4355</p>	 <p>富岡 RC い と う よし のり <b>伊 藤 好 則</b> 伊藤石油ガス(株) 代表取締役 TEL:0274-62-2611 FAX:0274-64-1527</p>
	 <p>藤岡 RC いし だ ひとし <b>石 田 均</b> (株)ポラリス 代表取締役 TEL:027-326-5148 FAX:027-326-5185</p>	 <p>藤岡 RC やま ぐち まさ ひこ <b>山 口 昌 彦</b> (株)イノウエ建設工業 代表取締役 TEL:0274-52-2352 FAX:0274-52-5152</p>
	 <p>安中 RC み よし けん せい <b>三 好 建 正</b> 美と建築・三好設計事務所 所長 TEL:027-385-6136 FAX:027-385-0534</p>	 <p>安中 RC ま ぎき たか お <b>間 寄 孝 雄</b> 間寄税務会計事務所 税理士 TEL:027-384-2220 FAX:027-384-2221</p>
	 <p>藤岡北 RC ふえ き しゅん いち <b>笛 木 俊 一</b> (株)フェギ・ゆうあいホーム 代表取締役・施設長 TEL:0274-43-1012 FAX:0274-50-4112</p>	 <p>藤岡北 RC ふか い まさ き <b>深 井 正 毅</b> 深井養魚場 代表取締役 TEL:0274-42-0008 FAX:0274-42-0437</p>
	 <p>富岡中央 RC よこ お まつ き <b>横 尾 真 喜</b> ヨコオ自動車 代表 TEL:0274-74-3059 FAX:0274-74-5360</p>	 <p>富岡中央 RC う え まつ たけ お <b>植 松 武 雄</b> 丹生保育園 理事 TEL:0274-67-3406 FAX:0274-67-3406</p>
	 <p>碓氷安中 RC わ だ まさ ゆき <b>和 田 雅 之</b> (宗)映前神社 宮司 TEL:027-381-2726 FAX:027-381-4590</p>	 <p>碓氷安中 RC し ずか と も ひと <b>静 朋 人</b> (株)並木 代表取締役 TEL:027-382-0730 FAX:027-381-1125</p>
	 <p>藤岡南 RC ひら いずみ あき と <b>平 泉 照 人</b> 金光寺 副住職 TEL:0274-22-0369 FAX:0274-24-4819</p>	 <p>藤岡南 RC い ま い たけ し <b>今 井 剛 志</b> (有)今井工業所 代表取締役 TEL:0274-22-4031 FAX:0274-22-0667</p>
	 <p>富岡かぶら RC と み た あき ひと <b>富 田 昭 仁</b> (有)西毛リースキン 代表取締役 TEL:0274-74-4115 FAX:0274-74-5737</p>	 <p>富岡かぶら RC い と う しゅう いち <b>伊 藤 修 一</b> (株)アイ・シー・シー 代表取締役 TEL:0274-67-5191 FAX:0274-67-5192</p>

地区組織・クラブ会長・幹事名簿



## ガバナー賞へのエントリー

2019-2020年度に実施されました各クラブの事業の中から、特に国際社会や地域社会への貢献、公共イメージの向上、クラブの会員基盤強化に寄与されました事業、並びに地区テーマでありますクラブ改革を实践されたクラブに対しましてガバナー賞の贈呈をさせていただきます。

最終的な締め切りを2020年6月10日とさせていただきますが、2019年7月31日までに、所定のエントリー用紙にて予めエントリーしていただきますよう、お願い申し上げます。

### [ガバナー賞]

- |               |          |
|---------------|----------|
| I 奉仕活動部門      | 最優秀賞・優秀賞 |
| II 公共イメージ向上部門 | 最優秀賞・優秀賞 |
| III 会員基盤向上部門  | 最優秀賞・優秀賞 |
| IV クラブ改革部門    | 最優秀賞・優秀賞 |

### [事前エントリー]

2019.7.31締切 所定のエントリー用紙にて、期限までにガバナー事務所宛て、メールまたはFAXにてエントリーして下さい。

### [本エントリー]

2020.6.10締切 所定のエントリー用紙に活動の具体的内容を記述して、期限までにガバナー事務所宛て、メールまたはFAXにてエントリーして下さい。



国際ロータリー 第2840地区 2019-2020年度

## ガバナー公式訪問要領

ガバナー 森田 高史

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか1名の計3～4名が原則訪問します。
3. 公式訪問前クラブ協議会の実施  
ガバナー補佐は、公式訪問前2週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。  
また、その結果を所定の様式にて公式訪問の1週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明  
ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを10分～15分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. 公式訪問の進め方
  - (1) クラブ役員との懇談会〔例会前50分〕  
会長・幹事・会長エレクト・クラブ研修リーダー・副会長・会員増強委員長・公共イメージ委員長・クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト・ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
  - (2) 例会  
ガバナースピーチとして25分程度時間を割いてください。
  - (3) クラブ協議会〔例会後60分〕  
懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。
    - ① クラブの課題
    - ② クラブの目標(特に会員増強計画)の進捗状況
    - ③ 地区運営に関するクラブのご意見



6. タイムスケジュール

- I. クラブ役員との懇談会……………50分
- II. 休憩・移動……………15分
- III. 例会……………60分
- IV. 休憩・移動……………10分
- V. クラブ協議会……………60分

7. 公式訪問の目的は、ガバナー自身が地区内の各クラブを以下の目的をもって訪問する  
ものであります。

- 1. ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
- 2. 弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
- 3. 奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
- 4. クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
- 5. 顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。

8. 各クラブは現況報告書(5部)を8月31日までにガバナー事務所に提出してください。  
9月13日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問2週間前までに提出してくださ  
い。





## 第2840地区 2019-2020年度 ガバナー公式訪問日程表

日曜日		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
8月	25	26		27	安 中	28	太田西	29	草 津	30		31	RC野球大会開会式

9月	1	2	伊勢崎東	3	館林西	4		5	碓氷安中	6		7	第1回 新会員セミナー	
	8	9		10	藤岡北	11	前橋中央	12	富岡中央	13	藤岡南	14	第2回ガバナー 諮問委員会 第3回ガバナー 補佐委員長合同会議	
	15	16		17	中之条	18	桐生南	19	館林ミレニアム	20	太田中央	21		
	22	RLI Part 1	23		24	渋川みどり	25	新 田	26	群馬境	27	高崎シンフォニー	28	
	29		30	桐 生										

10月				1	伊勢崎南	2	富 岡	3	前橋東	4		5		
	6		7	前橋北	8	富岡かぶら	9	大 泉	10	藤 岡	11	前橋西	12	
	13		14	地区大会 記念ゴルフ	15	高崎南(昼) 高崎セントラル	16	前橋南	17	高崎東	18	桐生西	19	
	20	RLI Part 2	21		22		23		24	伊勢崎中央	25		26	地区指導者 育成セミナー RI会長代理晩餐会
	27	地区大会	28		29	桐生赤城	30	高崎北	31	沼田中央				

11月										1		2		
	3		4		5	太田南	6		7		8	館 林	9	ロータリー財団 補助金管理 セミナー
	10		11		12	沼 田	13	館林東	14	渋 川	15		16	RC野球大会閉会式
	17		18		19		20		21	太 田	22		23	
	24	RLI Part 3	25	高 崎	26	前 橋	27	伊勢崎	28		29		30	



国際ロータリー 第2840地区 2019-2020年度

## IM 開催要領

ガバナー 森田 高史

2019-2020年度 地区テーマ

### 『クラブ イノベーション』

CLUB INNOVATION

—クラブの将来像を明確にし クラブ改革を実践しよう—

#### 1. IMの目的

本年度、マーク・マローニー RI会長のテーマは、「ROTARY CONNETCTS THE WORLD」(ロータリーは世界をつなぐ)であります。

すべてのファミリーがつながり、ロータリーネットワークのインフラが国連を含む世界とつながる、というものであります。

また、最も強調されていることは、ロータリー活動はクラブが中心であり、クラブそのものを変えていかなければ、将来に渡るロータリーの発展はない、というものであります。

今こそ、それぞれのロータリークラブが、クラブの将来像を明確にして、それぞれのクラブ自治権を行使して、クラブの改革を実践していくことが、強く求められております。

「クラブのあり方を変えることがロータリーの未来を開く」というものであります。

こうしたRI会長のテーマを受けて、本年度のIMは、ロータリアン1人1人が将来のロータリーの在り方やクラブの在り方を協議・討論することによって、それぞれに考えて頂き、それぞれの将来のロータリー像やクラブ像をイメージして頂くことを目的したいと思います。

#### 2. 開催

(1) 主 催：ガバナー補佐

(2) ホストクラブ：ガバナー補佐輩出クラブ

(3) 地区予算：1分区 80,000円

(4) 対象者：分区内会員

(クラブ役員や新会員も含め、全会員に出席を奨励してください)

(5) 形式：分区単独でも合同でも結構です

#### 3. プログラム(例)

(1) 日時：土曜日または日曜日 午後3時～

(2) 基調講演：ガバナーまたはパストガバナー(30分以内)

(3) スタイル：クラブ代表やパストガバナー等によるパネルディスカッション・



フォーラムもしくはRLI方式による双方向討論(120分以内)各クラブの事例発表を取り入れても結構ですが、例年実施している分区については、上記のスタイルを推奨します。

(4) 交流懇親会：各クラブ間の交流が深まるような配席をお願いします。

#### 4. 開催テーマ

クラブ イノベーション

CLUB INNOVATION

—クラブの将来像を明確にして クラブ改革を実践しよう—

#### 5. キーワード

- |                     |                |                      |
|---------------------|----------------|----------------------|
| (1) 戦略計画            | (12) 新しい形式のクラブ | (23) マイロータリー         |
| (2) 研修計画            | (13) シニアリーダー   | (24) ロータリークラブセントラル   |
| (3) クラブ裁量権          | (14) 特別会員制     | (25) インターアクト         |
| (4) クラブ自治権          | (15) 会費の減免     | (26) ローターアクト         |
| (5) クラブ定款           | (16) 高齢会員      | (27) 各学友会            |
| (6) クラブ細則           | (17) 新会員       | (28) 柔軟性             |
| (7) クラブライフ          | (18) 女性会員      | (29) 不十分な参加          |
| (8) 楽しい例会           | (19) 入会金の要否    | (30) エンゲイジメント(関係させる) |
| (9) 意義ある奉仕活動        | (20) 例会頻度      | (31) 変化に立ちはだかるロータリアン |
| (10) 規則遵守よりも特色あるクラブ | (21) 出席免除      | (32) ロータリーストーリー      |
| (11) 開放的な組織運営       | (22) SNS・IOT   | (33) その他             |

#### 6. 開催時期

2020年1月下旬から4月中旬までの日程で開催してください。

#### 7. その他

地区役員につきましては、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーガバナー年度の地区幹事にご案内頂きたいと思っております。

可能な限り登録料制にさせていただければ幸甚です。



## 「ロータリーデー」を開催しよう

会員を増やし、ロータリーの重要な活動を多くの人に知ってもらうため、バリー・ラシン会長は、楽しくて情報豊かな「ロータリーデー」を開催するよう全世界のクラブと地区に呼びかけています。



2018-2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

「ロータリーデー」は、

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブが日々行っている活動を地域の人びとに紹介するために、地元イベントとしていつでも開催できます。変化をもたらし、市民と結びつきを育み、入会への関心を高め、ロータリーのイメージ向上を図るチャンスとなるのが、ロータリーデーです。世界35,000のロータリークラブ、10,000のローターアクトクラブ、22,000のインターアクトクラブが、地元市民、友人、若い世代、他団体が参加できる行事を開催したら、世界でどれほど大きな影響をもたらせるか想像してください。クラブと地域社会のつながりを築き、変化への行動力を生み出すためにロータリーデーを実施してみませんか。

**大胆な発想でロータリーをアピールしましょう。**

### ロータリーデー開催のヒント

- イベントの一環として、参加型の奉仕プロジェクトを実施する。これにより参加者は、地域社会に好ましい影響を与えるロータリーの活動を直に体験することができます。
- 興味深い話のできる講演者、著名人、音楽家など、参加者の関心と呼ぶゲストを招く。
- 食べ物を提供するイベントを行う場合は、社交的な食事より、バーベキュー大会のような堅苦しくない方法を選ぶ。
- ロータリーの重点分野に関連する地域社会の課題に取り組む活動を盛り込む。
- 参加料は低く設定する。地元の企業にスポンサーとなってもらうことも一案です。
- 家族で参加しやすいイベントにする。
- ロータリーの専門用語や、ロータリーだけで通用するような慣行は避ける。
- 「交友関係を広げ、アイデアや意見を交わし、行動を起こすことで地元地域や世界に貢献できる」というロータリーの魅力を感じてもらうイベントとする。
- 地元のロータリー会員、ローターアクター、インターアクター、その他の地域社会のメンバーが重要な人道的貢献を行った例を紹介する。
- ロータリーの奉仕の理念を実践している地域社会の人を表彰、または紹介する。
- 他団体や地元企業との協賛でイベントを実施し、より大きな影響を地域社会にもたらす。
- 地元のメディアに、イベントの情報や記事を掲載、または放送してもらう。
- 参加者の連絡先を記録し、イベント後に例会やクラブの行事に招待する。



## 10月24日は「世界ポリオデー」

### ■世界ポリオデーとは

10月24日は、ポリオワクチンを発明したジョナス・ソーク博士の誕生日であり、ポリオ根絶に取り組む様々な団体のポリオ根絶への貢献を周知し、ポリオフリーな世界の実現に向け、さらなる支援を呼びかける「世界ポリオデー」です。



### ■世界のポリオの現状

ポリオとは、ポリオウイルスが腸内で増加することで発症する病気で、乳幼児に多く、主に手や足に麻痺が現れることから「小児まひ」とも言われます。ワクチンの普及によって1988年には125カ国の国でポリオが流行していたのに対し、2016年にはポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国のみとなりました。ポリオは、1980年に根絶された天然痘に次いで、人類史上2番目に“根絶可能な病気”といわれています。

### ■「世界ポリオデー」イベント実施が大切な理由

#### — 各地で一斉にイベントを開こう —

世界ポリオデーにちなんでその前後にイベントを行うことは、なぜ重要なのでしょうか。

#### 1. 一斉に推進して認識向上の効果アップ

メディアは「…の日」とか「…デー」の話題を好みます。各地の世界ポリオデーイベントが集中的にメディアに取り上げられれば、ネット上やニュースに「ポリオ」という文字が多くなります。短期間にあちこちで「ポリオ」という言葉を目にすれば、「ポリオって何？」という疑問をもって調べる人も出てくるでしょう。関心や記憶にとどめてもらうには、「繰り返し」目にしてもらうのが効果的です。

#### 2. 「みんなで寄付」

最近では日本でも寄付をしたいと考える人が増えています。金額は小さくても、例えば「1クリックで1円」のように、少しずつ寄付をして人のために役立ちたいと考えているのです。「世界中の人が共通の目標のために寄付する日」とあれば、「自分も…」と寄付しようとする人が出てくるでしょう。

#### 3. ポリオ撲滅活動のパイオニア

世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)のパートナー団体であるWHO(世界保健機関)、UNICEF(国際児童基金)、CDC(米国疾病対策センター)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団も、それぞれに「世界ポリオデー」を推進します。しかし、ロータリーは何とんでもポリオ撲滅活動の先駆者。率先して模範を示す必要があります。

#### 4. グローバルな運動

ポリオ撲滅運動がそうであるように、「世界ポリオデー」は、日本だけでなくグローバルに設定された日です。イベントや活動を計画し、その内容をこちらのフォームに入力すれば、日本からもこの運動に大勢が参加していることを世界に示すことができます。



## 歴代国際ロータリー会長・テーマ

年度	R I 会長	出身地	テ ー マ	国際大会 開催地
2000-01	フランク J. デ布林	メ キ シ コ	意識を喚起し一進んで行動を	ア メ リ カ サンアントニオ
2001-02	リチャード D. キング	ア メ リ カ	人類が私たちの仕事	ス ペ イ ン バルセロナ
2002-03	ビチャイ・ラタクル	タ イ	慈愛の種を播きましょう	オーストラリア ブリスベーン
2003-04	ジョナサン B. マジャアベ	ナイジェリア	手を貸そう	日 本 大阪
2004-05	グレン E. エステス・シニア	ア メ リ カ	ロータリーを祝おう	ア メ リ カ シ カ ゴ
2005-06	カール・ヴィルヘルム・ステンハマー	スウェーデン	超我の奉仕	デンマーク コペンハーゲン スウェーデン マルメ
2006-07	ウィリアム B. ボイド	ニュージーランド	率先しよう	ア メ リ カ ソルトレークシティ
2007-08	ウィルフリッド J. ウィルキンソン	カ ナ ダ	ロータリーは分かちあいの心	ア メ リ カ ロサンゼルス
2008-09	李東建(ディー・ケー・リー)	韓 国	夢をかたちに	イ ギ リ ス バーミンガム
2009-10	ジョン・ケニー	スコットランド	ロータリーの未来は あなたの手の手に	カ ナ ダ モントリオール
2010-11	レイ・クリンギンスミス	ア メ リ カ	地域を育み、大陸をつなぐ	ア メ リ カ ニューオーリンズ
2011-12	カルセン・パネルジー	イ ン ド	こころの中を見つめよう 博愛を広げるために	タ イ バンコク
2012-13	田 中 作 次	日 本	奉仕を通じて平和を	ポルトガル リスボン
2013-14	ロン D. バートン	ア メ リ カ	ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を	オーストラリア シドニー
2014-15	ゲイリー C.K. ホァン	台 湾	ロータリーに輝きを	ブラジル サンパウロ
2015-16	K.R. “ラビ”ラビンドラン	スリランカ	世界への プレゼントになろう	韓 国 ソウル
2016-17	ジョン F. ジャーム	ア メ リ カ	人類に奉仕するロータリー	ア メ リ カ アトランタ
2017-18	イアン・ライズリー	オーストラリア	ロータリー：変化をもたらす	カ ナ ダ トロント
2018-19	バリー・ラシン	バ ハ マ	インスピレーションになろう	ド イ ツ ハンブルグ
2019-20	マーク・ダニエル・マローニー	ア メ リ カ	ロータリーは世界をつなぐ	ア メ リ カ ハワイ



## 歴代ガバナー・ガバナー補佐・地区研修協議会・地区大会一覧

2000-2001	ガバナー		アシスタントガバナー
<p style="text-align: center;"><b>関 口 隆(前橋西)</b></p> <p style="text-align: center;">楽しくて有意義なクラブライフを目指して</p> <p>地区協議会 2000. 5.28 グランドベルズ前橋</p> <p>地区大会 2001. 4.14 ~ 15 群馬県民会館</p>	第1分区	柳 岡 勤(前橋南)	
	第2分区	小須田 寿太郎(群馬境)	
	第3分区	藤 木 行 芳(高崎東)	
	第4分区	北 村 彪(太田)	
	第5分区	塩 野 栄 一(沼田中央)	
2001-2002	ガバナー		アシスタントガバナー
<p style="text-align: center;"><b>清 章 司(藤岡)</b></p> <p style="text-align: center;">奉仕こそステータス！</p> <p>地区協議会 2001. 5.28 ホテルメトロポリタン高崎</p> <p>地区大会 2001.10.20 ~ 21 藤岡市みかぼみらい館</p>	第1分区	曾 我 孝 之(前橋)	
	第2分区	樋 口 一 枝(桐生中央)	
	第3分区	一 柳 一 男(藤岡北)	
	第4分区	柳 瀬 浩(館林西)	
	第5分区	池 原 透(中之条)	
2002-2003	ガバナー		アシスタントガバナー
<p style="text-align: center;"><b>矢 野 亨(桐生西)</b></p> <p style="text-align: center;">慈愛の心で行動を</p> <p>地区協議会 2002. 4.21 桐生市市民文化会館</p> <p>地区大会 2002.10.19 ~ 20 桐生市市民文化会館</p>	第1分区	福 田 一 良(前橋西)	
	第2分区	加 久 裕 士(伊勢崎中央)	
	第3分区	小 林 弘(高崎シンフォニー)	
	第4分区	須 永 武 兵(新田)	
	第5分区	船 曳 甫(渋川)	
2003-2004	ガバナー		アシスタントガバナー
<p style="text-align: center;"><b>森 田 均(渋川)</b></p> <p style="text-align: center;">思いやりの心で「手を貸そう」</p> <p>地区協議会 2003. 5.18 渋川市民会館</p> <p>地区大会 2003.10.18 ~ 19 渋川市民会館</p>	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区	金 井 栄 則(桐生赤城)	
	第3分区	吉 田 宗 夫(高崎南)	
	第4分区	佐 藤 珠 夫(館林東)	
	第5分区	阿 形 登 氏(沼田)	
	第6分区	田 島 正 夫(富岡中央)	
2004-2005	ガバナー		アシスタントガバナー
<p style="text-align: center;"><b>山 崎 學(高崎南)</b></p> <p style="text-align: center;">新たなる100年に向けて……基本に戻ろう！</p> <p>地区協議会 2004. 5. 8 グランドパティオ高崎</p> <p>地区大会 2004.10.23 ~ 24 群馬音楽センター</p>	第1分区	田 村 榮 一(前橋北)	
	第2分区	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	吉 井 孝 夫(高崎)	
	第4分区	蛭 田 義 徳(太田中央)	
	第5分区	塚 越 裕 子(渋川みどり)	
	第6分区	大 手 雅 晶(碓氷安中)	
2005-2006	ガバナー		ガバナー補佐
<p style="text-align: center;"><b>曾 我 隆 一(前橋)</b></p> <p style="text-align: center;">奉仕の第2世紀へ向けて</p> <p>地区協議会 2005. 4.16 グランドパティオ高崎</p> <p>地区大会 2005.10.14 ~ 15 マーキュリーホテル</p>	第1分区	神 山 健(前橋東)	
	第2分区A	森 喜美男(桐生)	
	第2分区B	猪 俣 健(伊勢崎南)	
	第3分区	広 田 誠四郎(高崎東)	
	第4分区A	岩 井 雄二郎(太田南)	
	第4分区B	川 生 宏(館林ミレニアム)	
第5分区	直 井 宏 司(草津)		
第6分区	松 倉 紘 洋(富岡)		
2006-2007	ガバナー		ガバナー補佐
<p style="text-align: center;"><b>津久井 義 孝(太田)</b></p> <p style="text-align: center;">この年度を契機として</p> <p>地区協議会 2006. 4.23 ティアラグリーンパレス</p> <p>地区大会 2006.10.13 ~ 14 ティアラグリーンパレス</p>	第1分区	竹 内 洋 光(前橋南)	
	第2分区A	大 友 昭 久(桐生南)	
	第2分区B	松 本 好 夫(伊勢崎東)	
	第3分区	金 井 功(高崎セントラル)	
	第4分区A	梶 塚 喜 作(新田)	
	第4分区B	野 辺 昌 弘(館林)	
第5分区	北 野 浩司郎(沼田中央)		
第6分区	赤 尾 佳 泰(藤岡)		



2007-2008	ガバナー		ガバナー補佐
横山 公一(沼田)	第1分区	井上 芙美子(前橋中央)	
	第2分区A	笠原 康利(桐生中央)	
	第2分区B	菊池 榮作(伊勢崎)	
	第3分区	安藤 震太郎(高崎北)	
	第4分区A	中村 康夫(太田西)	
	第4分区B	野間 政弘(大泉)	
地区協議会	2007.5.12 利根沼田文化会館	第5分区	新井 尚文(中之条)
地区大会	2007.10.13～14 利根沼田文化会館	第6分区	須永 勝(安中)
2008-2009	ガバナー		ガバナー補佐
松倉 紘洋(富岡)	第1分区	山田 美光(前橋)	
	第2分区A	町田 裕一(桐生赤城)	
	第2分区B	小澤 昭次(群馬境)	
	第3分区	佐藤 昭一(高崎シンフォニー)	
	第4分区A	松本 博(太田)	
	第4分区B	新井 武夫(館林西)	
地区協議会	2008.5.10 富岡市正垣学習センター	第5分区	永井 勇(渋川)
地区大会	2008.11.7～8 富岡市かぶら文化ホール	第6分区	一柳 一男(藤岡北)
2009-2010	ガバナー		ガバナー補佐
牛久保 哲男(伊勢崎)	第1分区	千木良 芳明(前橋西)	
	第2分区A	八木橋 祥价(桐生)	
	第2分区B	山崎 泰男(伊勢崎中央)	
	第3分区	田島 五郎(高崎南)	
	第4分区A	石塚 栄(太田中央)	
	第4分区B	石井 信義(館林東)	
地区協議会	2009.5.16 伊勢崎市文化会館	第5分区	阿形 登氏(沼田)
地区大会	2009.10.17～18 伊勢崎市文化会館	第6分区	伊原 喜久雄(富岡中央)
2010-2011	ガバナー		ガバナー補佐
福田 一良(前橋西)	第1分区	相澤 克也(前橋東)	
	第2分区A	川堀 良治(桐生南)	
	第2分区B	是澤 久正(伊勢崎南)	
	第3分区	羽鳥 修司(高崎)	
	第4分区A	清水 親男(太田南)	
	第4分区B	川生 宏(館林ミレニアム)	
地区協議会	2010.5.9 ロイヤルチェスター前橋	第5分区	佐藤 徳三(渋川みどり)
地区大会	2010.10.9～10 ベイシア文化ホール	第6分区	大手 雅晶(碓氷安中)
2011-2012	ガバナー		ガバナー補佐
安藤 震太郎(高崎北)	第1分区	廣山 武雄(前橋北)	
	第2分区A	家住 慧路(桐生西)	
	第2分区B	谷 彰良(伊勢崎東)	
	第3分区	山本 豊(高崎東)	
	第4分区A	荻原 泉(新田)	
	第4分区B	齊藤 要(館林)	
地区協議会	2011.5.14 高崎経済大学	第5分区	飯島 啓一(草津)
地区大会	2011.10.8～9 群馬音楽センター	第6分区	豊川 一男(藤岡南)
2012-2013	ガバナー		ガバナー補佐
足田 博之(桐生)	第1分区	永井 豊(前橋南)	
	第2分区A	森下 正教(桐生中央)	
	第2分区B	藤生 政雄(伊勢崎)	
	第3分区	三井田 賢一(高崎セントラル)	
	第4分区A	竹内 正幸(太田)	
	第4分区B	星野 薫(大泉)	
地区協議会	2012.4.22 桐生市市民文化会館	第5分区	浅川 忠良(沼田中央)
地区大会	2012.10.13～14 桐生市市民文化会館	第6分区	野村 義祐(富岡かぶら)





2013-2014	ガバナー		ガバナー補佐	
本田博己(前橋)		第1分区	北爪國平(前橋中央)	
		第2分区A	星野榮助(桐生赤城)	
		第2分区B	久保勲(伊勢崎中央)	
希望を語ろう!		第3分区	浅田千秋(高崎北)	
		第4分区A	五十嵐敏明(太田西)	
		第4分区B	大越正禎(館林西)	
地区協議会	2013.5.12	前橋商工会議所	第5分区	町田久(渋川)
地区大会	2013.10.26~27	ベイシア文化ホール	第6分区	荻野勝美(富岡)
2014-2015	ガバナー		ガバナー補佐	
竹内正幸(太田)		第1分区	山田邦子(前橋)	
		第2分区A	竹内靖博(桐生)	
		第2分区B	布施光一(群馬境)	
「異体同心」友情と奉仕の心 築き上げよう「46のロータリー物語」		第3分区	吉本賢二(高崎シンフォニー)	
		第4分区A	荒牧功二(太田中央)	
		第4分区B	佐藤珠夫(館林東)	
地区研修・協議会	2014.4.19	ティアラグリーンパレス	第5分区	松野正一(沼田)
地区大会	2014.8.9~10	新田文化会館エアリスホール	第6分区	岩崎敏夫(藤岡)
2015-2016	ガバナー		ガバナー補佐	
生方彰(沼田中央)		第1分区	平田育夫(前橋西)	
		第2分区A	薊勝・船山克人(桐生南)	
		第2分区B	下田進(伊勢崎南)	
奉仕・真実・喜び		第3分区	佐藤修(高崎南)	
		第4分区A	山田邦夫(太田南)	
		第4分区B	関口亮二(館林ミレニアム)	
地区研修・協議会	2015.5.17	利根沼田文化会館	第5分区	松野正一(沼田)
地区大会	2015.10.17~18	利根沼田文化会館	第6分区	堀口正孝(安中)
2016-2017	ガバナー		ガバナー補佐	
豊川一男(藤岡南)		第1分区	佐藤信一(前橋東)	
		第2分区A	阿佐美博(桐生西)	
		第2分区B	赤堀賢二(伊勢崎東)	
点から面へ さらに世界へ — 広げよう〈友情と奉仕の〉和・輪 —		第3分区	市川豊行(高崎)	
		第4分区A	星野正義(新田)	
		第4分区B	宮内敦夫(館林)	
地区研修・協議会	2016.5.22	藤岡市みかばみらい館	第5分区	岸権三郎(渋川みどり)
地区大会	2017.4.15~16	ベイシア文化ホール	第6分区	大塚慶甫(藤岡北)
2017-2018	ガバナー		ガバナー補佐	
田中久夫(高崎)		第1分区	大島秀夫(前橋北)	
		第2分区A	遠藤二三男(桐生中央)	
		第2分区B	森田高史(伊勢崎)	
ロータリーのある人生を誇りにしよう		第3分区	永井乙彦(高崎東)	
		第4分区A	中野正美(太田)	
		第4分区B	槻岡行支(大泉)	
地区研修・協議会	2017.5.14	群馬音楽センター	第5分区	山田晃(沼田中央)
地区大会	2017.11.18~19	高崎アリーナ	第6分区	岡田稔(富岡1中央)
2018-2019	ガバナー		ガバナー補佐	
宮内敦夫(館林)		第1分区	中島博(前橋南)	
		第2分区A	瀬谷源(桐生赤城)	
		第2分区B	原邦昭(群馬境)	
クラブを元気に、世界に奉仕を、 みんなで回そうロータリーの輪		第3分区	橋爪良真(高崎セントラル)	
		第4分区A	金谷光明(太田西)	
		第4分区B	土屋孝夫(館林西)	
地区研修・協議会	2018.5.13	東洋大学板倉キャンパス	第5分区	佐藤秀樹(渋川)
地区大会	2018.10.6~7	館林文化会館	第6分区	静朋人(碓氷安中)



## クラブ現況指標

区分	クラブ名	会員数	平均年齢	平均年齢	出席率	会員増減 過去10年			財団寄付	補助金申請		米山寄付	米山世話クラブ	青少年長期受入	青少年短期受入
		2018.7.1	2018.7.1	2008.7.1 10年前		2017.7~2018.6 %	入会	退会		純増減 減は△	2016.7~ 2017.6				
第1分区	前橋	124	60.6	61.2	72.26	132	108	24	179.94	○	○	16,927	6	1	0
	前橋西	58	63.8	63.5	76.31	46	41	5	118.97	○	○	16,083	5	7	2
	前橋東	51	64.0	61.9	82.71	15	30	▲15	154.42	○	○	17,392	4	0	1
	前橋北	71	56.7	59.0	90.30	68	52	16	171.15	○	○	18,068	3	1	1
	前橋南	44	57.0	59.1	91.44	31	24	7	105.63	○	○	19,022	2	0	0
	前橋中央	26	60.4	58.8	78.95	33	25	8	177.16	○	○	19,365	5	1	0
第2分区A	桐生	61	60.3	59.4	76.20	38	46	▲8	167.45	○	○	17,800	6	0	3
	桐生南	35	60.1	62.8	79.62	18	32	▲14	143.74	○	○	19,065	5	2	1
	桐生西	63	59.5	62.6	90.89	48	37	11	189.71	○	○	21,015	7	0	0
	桐生赤城	42	54.5	53.4	84.09	29	24	5	105.71	○	○	19,000	5	1	0
第2分区B	伊勢崎	84	58.5	61.8	89.69	64	43	21	175.70	○	○	22,011	7	4	0
	群馬境	25	58.7	66.5	83.09	23	30	▲7	173.45	○	○	16,000	3	5	0
	伊勢崎中央	85	56.9	60.0	84.63	74	48	26	132.78	○	○	15,281	6	2	1
	伊勢崎南	30	54.0	55.0	75.78	30	31	▲1	161.04	○	○	18,954	0	—	0
	伊勢崎東	32	60.6	56.0	89.21	17	19	▲2	110.55	○	○	16,875	3	0	1
第3分区	高崎	130	57.0	60.0	84.60	143	84	59	150.64	○	○	14,636	5	0	0
	高崎南	73	59.0	61.0	74.23	64	56	8	129.82	○	○	18,583	4	4	0
	高崎北	72	60.3	61.0	74.72	69	60	9	205.06	○	○	102,537	7	1	0
	高崎東	42	65.0	60.0	75.23	25	32	▲7	262.24	○	○	43,426	6	0	0
	高崎シンフォニー	43	63.6	63.6	73.69	3	1	2	178.05	○	○	18,790	3	0	1
	高崎セントラル	36	61.1	57.3	87.73	23	21	2	73.25	○	○	9,441	2	1	0
第4分区A	太田	73	62.7	60.1	86.58	79	83	▲4	176.78	○	○	27,095	8	2	0
	太田西	19	62.0	58.0	90.36	17	10	7	139.64	○	○	19,222	3	0	0
	太田南	47	64.0	64.0	85.98	46	41	5	182.84	○	○	14,711	1	3	0
	新田	31	63.0	63.0	89.67	19	25	▲6	195.28	○	○	17,291	1	0	1
	太田中央	55	56.7	53.0	84.76	34	21	13	138.91	○	○	15,750	2	1	2
第4分区B	館林	53	63.0	58.5	86.69	32	27	5	360.69	○	○	20,576	8	2	0
	大泉	34	63.0	58.1	76.31	11	24	▲13	620.59	○	○	35,235	3	0	0
	館林西	21	62.8	—	78.57	14	14	0	164.29	○	○	16,130	1	0	0
	館林東	21	68.2	61.3	90.80	3	11	▲8	136.96	○	○	17,523	3	2	0
	館林レニウム	27	59.6	53.9	88.54	18	15	3	168.00	○	○	16,846	3	0	1
第5分区	渋川	64	62.0	62.0	94.20	56	57	▲1	250.72	○	○	24,450	3	0	0
	沼田	69	54.0	56.3	68.65	43	29	14	166.67	○	○	23,571	3	0	0
	草津	15	55.0	55.7	45.13	—	—	—	141.18	○	×	16,000	0	0	0
	中之条	21	66.4	62.0	74.02	21	19	2	147.14	○	○	7,095	0	0	0
	沼田中央	45	59.7	59.8	80.69	54	60	▲6	117.66	○	○	21,397	0	0	0
	渋川みどり	36	58.4	56.5	75.07	22	24	▲2	123.52	○	×	13,539	3	0	0
第6分区	富岡	44	63.5	63.3	90.81	34	40	▲6	164.09	○	○	21,366	6	0	0
	藤岡	52	59.6	60.8	82.91	49	34	15	175.49	○	○	15,943	2	0	1
	安中	53	55.9	58.8	62.61	51	25	26	156.03	○	○	16,627	3	0	0
	藤岡北	15	70.0	64.0	74.21	5	11	▲6	63.85	○	○	45,687	2	0	0
	富岡中央	35	65.5	59.8	85.21	14	18	▲4	158.37	○	○	18,589	4	0	0
	碓氷安中	11	57.3	55.9	77.50	7	14	▲7	96.76	○	○	11,409	2	0	0
	藤岡南	13	59.7	56.0	80.52	12	21	▲9	146.67	○	○	15,187	1	0	2
	富岡かぶら	31	57.5	56.0	84.39	16	15	1	238.15	○	○	20,185	4	1	0
合計または平均		2,112	60.4	59.5	81.10	1,650	1,482	168	171.03	45	43	21,148	160	43	18

※1. 日本の平均会員数 38.7人(87,936人÷2,267クラブ) ※2. 地区の平均年齢(2018.7.1)60.6才 ※3. 地区の平均年齢(2008.7.1)59.6才



クラブ 戦略計画	クラブ研修 リーダー	クラブ研修 委員会	RI 会長賞 受賞歴 過去10年	地区 意義ある 業績賞 受賞歴 過去10年	インターアクト クラブ スポンサー 有無	ローターアクト クラブ スポンサー 有無	地区役員 出向者数 過去10年 (除同一人物)	女性 会員数 2018.10 現在	スポンサークラブ 実績 クラブ名	姉妹クラブ 実績 クラブ名	友好クラブ 実績 クラブ名	クラブ歴 年	新会員 入会目標
○	○	○	—	○	○	○	31	11	高崎・前橋北・前橋西・沼田・渋川	—	水戸・新潟	65	13
—	○	○	—	—	○	—	22	5	前橋南	—	5710地区オレサ、2610地区富山西	53	5
○	○	○	—	—	○	—	13	5	前橋西・前橋中央	東大田	雪国魚沼、柏崎	41	3
—	○	○	—	—	—	—	6	2	—	—	新潟北・相馬	36	6
—	○	—	—	—	○	○	8	2	—	—	いわき平中央	33	5
○	○	—	○	○	—	—	19	8	—	台湾潭子	富山みらい	24	5
—	○	○	○	—	○	○	20	9	前橋・草津・桐生南・桐生西	シンガポール西・モア・ソウル龍山	—	65	4
—	○	○	○	—	○	—	9	4	桐生西・桐生中央	新泰	村上	53	3
○	○	—	○	—	○	○	10	9	桐生赤城	シンガポール西、マンダロン、釜山新西面	栃尾	47	5
—	○	—	—	—	—	—	9	8	—	—	上田六文銭・水菅・メロリバ	21	3
○	○	○	○	○	—	○	18	3	太田・群馬境・伊勢崎中央・伊勢崎南	サンフランシスコデルモンテ(比)	—	64	7
—	○	—	—	—	—	—	6	2	—	—	佐渡	48	3
○	○	○	—	—	—	—	16	6	伊勢崎東	—	新湊	43	13
○	○	○	—	—	○	—	7	1	—	—	—	39	7
○	○	—	—	—	—	—	3	1	—	メロ・サン・ベドロ(フィリピン)	—	24	5
○	○	○	—	—	—	—	29	14	高崎南・高崎北・高崎東・富岡・安中	サーファーズパラダイス、金沢百万石	—	64	19
—	○	—	—	—	○	—	9	9	藤岡・高崎セントラル	バトルクレーク	台北西北、新潟南、能美	56	6
○	○	—	—	—	—	○	22	0	高崎シンフォニー	—	新潟東、台北首都、チリフク、フレイザー	50	10
—	○	—	—	○	○	—	11	3	—	—	頸北、釜石東	38	8
—	○	—	—	—	○	—	8	4	—	神戸東灘・Wahiawa-Waialua	神戸東灘	23	4
○	○	—	—	—	—	—	8	0	—	—	台湾華陽	19	5
○	○	○	—	○	○	○	24	3	太田中央・太田南・太田西・大泉	韓国ニュー大田	—	61	13
—	○	—	—	—	—	—	4	2	新田	—	弘前東	46	3
—	○	—	—	—	—	—	7	3	—	ソウル東湖	—	40	11
○	○	○	—	—	○	—	4	2	—	福井南	台湾北斗	35	13
—	○	—	—	—	—	—	2	3	—	—	新潟中央	26	5
○	○	○	—	—	○	—	27	2	館林ミレニアム・館林西・館林東	セブポートセンター	—	60	3
○	○	—	—	—	—	—	7	3	—	マニラ101、マニラプレミア、西馬山	—	51	2
○	○	—	—	○	—	—	4	1	—	—	見附	37	2
○	○	—	—	—	—	—	5	3	—	—	高田東、足利渡良瀬	34	2
○	○	—	○	—	—	—	8	1	—	—	—	18	2
○	○	—	—	—	—	—	11	6	沼田・渋川みどり・中之条	—	—	61	3
○	○	○	○	○	○	○	14	3	沼田中央	—	新発田	60	3
○	—	—	—	—	—	—	0	1	—	葉山、軽井沢、台湾礁溪、釜山乙淑島	須賀川ばたん	54	1
—	○	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	50	2
—	○	○	○	—	—	—	13	3	—	台北南門扶輪社	新潟万代	32	3
—	○	○	—	—	—	—	18	2	—	—	—	25	4
—	○	—	—	—	—	○	15	4	富岡中央・富岡かぶら	—	岡谷・深谷	55	5
—	○	○	○	—	—	○	14	2	藤岡北・藤岡南	羽咋	—	54	5
○	○	—	○	—	○	—	5	3	碓氷安中	—	新発田中央	53	6
○	○	—	—	—	—	—	2	1	—	韓国、東平澤	—	43	1
—	○	—	—	—	—	—	9	1	—	—	フィリピン サークット・マカティ	25	2
○	○	—	—	—	—	—	4	0	—	—	—	20	2
○	○	○	○	—	○	—	7	0	—	—	—	17	2
—	○	—	—	○	—	—	4	1	—	—	—	15	2
19	44	18	10	8	17	10	493	157				41.7	236

各種資料



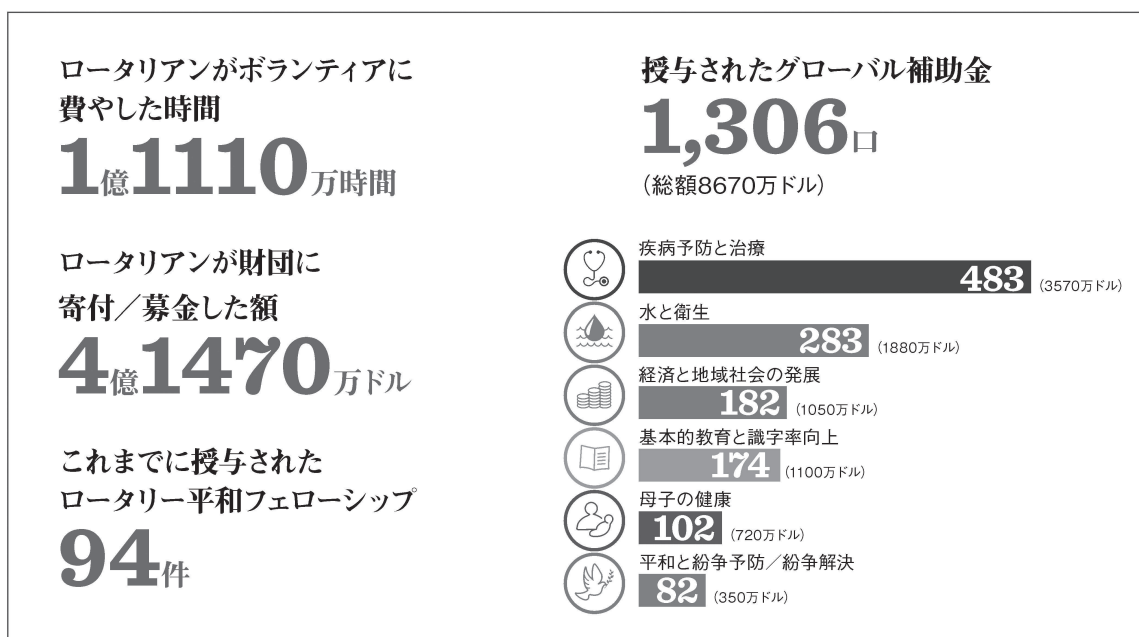
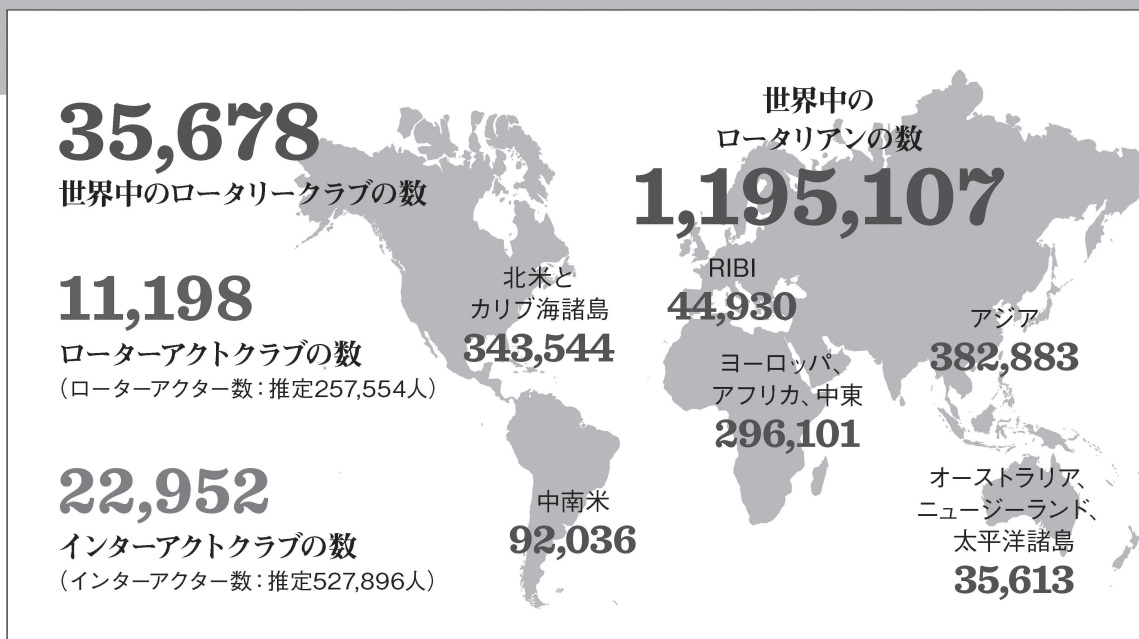
## クラブ現況報告書記載要領

規格はA4判よこ組み左とじ、表紙には「2019-20年度現況報告書・クラブ名」を記入し、可能であれば、RI会長テーマ・ロゴ、地区ガバナーテーマ・ロゴ等を表記してください。

1. 目次
  - ◆RI会長
    2. 国際ロータリーテーマ(RI会長とガバナーの握手の写真)
    3. 国際ロータリー会長プロフィール
    4. 国際ロータリー会長テーマ
    5. 国際ロータリー会長メッセージ
    6. ロータリー賞
  - ◆地区ガバナー
    7. 地区ガバナープロフィール
    8. 地区ガバナーメッセージ
    9. 地区テーマ・地区運営方針・地区目標
    10. ガバナー賞
  - ◆クラブ会長
    11. クラブ戦略計画
    12. クラブ会長の方針及び目標・数値目標(写真)
    13. 歴代会長・幹事・会員数・出席率/歴代国際ロータリー会長・歴代地区ガバナー テーマ
  - ◆クラブ報告
    14. クラブ略歴
    15. 会員数
    16. 会員の種類
    17. 会員年齢(最年長者名、最年少者名、平均年齢、年齢構成、通算在籍年数)
    18. その他(事務所、例会場、例会日、例会時間、取引銀行)
    19. 地区役員、地区委員、クラブ役員、理事、会計監査と委員会編成
    20. 委員会名簿(組織表)
    21. 会員名簿(アルファベット順に記載、ABC等の見出し文字を付け、難読文字にはルビを)
    22. クラブ出席状況(月別)・個人出席状況、100%出席者年数別表
    23. 会員の異動(入会、退会)
    24. 決算及び予算、特別会計報告(ニコニコボックス、その他)、貸借対照表  
なお、公式訪問の日程で決算が間に合わない場合は、後日ガバナー事務所へ
    25. クラブの運営状況
      - (1) 理事会、役員会
      - (2) 総会
      - (3) クラブ協議会
      - (4) クラブフォーラム
      - (5) 家庭集会(情報集会・炉辺会合)
      - (6) クラブ間友好グループ
    26. 例会と主な奉仕活動
    27. 年間行事予定
    28. クラブ事業計画(委員会事業計画)
    29. 過去の主な奉仕活動
      - (1) 各種大会のホスト及びコ・ホスト
      - (2) 財団奨学生、GSE、青少年交換、米山奨学生等の派遣受入
      - (3) 新クラブ設立のスポンサー
      - (4) 地域社会奉仕活動
      - (5) その他の奉仕活動
      - (6) 顕著な業績
    30. ロータリー財団寄付実績(クラブ・個人別)
    31. 米山記念奨学寄付実績(クラブ・個人別)
    32. クラブ定款、細則、慶弔・見舞規程など(抜粋や改正箇所のための記載でも可)
    33. 歴代の地区役員、委員名簿
    34. 国際ロータリー、地区及び地方公共団体等よりの受賞、被表彰記録(年月日と内容)
- ※30、31の個人別実績はクラブのご判断にお任せします。



## 世界のロータリー

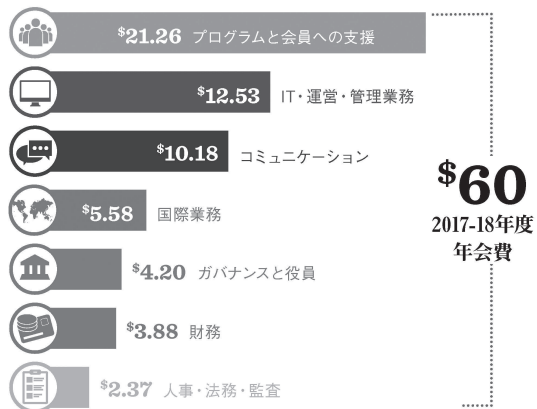


(2018年7月1日現在)



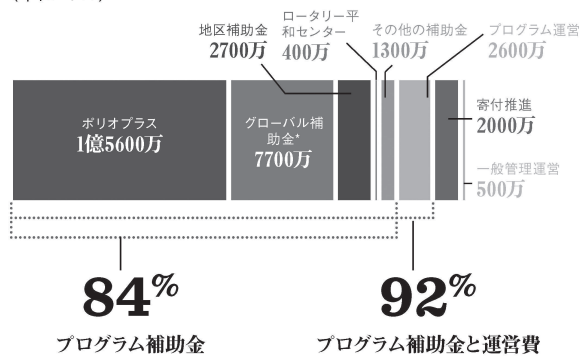
# 2017-2018年度のR I 財務報告

## 会費はどのように使われるか



## ロータリー財団の支出

(単位:ドル)



\*返金その他調整後

## 国際ロータリー 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
会費	\$ 68,784	\$ 73,330
投資純益	9,527	3,368
支援業務その他の活動	28,529	27,803
<b>収入合計</b>	<b>\$ 106,840</b>	<b>\$ 104,501</b>
支出		
運営費	\$ 74,117	\$ 79,497
支援業務その他の活動	20,819	19,471
一般剰余金	1,577	1,196
<b>支出合計</b>	<b>\$ 96,513</b>	<b>\$ 100,164</b>
為替差損	\$ (75)	\$ (1,080)
純資産の増加	\$ 10,252	\$ 3,257
純資産 (期首)	\$ 126,587	\$ 136,839
純資産 (期末)	\$ 136,839	\$ 140,096

## ロータリー財団 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
寄付	\$ 304,375	\$ 341,135*
投資純益	98,052	56,256
補助金その他の活動 (純額)	(2,529)	1,751
<b>収入合計</b>	<b>\$ 399,898</b>	<b>\$ 399,142</b>
支出		
プログラム補助金	\$ 221,204	\$ 277,225
プログラム運営費	23,206	25,462
寄付推進	19,888	20,350
一般管理運営	4,753	5,435
<b>支出合計</b>	<b>\$ 269,051</b>	<b>\$ 328,472</b>
為替差損	\$ (495)	\$ (1,608)
誓約未収入金のための予備費	\$ (1,810)	\$ (440)
純資産の増加	\$ 128,542	\$ 68,622
純資産 (期首)	\$ 930,134	\$ 1,058,676
純資産 (期末)	\$ 1,058,676	\$ 1,127,298

\*予測収入5950万ドルおよびポリオプラス基金振替の額1410万ドルは含まれていません。

\*\*上記は未監査の数字です。監査済みデータはrotary.org/ja/annualreportをご覧ください。



## 2019-2020年度 第2840地区 クラブ事務局 一覧

分区	クラブ名	住 所	T E L 番号	FAX 番号
第1分区	前橋	〒371-0846 前橋市元総社町194 群馬銀行本店内	027-252-0532	027-254-0612
	前橋西	〒371-0855 前橋市問屋町1-10-6 HSビル3F	027-288-0355	027-288-0047
	前橋東	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-252-7907	027-252-7926
	前橋北	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所4階	027-219-2080	027-219-2081
	前橋南	〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1 前橋商工会議所4階	027-232-9228	027-289-5584
	前橋中央	〒371-0847 前橋市大友町1-2-11 ロイヤルチェスター前橋内	027-255-2207	027-255-2230
第2分区A	桐生	〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 桐生倶楽部内	0277-45-1513	0277-45-1514
	桐生南	〒376-0013 桐生市広沢町1-2752	0277-52-5088	0277-52-5087
	桐生西	〒376-0042 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス内	0277-22-9155	0277-44-2777
	桐生赤城	〒376-0011 桐生市相生町3-560-7	0277-47-8251	0277-47-8252
第2分区B	伊勢崎	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオパレス内	0270-24-9966	0270-24-9968
	群馬境	〒370-0124 伊勢崎市境309 群馬銀行境支店2階	0270-74-4099	0270-74-4099
	伊勢崎中央	〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-9-7 ニューいづみ内	0270-20-6000	0270-20-6001
	伊勢崎南	〒372-0042 伊勢崎市中央町20-17 アイオー信用金庫本店内	0270-30-5033	0270-21-9000
	伊勢崎東	〒372-0014 伊勢崎市昭和町3827 伊勢崎プリオパレス内	0270-30-3344	0270-30-3345
第3分区	高崎	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュール高崎内	027-327-2888	027-327-2887
	高崎南	〒370-0849 高崎市八島町222 ホテルメトロポリタン高崎6階	027-327-7711	027-325-3730
	高崎北	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュール高崎内	027-330-6060	027-330-6061
	高崎東	〒370-0015 高崎市島野町1333 ニューサンピア内	027-353-2834	027-353-2703
	高崎シンフォニー	〒370-0813 高崎市本町144-1 光明不動産第7テナントビル2-202	027-328-3371	027-328-3372
	高崎セントラル	〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュール高崎内	027-310-7722	027-310-7733
第4分区A	太田	〒373-0851 太田市飯田町584 群馬銀行太田支店内	0276-46-5400	0276-46-5401
	太田西	〒373-0842 太田市細谷町1 ティアラグリーンパレス3階	0276-32-5552	0276-32-5552
	太田南	〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階	0276-46-5904	0276-45-0530
	新田	〒370-0341 太田市新田金井町607 新田商工会内	0276-57-4499	0276-57-4459
	太田中央	〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階	0276-48-8231	0276-48-8232
第4分区B	館林	〒374-8608 館林市本町1-6-32 館林信用金庫本店内	0276-72-8181	0276-72-8181
	大泉	〒370-0533 邑楽郡大泉町仙石2-26-1 仙石第一ビル2階	0276-63-2169	0276-63-2169
	館林西	〒370-0603 邑楽郡邑楽町中野1910-1 フォトスペース内	0276-70-2305	0276-70-2305
	館林東	〒374-0065 館林市西本町2-50 応声寺内	0276-76-7700	0276-76-7701
	館林ミレニアム	〒374-0029 館林市仲町5-38 NTT館林ビル3階	0276-71-2222	0276-71-2223
第5分区	渋川	〒377-0008 渋川市渋川1695-10 群馬銀行渋川支店内	0279-23-7766	0279-23-7080
	沼田	〒378-0042 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会館3階	0278-24-1177	0278-24-0070
	草津	〒377-1711 吾妻郡草津町草津454-52 ウェブの泉内	0279-88-7535	0279-88-7535
	中之条	〒377-0424 吾妻郡中之条町935 群馬銀行中之条支店内	0279-75-4418	0279-75-4418
	沼田中央	〒378-0045 沼田市材木町178-1 ホテルベラヴィータ内	0278-22-2100	0278-22-1010
	渋川みどり	〒377-0027 渋川市金井402-1 スポーツプラザ渋川内	0279-24-8844	0279-24-9797
第6分区	富岡	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡2階	0274-63-0484	0274-62-5533
	藤岡	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所内	0274-22-6135	0274-22-6135
	安中	〒379-0133 安中市原市587-1 (株)並木2階	027-382-2000	027-382-6160
	藤岡北	〒370-1301 高崎市新町2270-12 高崎市新町商工会館内	0274-42-0930	0274-42-5413
	富岡中央	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-5588	0274-62-5722
	碓氷安中	〒379-0133 安中市原市587-1 (株)並木2階	027-380-1322	027-380-1323
	藤岡南	〒375-8506 藤岡市藤岡853-1 藤岡商工会議所内	0274-22-6135	0274-22-6135
	富岡かぶら	〒370-2316 富岡市富岡245-1 ホテルアミューズ富岡内	0274-62-3625	0274-62-3697



## 2019-2020年度 第2840地区 クラブ例会一覧

曜日	例会開始時間	クラブ名	例会場	備考
月曜日	12:10	高崎	ホテルグランビュウ高崎	
	12:30	前橋北	前橋商工会議所3階	
		桐生	桐生倶楽部	
		伊勢崎東	伊勢崎プリオパレス	
火曜日	12:10	前橋	群馬銀行本店 営業棟3階	月の最終週 群馬ロイヤルホテル
		館林西	しのづか陣屋	
		中之条	群馬銀行中之条支店	月の最終週 19:00
	12:15	富岡かぶら	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	渋川みどり	プレヴェール渋川	
	12:30	桐生赤城	桐生プリオパレス	
		伊勢崎南	プラザ・アリア	
		高崎南	ホテルメトロポリタン高崎	
		太田南	太田ナウリゾートホテル	
		沼田	ホテルベラヴィータ	
	18:30	安中	並木苑	
18:30	藤岡北	高崎市新町商工会館2階		
18:30	高崎セントラル	ホテルグランビュウ高崎		
水曜日	12:10	前橋南	前橋商工会議所	
		前橋中央	ロイヤルチェスター前橋2階	
		伊勢崎	伊勢崎プリオパレス	
		富岡	ホテルアミューズ富岡	
	12:30	桐生南	桐生プリオパレス	
		高崎北	ホテルグランビュウ高崎	
		太田西	ティアラグリーンパレス	
		新田	太田市新田商工会館2階	
19:00	大泉	仙石第一ビル2階		
19:00	館林東	レストランジョイハウス	月の最終週 19:00	
木曜日	12:10	群馬境	群馬銀行境支店2階	
		伊勢崎中央	ニューいづみ	
		館林ミレニアム	レストランジョイハウス	
		渋川	プレヴェール渋川	
	12:15	富岡中央	ホテルアミューズ富岡	
	12:20	前橋東	ロイヤルチェスター前橋2階	
	12:30	高崎東	ニューサンピア	
		太田	ロイヤルチェスター太田	
		草津	ホテルニュー高松	
		沼田中央	ホテルベラヴィータ	
藤岡		藤岡商工会議所		
19:00	碓氷安中	並木苑		
金曜日	12:10	前橋西	群馬ロイヤルホテル	
		館林	レストランジョイハウス2階	
	12:30	桐生西	桐生プリオパレス	
		高崎シンフォニー	ホワイトイン高崎	
		太田中央	ダニエルハウス	
19:00	藤岡南	藤岡商工会議所		

※桐生南RC:2019年7月より表記の「桐生プリオパレス」へ変更となります。(2019年6月末日まで「桐生グランドホテル」)  
 ※沼田RC:2019年7月より表記の「ホテルベラヴィータ」へ変更となります。(2019年6月末日まで「ディラン」)





国際ロータリー第2840地区

## ガバナー事務所管理運営規定及びマニュアル

管理運営委員長 牛久保 哲 男  
副委員長 本 田 博 己  
委 員 森 田 高 史

1. 当事務所の管理運営責任者は当年度のガバナーとする。  
ガバナーは当事務所の運営について、適切な判断のもとで当該年度の事業を地区幹事、副幹事及び事務局員とともに実施せねばならない。
  - (1) ガバナーは、事務局員について1年間の労働契約書を7月1日付にて締結せねばならない。
2. 管理運営委員会は事務所運営についての諸問題を解決して、効率の良い事務所の運営が実施できるようにガバナーに提言する。また、当委員会のメンバー構成、及び任期は諮問委員会にて決定する。
  - (1) メンバー構成：管理運営委員長ほか2名
  - (2) 任期：3年
3. 事務所就業時間
  - (1) 午前9時30分より午後5時00分とする。但し休憩は12時より1時迄の1時間とする。  
また、フレックスタイムを採用することもある。
  - (2) 事務所との連絡・問い合わせ等は、基本はメールとする。  
但し、重要案件並びに緊急を要するものは電話にて対応し、午前10時から午後5時までとする。
  - (3) 事務所を会議所として使用するときは午後4時30分までに終了する。
  - (4) 事務局員が有給休暇を取る時は、事前に地区幹事の許可を取ること。但し、緊急な場合は事後報告すれば良い。
  - (5) 土・日・祝日に出勤した場合には、当月中に振替休日を取ること。  
但し振替休日を取れない場合は、休日出勤とみなし支給する。
4. 事業実施での地区幹事、副幹事及び各委員長の役割分担については別途役割分担表を参考にしてください。
5. 当事務所の運用システム(特にIT関連システム)、並びに印刷物関係等は当委員会による決定業者に限定する。
6. ガバナー年度終了後、全ての書類はデジタル化して保存し、3年経過後は書類は全て廃棄処分する。但し、ロータリー財団関係の書類は5年間保管する。
7. 上記事務所の重要な規定及びシステムの変更等は委員会の決議を経てガバナー諮問委員会の承認を得ることとする。
8. この規定は2017年12月1日より実施される。



2019-2020年度 国際ロータリー第2840地区

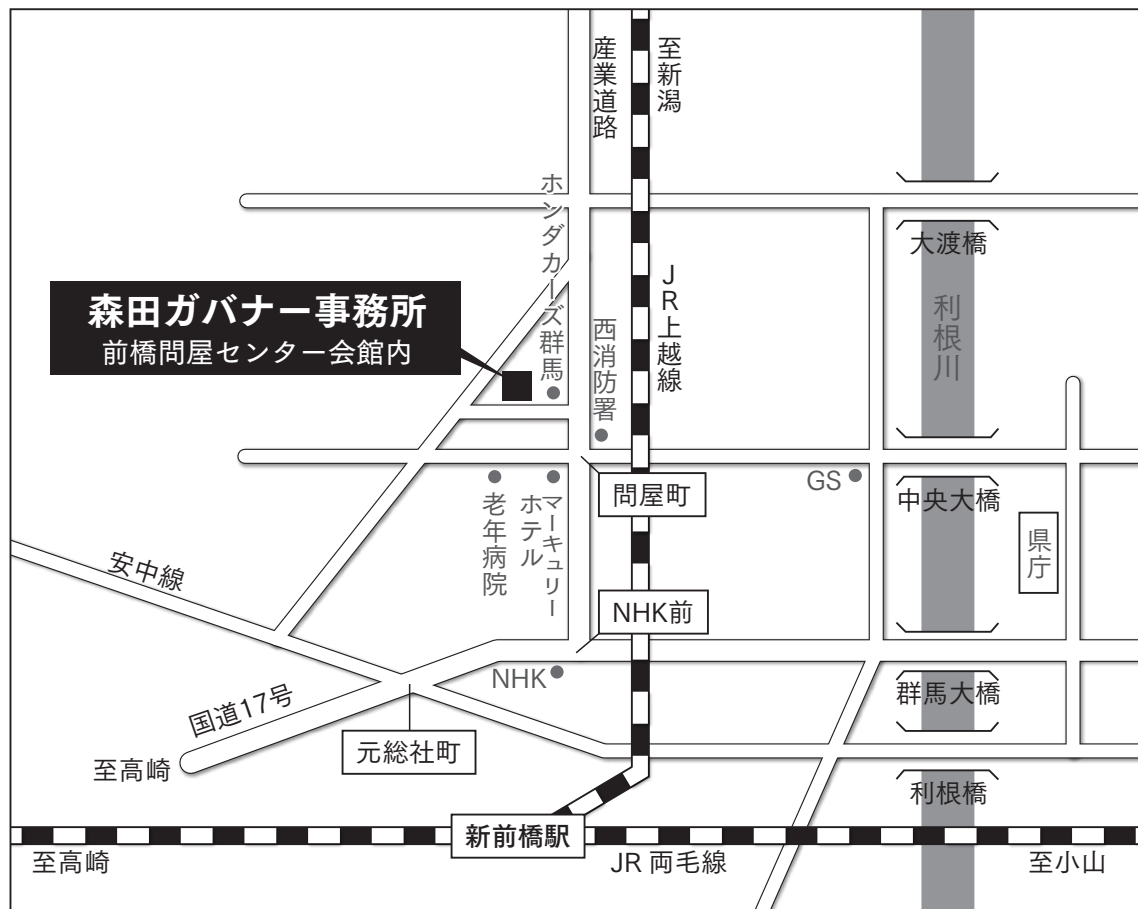
## 森田ガバナー事務所

所在地：〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2  
前橋問屋センター会館1階  
TEL：027-212-2840 FAX：027-212-2841  
E-mail：morita@rid2840.jp

開所時間：午前10時～午後5時(土・日・祝日は休み)

事務局員 入山 こず江

事務局員 佐藤 由紀恵



※お車でのお越しの際は、前橋問屋センター会館西側(しののめ信用金庫ATM目印)駐車場の「スワン駐車場」の札が設置されていない場所にご駐車下さい。